Xperia 1 VIII
取扱説明書

Xperia 1 VIII 取扱説明書 目次

はじめにお読みください

取扱説明書について....4

ご利用の準備

各部の名称とはたらき....6
eSIMについて....7
SIMカードについて....9
SDカードについて....11
充電する....15
電源を入れる／切る....17
初期設定を行う....19
Google アカウントを設定する....23
画面ロックを解除する....26

基礎知識／基本操作

基本的な操作のしくみ....30
タッチパネルの使いかた....30
マナーモードについて....31
機内モードについて....33
文字を入力する....33
ソフトウェアの更新について....37

画面の見かた

画面について....40
ステータスバーについて....48
通知パネルを利用する....49
クイック設定パネルを利用する....51

電話／電話帳

電話をかける／受ける....54
電話帳／通話履歴／お気に入りから電話をかける....60
オプションサービス....62
電話番号について....67
通話の設定をする....68
電話帳を利用する....69
電話帳データを読み込む....79
電話帳データを保存する....80

メール

＋メッセージについて....84
＋メッセージ利用の準備を行う....85
連絡先を利用する....90
メッセージを送信する....95
メッセージを確認する....102
グループメッセージを利用する....109
スタンプを利用する....113
＋メッセージの設定をする....115
バックアップ／復元する....122
公式アカウントとは....131
公式アカウントを検索する....132
公式アカウントを利用するには....135
公式アカウントを管理する....135
Gmailを利用する....137

インターネット

Chromeを利用する....144

カメラ

カメラについて.....150
写真／動画を撮る..... 151
写真／動画を見る（フォト）.....155
写真／動画を管理する（フォト）.....156
写真を加工する（フォト）..... 158
カメラの設定を行う.....160
QRコードを読み取る.....161

アプリの基本

アプリについて.....164
アプリを追加／削除する.....168

便利な機能

My SoftBankを利用する..... 174
緊急速報メールを利用する..... 174
Google マップを利用する.....175
指紋認証機能を利用する.....177
Google 検索を利用する.....180
電卓で計算をする..... 180
ライトを点灯する..... 181
カレンダーを利用する..... 182
時計／アラームを利用する..... 184
YouTubeを利用する.....189
音楽を聴く（ミュージック）.....189
NFC／おサイフケータイ®を利用する.....190

データの管理

データの保存について..... 194
バックアップと復元.....194
かんたんデータコピーを利用する.....195
ほかの携帯電話からデータを取り込む.....195
ダウンロードしたファイルを利用する.....196
ドライブを利用する.....196
パソコンとUSBで接続する.....197

Wi-Fi／Bluetooth

Wi-Fiで接続する.....200
Bluetooth機能を利用する..... 206
テザリングオプションを利用する.....212

端末設定

端末設定について..... 216
データ使用量の設定.....217
音設定.....222
画面設定..... 226
バッテリーの設定..... 229
システムの設定.....230
セキュリティの設定.....232
その他の端末設定..... 238

海外でのご利用

海外でご利用になる前に.....250
海外で電話をかける.....253

困ったときは

電源が切れる..... 256
充電ができない／遅い..... 256
電池の消費が早い..... 257
画面が暗い.....257
画面が突然消える..... 258
画面が固まったまま動かない.....258
指紋認証ができない.....259
本機が温かい..... 259
SDカードが利用できない..... 260
メールの送信／受信ができない..... 260
インターネットにアクセスできない..... 261
通話ができない.....261
アプリが利用できない..... 262
その他のトラブル..... 262

お願いとご注意

マナーを守りましょう..... 264
使用上のご注意.....264
防水／防塵性能について.....265
知的財産権について.....267

保証／仕様／お問い合わせ先

保証とアフターサービス.....270
仕様..... 270
使用材料..... 271
携帯電話機の電波防護への適合性について..... 271
RF Exposure Information of This Product..... 273
FCC Statement for the USA.....275
VCCIについて.....275
お問い合わせ先.....276

はじめにお読みください

取扱説明書について..... 4

取扱説明書について

取扱説明書では、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。
また、特にことわりがない限りホーム画面からの操作を中心に説明しています。操作説明は省略している場合があります。

本製品をお使いになる前に

「クイックスタート」、取扱説明書内の「お願いとご注意」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

データ通信について

・本製品は、常時インターネットに接続される仕様のため、データの同期など一部自動的に通信を行う場合があります。
・アプリのダウンロードや動画の視聴など、データ量の大きい通信を行うと、データ通信料が高額になりますので、データ通信定額サービスのご加入を強くおすすめします。
・お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi®通信中であってもデータ通信料が発生する場合があります。

ディスプレイ表示、ボタン表示について

取扱説明書で記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。取扱説明書で記載しているボタン表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

その他の表記について

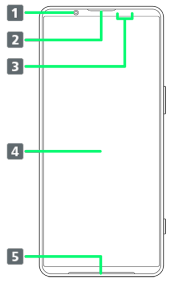
取扱説明書では、本製品のことを「本機」と表記しています。
microSD™／microSDHC™／microSDXC™カードは「SDカード」と表記しています。

ご利用の準備

各部の名称とはたらき.....6
eSIMについて.....7
SIMカードについて.....9
SDカードについて.....11
充電する.....15
電源を入れる／切る.....17
初期設定を行う.....19
Google アカウントを設定する.....23
画面ロックを解除する.....26

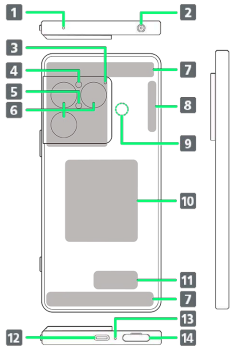
各部の名称とはたらき

本体正面について



名称	説明
1 フロントカメラ	写真や動画の自分撮りなどに使用します。
2 受話口／セカンドスピーカー	相手の声や、音楽・動画などの音声が聞こえます。
3 近接センサー／照度センサー	通話中に顔の接近を感知し、画面の消灯／点灯を切り替えて誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
4 ディスプレイ	本機のディスプレイはタッチパネルです。指で直接触れて操作することができます。
5 メインスピーカー	音楽や動画などの音声が聞こえます。

本体背面／側面について

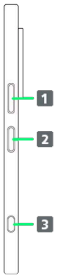


名称	説明
1 セカンドマイク	動画の撮影時に使用します。
2 ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）	市販のイヤホンなどを接続します。 4極ヘッドセットについてはCTIA規格に準拠したものに対応しております。
3 声優先マイク	動画の撮影時に使用します。
4 照度センサー	画面の明るさの自動制御に使用します。
5 ライト／フラッシュ	撮影時などのライトとして利用できます。
6 メインカメラ	写真や動画の撮影を行います。
7 5G／4Gアンテナ部	データ通信を利用する際のアンテナが内蔵されています。
8 5G／4G／Wi-Fi／Bluetooth®／GPSアンテナ部	データ／Wi-Fi／Bluetooth／GPS通信を利用する際のアンテナが内蔵されています。
9 NFC／おサイフケータイ®かざし位置	NFC／おサイフケータイ®ご利用時に、リーダー／ライター（読み取り機）にかざします。
10 ワイヤレス充電位置	ワイヤレスチャージャーの位置に合わせて充電します。
11 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部	Wi-Fi／Bluetooth通信を利用する際のアンテナが内蔵されています。
12 USB Type-C™接続端子	USB Type-Cケーブル（市販品）などを接続します。
13 送話口／メインマイク	自分の声を相手に伝えます。
14 SIMカード／microSDカードトレイ挿入口	SIMカード／microSDカードを挿入します。

USB Type-C接続端子の利用について

DisplayPort対応のUSB Type-Cケーブル（市販品）をつないでテレビやほかのディスプレイモニターなどに、本機の画面を表示できます。また、USB-LANアダプタ（市販品）を使うと、有線LANケーブルでインターネットへアクセスできます。お使いのUSB Type-Cケーブル、USB-LANアダプタ、接続先の機器によっては、正しく動作しない場合があります。

ボタンについて



名称	説明
1 音量ボタン／ズームボタン（＋／－）	音量を調節します。 カメラの利用中は、ズームを調整します。
2 電源ボタン／指紋センサー	電源ON／OFFを行います。詳しくは、「電源を入れる／切る」を参照してください。 画面消灯／画面点灯を行います。 指紋認証を利用して画面ロックを解除します。
3 シャッターボタン	短押しするとスクリーンショットを撮影し、長押しするとカメラを起動します。 カメラ起動中はシャッターボタンとして使用できます。

eSIMについて

eSIMは、端末内にあらかじめ埋め込まれた本体一体型のSIMです。eSIM対応端末であれば本体にSIMカードを差し替えることなく、ご契約と設定のみで回線をご利用いただくことができます。

eSIMのお取り扱い・ダウンロード

eSIMのお取り扱いやダウンロードについては、下記のウェブサイトをご参照ください。
https://www.softbank.jp/mobile/support/product/sim/esim/

eSIMを有効／無効にする

ここでは、端末内に1つのeSIMがダウンロードされている場合を例に説明します。
デュアルSIMで本機をお使いの場合は、操作手順が一部異なります。

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

有効／無効にしたいeSIMを選択



4

この SIM を使用する



5

ON にする ／ OFF にする



eSIMの有効／無効が切り替わります。

・本機をデュアルSIMでお使いの場合にeSIMを有効にするときは、始める をタップしてください。以降は、画面の指示に従って操作してください。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

eSIMを消去する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

消去したいeSIMを選択



4

eSIM を消去する



5

消去



eSIMが消去されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

eSIMを消去した場合

eSIMを消去したあとに再度eSIMを利用する場合は、eSIMダウンロード用のQRコードの再発行が必要になります。

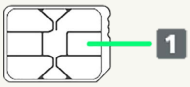
eSIMを消去した場合でも、ご契約が解除されたわけではありません。

SIMカードについて

SIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。

SIMカードのお取り扱い

SIMカードのお取り扱いにあたり下記事項をご確認ください。



1 IC部分

SIMカードのお取り扱いについては、下記のウェブサイトをご参照ください。
https://www.softbank.jp/mobile/support/protect/usim/

・IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
・お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
・SIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

SIMカードご利用時の注意事項

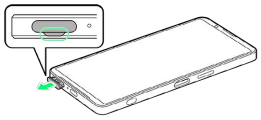
SIMカード利用時は、次の点にご注意ください。
・他社製品のICカードリーダーなどにSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
・SIMカードの所有権は当社に帰属します。
・紛失・破損によるSIMカードの再発行は有償となります。
・解約などの際は、当社にご返却ください。
・お客様からご返却いただいたSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
・SIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
・お客様ご自身でSIMカードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・SIMカードや携帯電話（SIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、お問い合わせ先までご連絡ください。
・SIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
・他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

SIMカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。

1

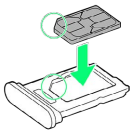
本体からトレイを取り外す



・ミゾに指先（爪）をかけて、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。

2

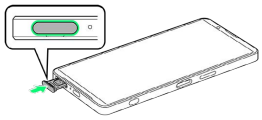
SIMカードのIC（金属）部分を上にしてトレイにはめ込む



・切り欠きの位置にご注意ください。
・SIMカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。

3

本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む



SIMカードの取り付けが完了します。

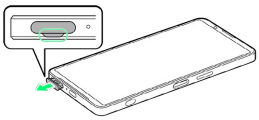
・トレイを差し込む方向にご注意ください。
・トレイを奥まで押し込み、本体とSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。

SIMカードを取り外す

必ず電源を切った状態で行ってください。

1

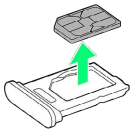
本体からトレイを取り外す



・ミゾに指先（爪）をかけて、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。

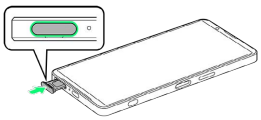
2

トレイからSIMカードを取り出す



3

本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む



SIMカードの取り外しが完了します。

・トレイを差し込む方向にご注意ください。
・トレイを奥まで押し込み、本体とSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。

SDカードについて

本機は最大2TBまでのSDカードに対応しています。ただし、すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
市販のSDカードをはじめてお使いになるときは、必ず本機でフォーマットしてください。

SDカード利用時のご注意

データについて

SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データの読み出し中／書き込み中について

データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切らないでください。

電池残量について

電池残量が少ないとデータの読み出しや書き込みができない場合があります。

SDカードの取り扱いについて

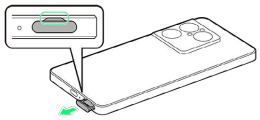
SDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。

SDカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。

1

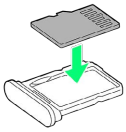
背面を上にして、本体からトレイを取り外す



・ミゾに指先（爪）をかけて、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。

2

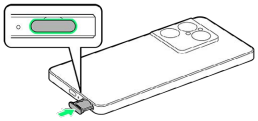
SDカードの端子面を上にしてトレイにはめ込む



・SDカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。

3

本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む



SDカードの取り付けが完了します。

・トレイを差し込む方向にご注意ください。
・トレイを奥まで押し込み、本体とSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。

SDカードをフォーマットする

1

ホーム画面で （設定）



2

ストレージ



3

このデバイス



4

SDカードを選択



5



6

フォーマット



7

フォーマット



8

フォーマット



9

完了

SDカード内のデータがすべて消去されます。

SDカードフォーマット時のご注意

SDカードフォーマット時は、次の点にご注意ください。
・フォーマットすると、SDカード内のデータがすべて消去されます。ほかの機器で使用したSDカードをフォーマットするときは、あらかじめよくご確認のうえ、操作してください。
・フォーマットは、充電しながら行うか、十分に充電された状態で行ってください。

SDカードのマウントを解除する

SDカードを取り外すときは、必ずマウントを解除してください。

1

ホーム画面で （設定）



2

ストレージ



3

このデバイス



4

SDカードを選択



5

⋮



6

取り出し



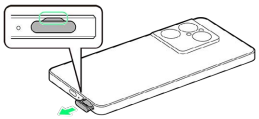
SDカードのマウントが解除されます。

SDカードを取り外す

必ずSDカードのマウントを解除したあと、電源を切った状態で行ってください。詳しくは、「SDカードのマウントを解除する」を参照してください。

1

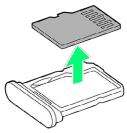
背面を上にして、本体からトレイを取り外す



・ミゾに指先（爪）をかけて、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。

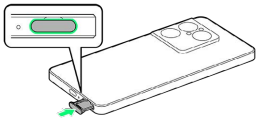
2

トレイからSDカードを取り出す



3

本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む



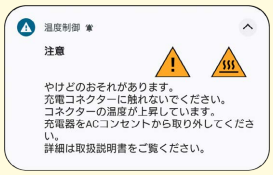
SDカードの取り外しが完了します。

・トレイを差し込む方向にご注意ください。
・トレイを奥まで押し込み、本体とSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。

充電する

充電のご注意

充電するときは、次の点にご注意ください。
・本機または周辺機器が濡れている状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。
・次のメッセージが表示された場合は、充電機能に異常が発生しております。
本機の利用を停止し、お問い合わせ先に修理点検をご依頼ください。

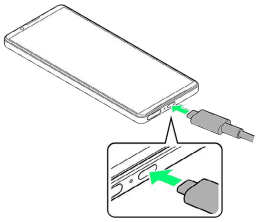


ACアダプタで充電する

ACアダプタはオプション品です。ソフトバンク指定のACアダプタをお使いください。ACアダプタ、およびその他の周辺機器についてはソフトバンクのウェブサイトを参照してください。
ここでは、ACアダプタ（USB PD-PPS対応 USB Type-C™ 急速充電ACアダプタ［ZSDBAV］（SB-AC22-TCPD））を使用して充電する方法を例に説明します。

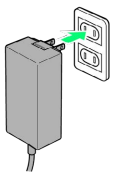
1

ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本機のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む



2

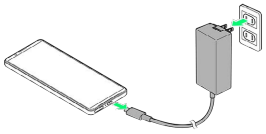
ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



充電が始まると充電の開始音が鳴ります。

3

充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本機から水平に抜く



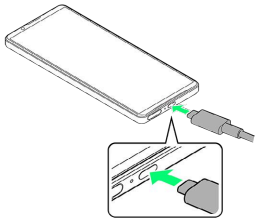
充電が終了します。

パソコンと接続して充電する

必ずパソコンの電源を入れた状態で行ってください。
パソコンの接続環境によっては、充電できない場合があります。

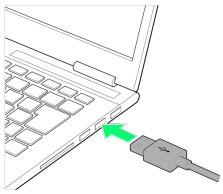
1

PC接続用USB Type-CケーブルのUSB Type-Cプラグを、本機のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む



2

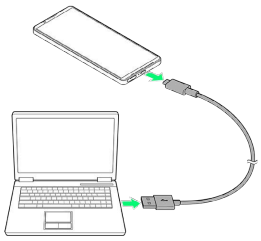
パソコンのUSB端子に、PC接続用USB Type-CケーブルのUSBプラグを差し込む



充電が始まると充電の開始音が鳴ります。

3

充電が完了したら、本機とパソコンからPC接続用USB Type-Cケーブルを抜く



充電が終了します。

ワイヤレスチャージャーで充電する

市販のQi対応のワイヤレスチャージャーで充電することができます。
充電方法については、お使いのワイヤレスチャージャーの取扱説明書を参照してください。

・Qiが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）によるワイヤレス充電規格に適合しています。

ワイヤレス充電時のご注意

ワイヤレスチャージャーで充電する際は、次の点にご注意ください。
・充電時は、本機のワイヤレス充電位置とワイヤレスチャージャーの位置を正しく合わせてください。
・本機にカバー（市販品）などを取り付けている場合は、取り外してから充電してください。
・充電中は、本機が振動しないようにしてください。振動により本機が動くと、充電が完了しなかったり、落下したりする恐れがあります。
・充電中にテレビやラジオから雑音が聞こえる場合は、テレビやラジオから離れた場所で充電してください。
・周辺にほかのワイヤレス充電対応機器がある場合は、30cm以上離してください。本機が正しく検出されず、充電ができない場合があります。
・充電中は通話やデータ通信、テレビの受信状態が悪くなることがあります。
・本機とワイヤレスチャージャーの間に金属の異物が入らないようにご注意ください。異物が発熱する恐れがあります。
・本機とワイヤレスチャージャーの間にICカードなどを挟まないでください。ICカードが故障する恐れがあります。
・充電中にカメラを使用すると、画像にノイズが入る場合があります。
・充電中に本機を使用すると、本機の温度上昇を避けるために、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする恐れがあります。

おすそわけ充電する

本機からほかのQi対応機器にワイヤレスで給電することができます。

1

ホーム画面で （設定） バッテリー



2

おすそわけ充電



3

おすそわけ充電の使用 （ 表示）

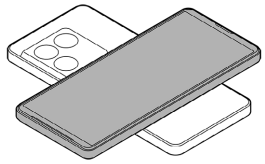


Qi対応機器を配置する目安位置が表示されます。

・本機の電池残量が「電池残量設定」で指定した設定値を下回るか、給電を開始してから「給電タイマー」で設定した時間が経過すると、おすそわけ充電が自動的に停止します。

4

本機背面のワイヤレス充電位置と、Qi対応機器のワイヤレス充電位置が重なるように置く



Qi対応機器の充電が開始します。

・Qi対応の携帯電話を充電する場合は、本機とQi対応機器の携帯電話が十字になるように重ねてください。

おすそわけ充電時のご注意

おすそわけ充電する際は、次の点にご注意ください。
・次の場合などはおすそわけ充電を利用できません。
　・ワイヤレス充電中
　・カメラの利用中
　・本体が高温になっているとき
　・USB OTG機器を接続しているとき
・本機にカバー（市販品）などを取り付けている場合は、取り外してから充電してください。
・本機とQi対応機器の間に金属の異物が入らないようにご注意ください。
・おすそわけ充電は、Qi対応機器に対応しています。ただし、すべてのQi対応機器との動作を保証するものではありません。

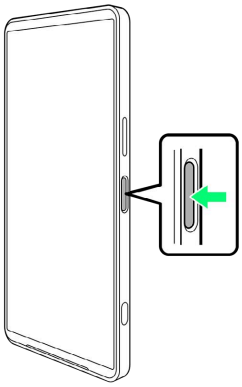
電源を入れる／切る

操作しても画面が変わらない、アプリが開かないなど、本機が正常に動作していないときは、強制的に再起動してください。

電源を入れる

1

電源ボタンを本機が振動するまで長押し



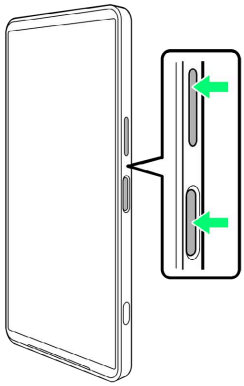
起動が完了すると、ロック画面が表示されます。

・画面ロックの解除について詳しくは、「画面ロックを解除する」を参照してください。
・はじめて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます。初期設定について詳しくは、「初期設定を行う」を参照してください。
・電源を切った状態で電源ボタンを長押しした際に、電池残量が少ないことを示すアイコンが表示される場合は、電池残量が十分ではありません。本機を充電してください。

電源を切る

1

電源ボタンと音量ボタンの＋を同時に押す



2

電源を切る

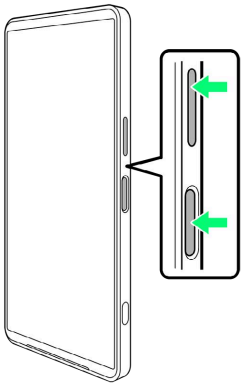


電源が切れます。

再起動する

1

電源ボタンと音量ボタンの＋を同時に押す



2

再起動

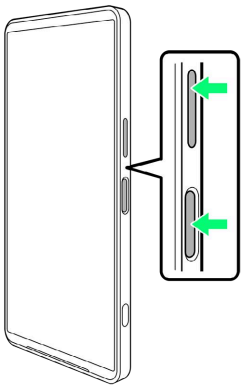


再起動します。

強制的に再起動する

1

電源ボタンと音量ボタンの＋を同時に、本機が振動するまで長押し



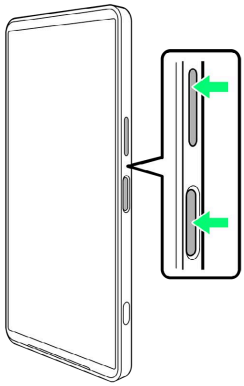
再起動します。

・電源ボタンと音量ボタンの＋を同時に10秒以上長押しし、本機が連続して3回振動したあとに指を離すと強制的に電源が切れます。

セーフモードで起動する

1

電源ボタンと音量ボタンの＋を同時に押す



2

電源を切る をロングタッチ



3

OK



セーフモードで起動します。

・セーフモードで電源を入れると、画面左下に「セーフモード」と表示されます。
・セーフモードで再起動すると、通常の状態で電源を入れることができます。

セーフモードで起動時の注意

セーフモードで起動するときは、次の点にご注意ください。
・セーフモードで電源を入れる前に、必要なデータはバックアップをとることをおすすめします。
・セーフモードで電源を入れると、追加していたウィジェットが削除されることがあります。

初期設定を行う

はじめて本機の電源を入れたときは、初期設定画面が表示され、Wi-FiやGoogle™ アカウントなどの設定を行うことができます。画面の指示に従って、各項目を設定してください。
SIMカードをご利用になるときは、あらかじめ、電源を入れる前にSIMカードを取り付けておいてください。

eSIM利用時のご注意

eSIMをご利用になるときは、あらかじめ、電源を入れる前に次の準備をしてください。
・本機からSIMカードを取り外してください。
・本機がWi-Fi ネットワークに接続できるようにしてください。
・eSIM登録用のQRコードをご用意ください。

初期設定を行う

1

「日本語」が表示されていることを確認 → 開始する



2

スキップ



・別のデバイスを使って本機の初期設定を行う場合は、Android デバイス または Phone® または iPad® をタップして画面の指示に従って操作してください。

3

画面の指示に従ってWi-Fiを設定



・Wi-Fiの設定について詳しくは、「ネットワークを選択して接続する」「接続情報を手動で設定して接続する」を参照してください。
・SIMカードのご利用中にWi-Fiの設定を省略するときは、 設定時にモバイル ネットワークを使用 / オフラインで設定 をタップします。以降は、画面の指示に従って操作してください。

4

ご確認いただきたい事項を設定 次へ



5

自分用



・ファミリー内のお子様用として設定するときは 子供用 をタップします。

6

画面の指示に従って、Google アカウントを設定



・Google アカウントについて詳しくは、「Google アカウントを設定する」を参照してください。
・Google アカウントを設定しないときは、 スキップ をタップして、画面の指示に従って操作してください。
・eSIMをご利用になるときは、このあと eSIM を設定する をタップしてください。以降は、画面の指示に従って操作してください。

7

画面の指示に従って、画面ロック／指紋によるロック解除を設定



・設定しないときは、 スキップ をタップします。
・画面ロックは、本機を再起動したあとや指紋が認識されなかった場合などに必要となりますので、忘れないようにご注意ください。

8

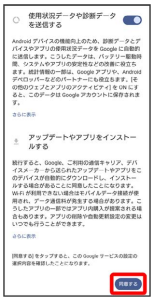
画面の指示に従って、データの引き継ぎを設定



・本機を新規としてセットアップする場合は、 コピーしない をタップしてください。
・Google アカウントを設定しているほかの端末からデータをコピーする場合は、 次へ をタップして、画面の指示に従って操作してください。

9

設定したい項目を設定 → 同意する



10

画面の指示に従ってバックアップを設定 → バックアップを ON にする



・バックアップをしない場合は、バックアップしない をタップしてください。

11

次へ



12

ブラウザと検索サービスを選択 → デフォルトに設定



13

続行



・あとでセットアップを完了する場合は 中断し、リマインダーを受け取る をタップします。

14

画面の指示に従って、コンテンツ共有／Gemini／Google Payを設定



・設定項目は使用状況によって表示が異なる場合があります。

15

画面の指示に従って、Glanceを設定



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

・Glanceについて詳しくは、「ロック画面におすすめの壁紙を設定する」を参照してください。

16

次へ



・かんたんホームに設定する場合は、 かんたんホーム をタップします。

17

OK



18

次へ



・ジェスチャー操作を有効にしたいときは、 ジェスチャー ナビゲーション をタップします。

19

画面の指示に従って、その他の設定項目を設定



・その他の設定項目を設定しないときは、 いいえ をタップします。

20

終了



初期設定が完了します。

Google アカウントを設定する

Google アカウントを利用すれば、Google サービスをより便利に活用できます。Google アカウントがないと利用できなかったり、機能が制限されたりするアプリがあります。

Google アカウント利用時のご注意

Google アカウントのメールアドレスやパスワードはお忘れにならないようにご注意ください。

Google アカウントを作成する

1

ホーム画面で （設定）



2

パスワードとアカウント



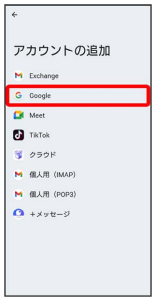
3

アカウントを追加



4

Google



Google アカウントのログイン画面が表示されます。

・指紋を登録済みの場合は、指紋認証を行う画面が表示される場合があります。指紋センサーに指を当てて指紋を認証させてください。
・画面ロック解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合は、画面ロック解除の入力画面が表示される場合があります。画面ロック解除方法を入力してください。

5

アカウントを作成



6

個人で使用



・子供用のアカウントを作成する場合は、 子供用 をタップして画面の指示に従って操作してください。
・ビジネス用のアカウントを作成する場合は、 仕事／ビジネス用 をタップして画面の指示に従って操作してください。

7

姓を入力 → 名を入力 → 次へ



8

生年月日を入力 → 性別を選択 → 次へ



9

Gmail™ アドレスを選択 → 次へ



・自分でGmailアドレスを作成する場合は、自分で Gmail アドレスを作成 → ユーザー名（メールアドレス）を入力 → 次へ と操作します。

10

パスワードを入力 → 次へ



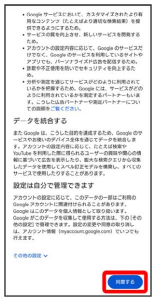
11

次へ



12

プライバシーポリシーと利用規約を確認して 同意する



13

画面の指示に従ってバックアップを設定 → バックアップを ON にする



アカウントの作成が完了します。

・バックアップをしない場合は、バックアップしない をタップしてください。

Google アカウントでログインする

1

ホーム画面で （設定）



2

パスワードとアカウント



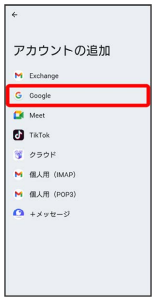
3

アカウントを追加



4

Google



Google アカウントのログイン画面が表示されます。

・指紋を登録済みの場合は、指紋認証を行う画面が表示される場合があります。指紋センサーに指を当てて指紋を認証させてください。
・画面ロック解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合は、画面ロック解除の入力画面が表示される場合があります。画面ロック解除方法を入力してください。

5

メールアドレスを入力 次へ



6

パスワードを入力 次へ



7

画面の指示に従って操作



Google アカウントのログインが完了します。

画面ロックを解除する

画面ロックについて

本機を一定時間何も操作しないと、電池の消費を抑えるため画面が消灯します（画面ロック）。
タッチパネル操作も受け付けなくなるので、誤動作を防ぐことができます。
画面消灯（画面ロック）中に電源ボタンを押すと、ロック画面が表示されます。



・画面点灯時に電源ボタンを押すと、手動で画面ロックすることができます。

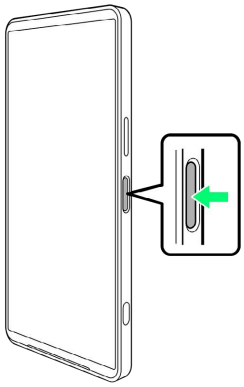
音楽再生中に画面ロック状態になったとき

音楽再生は継続されます。画面消灯（画面ロック）中に電源ボタンを押すと、ロック画面上に音楽操作パネルが表示され、一時停止や曲送りなどができます（利用するアプリによっては、動作が異なる場合があります）。

画面ロックを解除する

1

画面消灯（画面ロック）中に電源ボタンを押す



ロック画面が表示されます。

2

画面を上にフリック



画面ロックが解除されます。

・画面ロック解除方法は変更することができます。画面ロック解除方法の設定について詳しくは、「画面をフリックして画面ロックを解除するように設定する」「パターンを指でなぞって画面ロックを解除するように設定する」「PINで画面ロックを解除するように設定する」「パスワードで画面ロックを解除するように設定する」を参照してください。
・指紋を登録済みの場合は、登録した指を指紋センサーに触れることで、画面ロックを解除できます。指紋の登録について詳しくは、「指紋を登録する」を参照してください。

基礎知識／基本操作

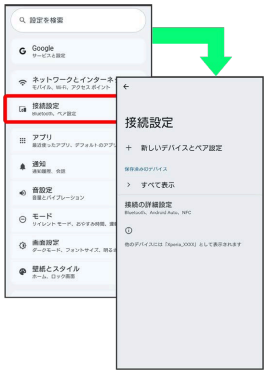
基本的な操作のしくみ.....30
タッチパネルの使いかた.....30
マナーモードについて.....31
機内モードについて.....33
文字を入力する.....33
ソフトウェアの更新について.....37

基本的な操作のしくみ

項目選択と画面移動

項目やアイコン、画面のボタンなどをタップすると、該当する操作の画面に移動します。

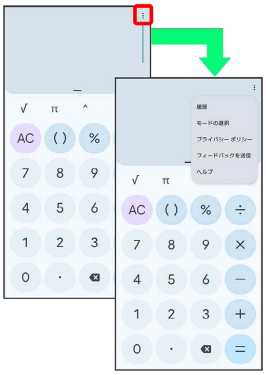
・1つ前の画面に戻るときは、◀をタップします。



メニュー操作

1

各アプリの画面に表示される ⋮ をタップすると、その画面で利用できる機能の設定や項目が画面に表示されます。



2

画面をロングタッチすると利用できる設定や項目が表示される画面もあります。



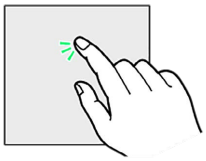
タッチパネルの使いかた

本機のディスプレイはタッチパネルです。指で直接触れて操作できます。

タップ

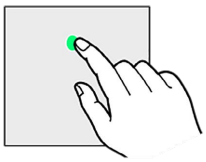
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。

・2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。



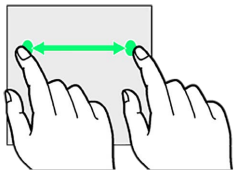
ロングタッチ

画面に軽く触れたまま、しばらくそのままにしておきます。画面が切り替われば指を離します。



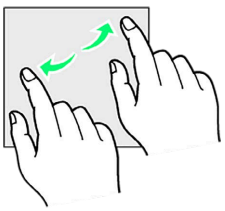
ドラッグ

アイコンなどの対象物に軽く触れたまま、目的の位置までなぞり、指を離します。



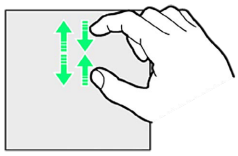
フリック（スワイプ）

画面に軽く触れて、上下左右に指を軽くはじきます。



ピンチ

2本の指で画面に触れ、指を開いたり閉じたりします。



マナーモードについて

周囲に迷惑がかからないよう、着信音や操作音などが鳴らないように設定できます。

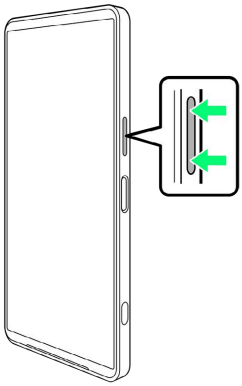
マナーモード設定中の注意

マナーモード設定中でも、シャッター音、動画撮影時の撮影開始／終了音、アラームなどの音は消音されません。

マナーモード（バイブあり）に設定する

1

音量ボタンの＋／－を押す



2



3

音量調節バーが表示されている間に



アイコンが に変わり、マナーモード（バイブあり）に設定されます。

クイック設定パネルから設定する

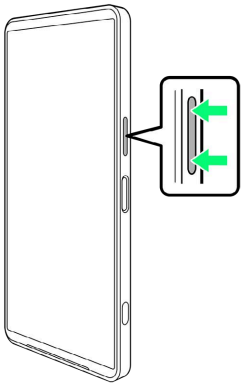
クイック設定パネルからマナーモード（バイブあり）に設定することができます。

ステータスバーを下にフリック ➔ 画面を下にフリック ➔ マナーモード OFF

マナーモード（バイブなし）に設定する

1

音量ボタンの＋／－を押す



2



3

音量調節バーが表示されている間に



アイコンが に変わり、マナーモード（バイブなし）に設定されます。

クイック設定パネルから設定する

クイック設定パネルからマナーモード（バイブなし）に設定することができます。

ステータスバーを下にフリック ➔ 画面を下にフリック ➔ マナーモード OFF ➔ マナーモード バイブあり

機内モードについて

電源を入れたまま、電波を発する機能をすべて無効にできます。

機内モードを利用する

1

ステータスバーを下にフリック



2

機内モード



機内モードが設定されます。

・機内モードを設定しているときに、同様の操作を再度行うと機内モードが解除されます。

文字を入力する

キーボードについて

文字を入力するときは、ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードには、携帯電話と同じ配列の「12 キー」、一般的なパソコンと同じ配列の「QWERTY」、手書きで文字を入力できる「手書き」、ローマ字入力に特化した配列の「GODAN」、ひらがなが50音順／英字がabc順で配列されている「五十音」があります。また、「Google 音声入力」も利用できます。

・キーボードを非表示にするには、▼をタップします。





キーボードについての操作

利用するキーボードを設定する

文字入力画面で ⚙ → 言語 → 日本語 → 12 キー / QWERTY / 手書き / GODAN / 五十音 → 完了

・キーボードは複数設定することができます。

キーボードを切り替える

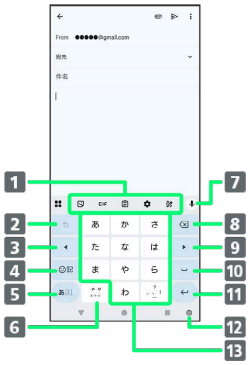
キーボードを複数設定している場合は、キーボードを切り替えることができます。

文字入力画面で 🌐

・🌐 をロングタッチ → 切り替えたいキーボードをタップと操作しても、キーボードを切り替えることができます。

12キー画面の見かた

携帯電話と同じ配列のキーボードです。文字の入力は、キーを繰り返しタップして文字を選択するタップ入力に加えて、フリック入力もできます。フリック入力について詳しくは、「フリック入力について」を参照してください。



1 よく使う機能のショートカットが表示されます（ツールバー）。

2 文字を確定前に戻します。文字が未確定の場合は、文字を逆順に表示します。

3 カーソルを左へ移動します。

4 絵文字、顔文字などの一覧を表示します。

5 文字入力モードを切り替えます（かな／英字／数字）。ロングタッチすると文字入力の設定画面を表示したり、片手モードを設定したりできます。

6 文字入力中に、大文字／小文字の切り替え、濁点／半濁点の入力をします。

7 音声入力で文字を入力できます。

8 カーソルの前の文字を削除します。

9 カーソルを右へ移動します。

10 スペースを入力します。かな入力中は、候補リスト内の文字を順に表示します。

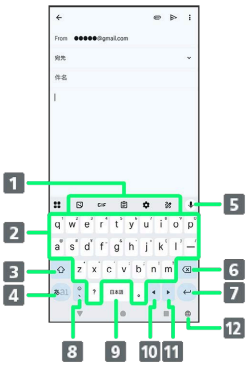
11 改行します。文字入力中は文字を確定します。アプリによっては などが表示されます。

12 キーボードを複数設定している場合に表示されます。キーボードを切り替えることができます。

13 文字を入力します。

QWERTY画面の見かた

一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。フリック入力もできます。フリック入力について詳しくは、「フリック入力について」を参照してください。



1 よく使う機能のショートカットが表示されます（ツールバー）。

2 文字を入力します。

3 英字を入力できます。 を1回タップ（ 表示）すると1文字のみ大文字で入力、 をダブルタップ（ 表示）すると大文字固定入力に切り替わります。

4 文字入力モードを切り替えます（かな／英字／数字）。ロングタッチすると文字入力の設定画面を表示したり、片手モードを設定したりできます。

5 音声入力で文字を入力できます。

6 カーソルの前の文字を削除します。

7 改行します。文字入力中は文字を確定します。アプリによっては などが表示されます。

8 読点を入力します。ロングタッチすると文字入力の設定画面を表示したり、絵文字、顔文字などの一覧も表示したり、片手モードを設定したりできます。

9 スペースを入力します。かな入力中は、候補リスト内の文字を順に表示します。キーボードを複数設定している場合は、ロングタッチしてキーボードを切り替えることができます。

10 カーソルを左へ移動します。

11 カーソルを右へ移動します。

12 キーボードを複数設定している場合に表示されます。キーボードを切り替えることができます。

文字種（文字入力モード）を切り替える

あ31 をタップするたびに、「英字」「数字」「かな」に切り替わります。

1

文字入力画面で あ31



文字種（文字入力モード）が切り替わります。

ひらがなを入力する（12キー）

「けいたい」と入力する方法を例に説明します。

1

文字入力モードが「かな」になっていることを確認



2

か （4回） あ （2回） た （1回） あ （2回） ↵



文字が入力されます。

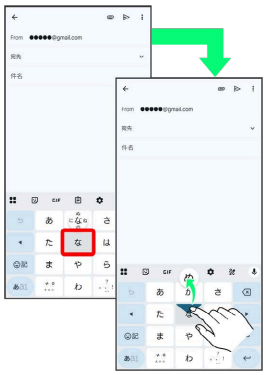
・同じキーに配列された文字を続けて入力する場合は、最初の文字の入力後に ▸ をタップしたあと、次の文字を入力します。

フリック入力について

キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返しタップすることなく、入力したい文字を入力できます。キーに触れると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字が入力されます。
12キーで「な」行を入力する方法を例に説明します。

1

文字入力画面で な を上下左右にフリック



フリックした方向の文字が入力されます。

・「な」を入力するときは、 な を1回タップします。

文字を切り取り／コピーして貼り付ける

文字入力画面やウェブサイトなどで、入力済みの文字やコピーしたいテキストをダブルタップ／ロングタッチすると、選択した文字列の周辺に編集メニューが表示されます。表示されるメニュー項目は、アプリによって異なります。

1

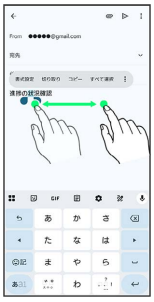
文字入力画面やウェブサイトなどで、入力済みの文字やコピーしたいテキストをダブルタップ／ロングタッチ



文字列が選択され、ハイライト表示されます。

2

／ をドラッグして文字列を選択



3

切り取り ／ コピー



4

貼り付ける位置をタップ



5



・をドラッグすると、貼り付ける位置を調整できます。

6

貼り付け



切り取り／コピーした文字列が貼り付けられます。

文字入力の設定を行う

文字入力に関する動作を設定できます。おもな項目は次のとおりです。

項目	説明
言語	ソフトウェアキーボードを言語ごとに設定できます。
設定	キーの配置やキーボードのレイアウト、キー操作などについて設定できます。
テーマ	ソフトウェアキーボードの見た目を変更できます。
修正と候補	変換候補やテキストの自動修正などについて設定できます。
グライド入力	英語キーボードなどで文字間をスライドして単語を入力できるグライド入力について設定できます。
音声入力	音声入力について設定できます。
クリップボード	最近コピーしたテキストや画像、スクリーンショットした画像などを、ツールバーの位置に表示するかどうかを設定できます。
単語リスト	単語リストに単語を登録できます。
絵文字、ステッカー、GIF	絵文字、ステッカー、GIFについて設定します。
Gboard を共有	Gboardを共有できます。
プライバシー	キーボードの使用統計情報をGoogle に自動送信したり、学習した単語やデータを削除したりできます。
評価のお願い	Gboardの評価をします。
アプリについて	アプリについて確認できます。
ヘルプとフィードバック	文字入力の使いかたなどが確認できます。

1

文字入力画面で ⚙



2

各項目を設定

🏁 文字入力の設定が完了します。

ソフトウェアの更新について

ソフトウェア更新は更新内容によって操作手順が異なります。

ソフトウェア更新時のご注意

電波について

電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります。更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。

保存されているデータ／設定について

本機の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
ソフトウェア更新を行うと設定の一部がお買い上げ時の状態に戻る場合があります。

ソフトウェアを自動で更新する

ソフトウェアが自動で更新されます。
更新が完了したら通知パネルに表示される通知をタップし、本機を再起動してください。

ソフトウェアを手動で更新する

通知パネルに表示されるソフトウェア更新の通知をタップし、画面の指示に従って操作してください。
次の手順でも手動で更新できます。

1

ホーム画面で （設定） システム



2

システムアップデート



3

画面の指示に従って操作



ソフトウェア更新が実行されます。

画面の見かた

画面について.....40
ステータスバーについて.....48
通知パネルを利用する.....49
クイック設定パネルを利用する.....51

画面について

ホーム画面とランチャー画面

本機のおもな操作は、画面ロックを解除すると表示される「ホーム画面」と、アプリを一覧表示した「ランチャー画面」から行います。
「ランチャー画面」は、ホーム画面で画面を上にフリックすると表示できます。





ホーム画面の見かた



名称	説明
1 ステータスバー	下にフリックすると、通知パネルが表示されます。続けて画面を下にフリックすると、クイック設定パネルが表示されます。
2 カスタマイズエリア	アプリのショートカットやフォルダ、ウィジェットを自由に配置できます。
3 クイック検索ボックス	アプリや入力した語句を（Google）で検索できます。
4 ナビゲーションバー	アイコンをタップして操作します。ナビゲーションバーについて詳しくは、「ナビゲーションバー」を参照してください。
5 ドック（Dock）メニュー	ショートカット（アプリ）やフォルダなどを配置でき、ホーム画面シートを切り替えても常に表示されます。

ホーム画面シートを切り替える

各ホーム画面シートをアプリのショートカットやウィジェットなどでカスタマイズして、便利に使用できます。ホーム画面を左右にフリックすると、ホーム画面シートを切り替えることができます。

・ほかのホーム画面シートを表示しているときに ◯ をタップすると、最初のホーム画面に戻ります。



かんたんホームについての操作

ホーム画面をかんたんホームに切り替える

基本的な機能に限定したホーム画面や設定項目に切り替えることができます。

ホーム画面で （設定） → アプリ → デフォルトのアプリ → ホームアプリ → かんたんホーム → OK

ホーム画面をかんたんホームから標準のホーム画面に切り替える

かんたんホーム画面で （設定） → ホーム切替 → OK

ナビゲーションバー

画面下部のアイコンが表示される領域を「ナビゲーションバー」と呼びます。アイコンをタップして操作できます。
ジェスチャーを使用して操作することもできます。詳しくは、「システムの設定」を参照してください。

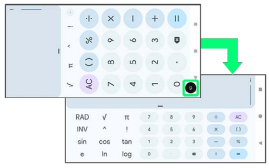


名称	説明
◁（戻る）	前の画面に戻ります。キーボード表示時は ▽ の表示に変わり、タップするとキーボードが閉じます。
◯（ホーム）	タップするとホーム画面が表示されます。ロングタッチするとかこって検索を起動できます。
□（履歴）	アプリの使用履歴画面が表示され、アプリの起動／終了などができます。また、表示されたアプリをスクリーンショットで撮ったり、ポップアップウィンドウで表示したり、マルチウィンドウを利用することができます。詳しくは、「スクリーンショットを撮る」「ポップアップウィンドウ」「マルチウィンドウ」を参照してください。
（横向き回転）／（縦向き回転）	本機の向きと表示画面の向きが異なる場合に表示されます。 をタップすると横画面表示に、 をタップすると縦画面表示に表示画面の向きを切り替えることができます。

縦画面と横画面

本機を横向きに回転させると、ナビゲーションバーに が表示されます。 をタップすると表示画面が横表示に切り替わります。縦表示に切り替える場合は、本機を縦向きに回転させて をタップします。
「画面の自動回転」を有効にしている場合は、本機を横向きに回転させると、自動的に表示画面も横表示に切り替わります。「画面の自動回転」について詳しくは、「画面設定」を参照してください。

・表示中の画面によっては、本機の向きを変えても横表示されない場合があります。



ポップアップウィンドウ

メイン画面の上に、別のアプリを重ねて複数表示し操作できます。アプリによっては、ポップアップウィンドウを利用できない場合があります。

1

□



アプリの使用履歴画面が表示されます。

・通知からポップアップウィンドウを利用することもできます。詳しくは、「通知パネルの見かた」を参照してください。

2

サムネイルを左右にフリックして、起動するアプリを表示 ➔ ポップアップウィンドウ



アプリがポップアップウィンドウで表示されます。

3

メイン画面に表示するアプリを選択



ポップアップウィンドウを利用できます。

・ホーム画面やランチャー画面から、メイン画面に表示するアプリを選択することもできます。

ポップアップウィンドウの操作エリアについて

ポップアップウィンドウは次のように操作できます。



1 前の画面に戻る

2 ウィンドウを移動／ウィンドウの表示を切り替え
ドラッグしてウィンドウを移動します。ダブルタップすると、ポップアップウィンドウを終了せずにアプリの表示を全画面／元の画面に切り替えます。

3 ウィンドウを最小化
最小化したウィンドウを再度表示する場合は、アプリの使用履歴画面でアプリをタップすると元の表示に戻ります。

4 全画面表示
ポップアップウィンドウを終了してアプリを全画面で表示します。

5 ウィンドウを閉じる

マルチウィンドウ

本機の表示画面を分割し、2つのアプリを同時に表示して操作できます。
アプリによっては、マルチウィンドウを利用できない場合があります。

1

□



2

サムネイルを左右にフリックして、マルチウィンドウの上側に表示するアプリを選択 → マルチウィンドウ



マルチウィンドウ画面が表示されます。

3

マルチウィンドウの下側に表示するアプリをタップ



マルチウィンドウを利用できます。

・もっと見る をタップして、ランチャー画面で利用したいアプリを選択することもできます。

マルチウィンドウ表示時の操作

分割表示した2つのアプリを切り替える（マルチウィンドウ）

□ → マルチウィンドウ → 上側／下側を選択し、表示するアプリをタップ

マルチウィンドウの表示幅を変更する

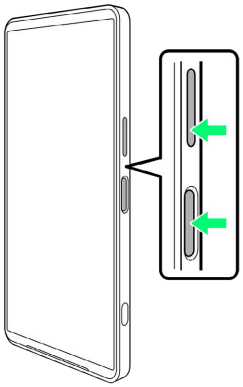
仕切りバー（ ▬ ）を上下（横画面表示の場合は左右）にドラッグ

マルチウィンドウを終了する

仕切りバー（ ▬ ）を画面上端または下端（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグ

スクリーンショットを撮る

電源ボタンと音量ボタンの－を同時に押すと、表示されている画面のスクリーンショットを撮ることができます。



・カメラアプリを起動していない場合は、カメラボタンを短く押すことで、スクリーンショットを撮ることもできます。
・□ → スクリーンショットしたいアプリを表示させ スクリーンショット と操作して、アプリの使用履歴画面に表示されているアプリのスクリーンショットを撮ることもできます。
・「キャプチャ範囲を拡大」が表示されたときは、画像の撮影範囲を変更してスクリーンショットを撮ることができます（スクロールスクリーンショット）。 キャプチャ範囲を拡大 → 保存する範囲をドラッグして調節 → 保存 と操作してください。
・動画を撮りたい場合は、クイック設定パネルの「スクリーン レコード」から操作できます。
・撮影したスクリーンショットは、「フォト」アプリの「Screenshots」フォルダなどから確認することができます。

壁紙を変更する

1

ホーム画面のアイコンがない場所をロングタッチ



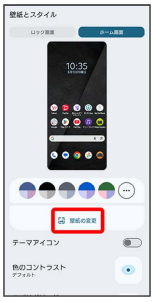
2

壁紙とスタイル



3

壁紙の変更



4

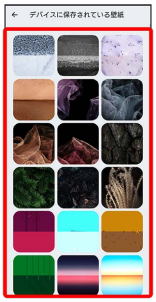
デバイスに保存されている壁紙 ／ ライブ壁紙



・マイフォト をタップすると、撮った写真を壁紙に設定することができます。

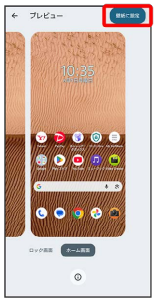
5

写真／壁紙をタップ



6

壁紙に設定



7

「ロック画面」の画像／「ホーム画面」の画像



・「ロック画面」の画像／「ホーム画面」の画像をタップするたびに、有効（ ）／無効が切り替わります。

8

設定



壁紙が設定されます。

ショートカットを追加する

1

ホーム画面で画面を上にフリック



2

追加したいアイコンをロングタッチし、追加したい場所にドラッグ



ショートカットが追加されます。

・フォルダをロングタッチすると、アプリのショートカットをフォルダごと追加できます。
・追加操作を中止する場合は、画面上部の キャンセル までドラッグします。

ホーム画面のアレンジ時の操作

ウィジェットやアイコンを移動する

ホーム画面で対象のアイテムをロングタッチ → 移動したい場所にドラッグ

ウィジェットやアイコンを削除する

ホーム画面で対象のアイテムをロングタッチ → 削除 までドラッグ

ウィジェットを追加する

追加できるおもなウィジェットは次のとおりです。各項目に対応したウィジェットがあります。

項目	説明
カレンダー	カレンダーを表示します。
かんたんホーム	かんたんホームを設定します。
サイドセンス	サイドセンスメニューやマルチウィンドウメニューを表示します。
スプレッドシート	Google スプレッドシートで新しいスプレッドシートを作成します。
スライド	Google スライドで新しいプレゼンテーションを作成します。
ドキュメント	Google ドキュメントで新しいドキュメントを作成します。
ドライブ	Google ドライブを利用できます。
ニューススイート	お気に入りのニュースサイトなどのヘッドラインを表示します。
フォト	フォトを利用できます。
マップ	Google マップを利用できます。
ミュージック	ミュージックを利用できます。
会話	最近のメッセージや不在着信などを表示できます。
時計	時計を表示したり、ストップウォッチを利用できます。
時計ウィジェット	時計を表示できます。
設定	Wi-Fiテザリングやアプリ情報、バッテリーなどの中から指定した設定項目のショートカットを作成できます。
連絡先	連絡先を利用できます。指定した相手に電話を発信したり、メッセージを送信したりできます。
Chrome	Chrome™ の検索の利用や、ブックマーク一覧の表示などができます。
Digital Wellbeing	1日の利用時間を確認できます。
Fitbit	Fitbitを利用できます。
Gemini	Geminiを利用できます。
Gmail	選択したラベルのメールをすぐに確認できます。
Google	Google 検索や本機のそばで流れている曲の検索などができます。
Google Play ストア	Google Play™ ストアを利用できます。
Google TV	Google TVを利用できます。
Home	Homeを利用できます。
Perplexity	Perplexityを利用できます。
TikTok	TikTokを利用できます。
Yahoo!	Yahoo!で検索ができます。
YouTube	YouTube™を利用できます。
YouTube Music	YouTube Musicを利用できます。

1

ホーム画面のアイコンがない場所をロングタッチ ➔ ウィジェット



ウィジェット一覧画面が表示されます。

2

追加したいウィジェットのカテゴリをタップ



・画面上部のウィジェット検索バーをタップ ➔ カテゴリ／ウィジェットの名前を入力と操作すると、カテゴリやウィジェットを検索できます。

3

追加したいウィジェットをロングタッチ



4

追加したい場所にドラッグ



ウィジェットが追加されます。

・追加するウィジェットによっては、以降も操作が必要な場合があります。画面の指示に従って操作してください。
・追加操作を中止する場合は、画面上部の キャンセル までドラッグします。

ホーム画面のアレンジ時の操作

ウィジェットやアイコンを移動する

ホーム画面で対象のアイテムをロングタッチ ➔ 移動したい場所にドラッグ

ウィジェットやアイコンを削除する

ホーム画面で対象のアイテムをロングタッチ ➔ 削除 までドラッグ

フォルダを追加する

1

ホーム画面／ランチャー画面でフォルダに入れたいアイコンをロングタッチ



・ランチャー画面でフォルダを追加する場合は、⋮ ➡ カスタマイズ と操作してカスタマイズモードにしてください。

2

同じフォルダへ入れたいアイコンの上にドラッグ



フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する

ホーム画面／ランチャー画面で対象のフォルダをタップ ➡ フォルダ名をタップ／ 名前の編集 ➡ フォルダ名を入力 ➡ ✓

ホーム画面の設定をする

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Google™アプリを表示	最初のホーム画面の左のシートに、Google アプリを表示するかどうかを設定します。
通知ドット	通知に関する設定ができます。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するかどうかを設定します。
ホーム画面の回転を許可	本機の向きに合わせて、ホーム画面を自動で縦表示／横表示に切り替えるかどうかを設定します。

1

ホーム画面のアイコンがない場所をロングタッチ ➡ ホームの設定



2

各項目を設定

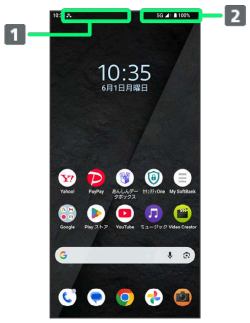


設定が完了します。

ステータスバーについて

ステータスバーは、本機の画面上部にあります。新着メールなどの通知アイコンや、本機の状態をお知らせするステータスアイコンが表示されます。

ステータスバーの見かた



1 通知アイコン
2 ステータスアイコン

おもな通知アイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンには、次のようなものがあります。

アイコン	説明
	不在着信あり
	着信中／通話中／発信中
	保留中
	新着伝言メモ／新着伝言メッセージあり
	新着Gmailあり
	新着SMS／S!メール／＋メッセージあり
	エラー／注意など
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	USB機器を接続中
	Bluetoothによるファイル共有
	データのアップロード
	データのダウンロード
	アプリの更新通知
	カレンダーの予定通知あり
	アラーム鳴動中／スヌーズ中／未確認のアラームあり／次のアラームあり
	ストップウォッチ動作中
	タイマー動作中
	おすそわけ充電の通知あり
	電池残量が少ない状態
	SDカードの検出／マウント中
	ソフトウェア更新通知あり／ソフトウェア更新再起動待ち

おもなステータスアイコン

ステータスバーに表示されるステータスアイコンには、次のようなものがあります。

アイコン	説明
	電池残量十分（100%）
	電池充電中
	電池残量が少ない状態
	STAMINA®モードをONに設定中
	電波レベル
5G	音声サービスおよびモバイルデータ通信利用可能（5G）[1、2]
5G+	音声サービスおよびモバイルデータ通信中（5G+）[1、2]
4G	音声サービスおよびモバイルデータ通信利用可能（4G LTE／4G）[2、3]
	圏外
	音声サービス利用不可
	モバイルデータ通信利用不可
	機内モード設定中
	Wi-Fi ネットワーク接続中
	インターネット利用不可のWi-Fi ネットワークに接続中、およびWi-Fiの電波が不安定な状態
	Bluetooth機器に接続中
	音声の共有中
	マナーモード（バイブあり）設定中[4]
	マナーモード（バイブなし）設定中
	サイレントモード[5]をONに設定中
	現在地取得中

1 お使いの端末画面上（画面上部）に待受時は「5G」「5G+」と表示されている場合でも、通信を行う際は表示が「4G」に切り替わり、4G通信が使用される場合があります。
2 「5G」「5G+」「4G」が表示されていない場合は、 が表示されていてもモバイルデータ通信はご利用いただけません。
3 本機はFDD-LTE（SoftBank 4G LTE）およびAXGP（SoftBank 4G）に対応しており、どちらに接続していてもこのアイコンが表示されます。また、SoftBank 4Gに優先的に接続します。
4 「バイブレーションモードのときにアイコンを常に表示」を有効にしているときに表示されます。詳しくは、「音設定」を参照してください。
5 サイレントモードについて詳しくは、「モード」を参照してください。

通知パネルを利用する

通知パネルでは、通知アイコンとその内容を確認できます。

通知パネルを開く

1

ステータスバーを下にフリック



通知パネルが表示されます。

通知パネルについて

通知パネルを閉じる

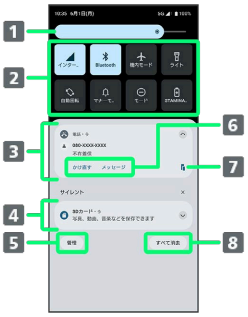
画面を上にフリック

・◀をタップしても、通知パネルを閉じることができます。

ロック画面で通知を表示する

ロック画面で、画面を下にフリック

通知パネルの見かた



1 画面の明るさを調節する
2 クイック設定パネルの一部が表示される
3 着信などの通知や実行中の機能が表示される
4 サイレント通知が表示される
5 通知を管理する
6 通知内容を利用する[1]
7 ポップアップウィンドウで表示する[2]
8 通知をすべて消去する[3]

1 通知によって利用できる機能は異なります。たとえば着信の通知では、着信のあった電話番号に発信したり、＋メッセージ／SMSを送信できます。
2 通知によってはアイコンが表示されない場合があります。
3 通知によっては消去できない場合があります。

通知パネル利用時の操作

通知パネルに通知しないようにする

通知パネルで設定したい通知をロングタッチ → OFF にする → 通知をOFFにしたい項目の（ON） （OFF表示） → 完了

・通知によっては変更できません。

通知の種類を切り替える

通知パネルで切り替える通知をロングタッチ → 優先 / デフォルト / サイレント → 適用

・通知によっては種類を切り替えることができません。
・通知によって表示される種類は異なります。

通知を確認する

1

ステータスバーを下にフリック



通知パネルが表示されます。

・通知をタップするとアプリが起動し、内容を確認できます。

通知を消去する

1

ステータスバーを下にフリック



通知パネルが表示されます。

2

消去したい通知を左右にフリック



通知が消去されます。

・通知内容によっては消去できない場合があります。

通知を全件消去する

1

ステータスバーを下にフリック



通知パネルが表示されます。

2

すべて消去



通知が全件消去されます。

・通知内容によっては消去できない場合があります。

クイック設定パネルを利用する

クイック設定パネルでは、アイコンをタップして機能のON／OFFなどを設定できます。

クイック設定パネルを開く

1

ステータスバーを下にフリック



2

画面を下にフリック



クイック設定パネルが表示されます。

・ステータスバーを2本指で下にフリックしても、クイック設定パネルを表示できます。

音楽再生中の表示について

音楽を（ミュージック）などで再生すると、クイック設定パネルに操作パネルが表示され、再生／一時停止などの操作や、音声の出力先の変更ができます。

クイック設定パネルについて

クイック設定パネルを閉じる

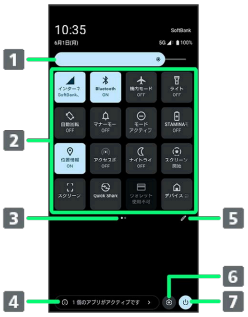
画面を上にフリック

・をタップしても、クイック設定パネルを閉じることができます。

ロック画面でクイック設定パネルを表示する

ロック画面でステータスバーを下にフリック

クイック設定パネルの見かた



1 画面の明るさを調節

2 クイック設定ツール[1]
タップして各機能のON／OFFなどを設定できます。

3 現在の表示位置
クイック設定ツールの表示位置を示します。クイック設定ツールを左右にフリックすると表示位置を切り替えられます。

4 実行中のアプリ[2]
使用していない状態でもアクティブで実行中のアプリの一覧を表示します。

5 クイック設定ツールの追加や削除、表示位置の変更

6 端末設定を表示

7 電源メニューを表示

1 使用状況によって、アイコンの表示が異なる場合があります。
2 表示されない場合があります。

クイック設定パネル利用時の操作

各クイック設定ツールの設定画面を開く

クイック設定ツールをロングタッチ

・クイック設定ツールによっては設定画面を開けない場合があります。

クイック設定パネルをアレンジする

クイック設定パネルに表示する機能の追加や削除、表示位置の変更ができます。

クイック設定パネルで 画面の指示に従ってアイコンをドラッグ

電話／電話帳

電話をかける／受ける.....54
電話帳／通話履歴／お気に入りから電話をかける.....60
オプションサービス.....62
電話番号について.....67
通話の設定をする.....68
電話帳を利用する.....69
電話帳データを読み込む.....79
電話帳データを保存する.....80

電話をかける／受ける

直接ダイヤルして電話をかける方法や、かかってきた電話の受けかた、着信中／通話中にできることを説明します。

電話機能について

緊急通報位置通知について

緊急通報を行うと、お客様が発信した際の位置情報を緊急通報受理機関（警察など）へ通知します。このシステムを「緊急通報位置通知」といい、受信している基地局測位情報を元に算出した位置情報を通知します。

・お申し込み料金、通信料は一切かかりません。
・お客様の発信場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されないことがあります。必ず口頭で、緊急通報受理機関へお客様の発信場所や目的をお伝えください。
・「184」を付けて発信するなど、発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると判断したときは、緊急通報受理機関がお客様の位置情報を取得することがあります。
・国際ローミングを使用しているときは、位置情報は通知されません。
・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE（LTEネットワーク）のみ利用できます。
・日本国内では、SIMカードを取り付けていない、またはeSIMを有効にしていない場合は、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。

VoLTE／VoLTE（HD+）およびHD Voiceへの対応について

本機は、VoLTE／VoLTE（HD+）およびHD Voiceに対応しており、より高品質な音声通話を行うことができます。詳しくは、「VoLTE／VoLTE（HD+）を利用する」および「HD Voiceについて」を参照してください。

こんなときは

Q. 通話しづらい

A. 騒音がひどい場所では、正しく通話ができないことがあります。

A. スピーカーで通話するときは、通話音量を確認してください。通話音量を上げると通話しづらくなることがあります。

Q. 通話中に「プチッ」と音が入る

A. 移動しながら通話していませんか。電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。故障ではありません。

緊急通報のご注意

本機の緊急通報は、ソフトバンクのサービスエリア内でのみご利用になれます。

電話をかける

1

ホーム画面で （電話）



電話画面が表示されます。

2

キーパッド



ダイヤル画面が表示されます。

3

ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力



・一般電話にかけるときは、市外局番から入力してください。

4

音声通話



電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

5

通話が終了したら



通話が終了します。

画面がロックされた状態で、緊急通報する

ロック画面で、画面を上にフリック → 緊急通報 → 電話番号を入力 → 発信

・画面ロック解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定しているときのみ利用できます。画面ロック解除方法の設定について詳しくは、「パターンを指でなぞって画面ロックを解除するように設定する」「PINで画面ロックを解除するように設定する」「パスワードで画面ロックを解除するように設定する」を参照してください。

こんなときは

Q. 電話がつながらない

A. 相手の電話番号を市外局番からダイヤルしていますか。市外局番など、「0」で始まる相手の電話番号からダイヤルしてください。

A. 電波状態が悪くありませんか。電波の届く場所に移動してからかけ直してください。

電話画面の見かた



1 メニューを表示
2 表示する通話履歴のフィルターを変更
3 お気に入り
4 通話履歴
5 通話ホーム画面を表示
6 連絡先を検索
7 連絡先一覧画面を表示
8 ダイヤル画面を表示

電話を受ける（画面消灯時）

1

電話がかかってきたら を右にドラッグ



通話ができます。

2

通話が終了したら



通話が終了します。

不在着信について

着信中に電話を受けられなかったときは、ステータスバーに が表示されます。
・ステータスバーを下にフリックし、不在着信通知をタップすると通話履歴画面が表示されます。

電話着信時の操作

電話を受けるときの操作方法を変更する

電話を受けるときのスワイプ操作をタップ操作に変更することができます。

ホーム画面で （電話） ＝ 設定 着信時の操作 着信時の操作 シングルタップ

着信音を止める

着信中に音量ボタンまたは電源ボタンを押す

応答を拒否する

着信画面で を左にドラッグ

応答を拒否してメッセージを送信する

着信画面で メッセージ 送信するメッセージを選択

・カスタム返信を作成... をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

不在着信を利用する

着信のあった電話番号に発信したり、＋メッセージ／SMSを送信できます。

ステータスバーを下にフリック 不在着信通知の かけ直す ／ メッセージ

・かけ直す ／ メッセージ が表示されないときは、不在着信通知を下にフリック、または をタップします。

電話を受ける（画面点灯時）

1

電話がかかってきたら 応答



通話ができます。

・応答を拒否するときは、 拒否 をタップします。

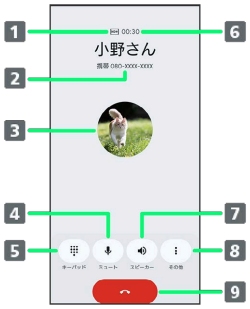
2

通話が終了したら



通話が終了します。

通話画面の見かた／通話中の操作



1 高音質通話中に表示されます。[1]

2 連絡先に登録している相手の名前／電話番号が表示されます。

3 連絡先に登録している画像が表示されます。

4 相手に音声が聞こえないようにします。

5 ダイヤル画面を表示して、通話中にプッシュ信号を送信します。

6 通話時間が表示されます。

7 スピーカー／Bluetooth機器を使って通話します。

8 タップすると以下のメニューが表示されます。
通話を追加：通話を追加します。
ビデオ通話：ビデオ通話に切り替えます。
録音：通話を録音します。
保留：通話を保留します。

9 通話を終了します。

1 HD Voiceでの通話中は HD 、VoLTE（HD+）での通話中は HD+ が表示されます。

通話中の誤操作防止について

通話中の画面消灯について

通話中に顔の接近を感知すると、画面を消灯して、誤操作を防止します。顔を離すと画面が表示されます。

通話中の画面ロックについて

通話中でも、一定の時間何も操作しないと画面がロックされます。また、電源ボタンを押して手動で画面をロックすることもできます。画面ロックを解除するには、電源ボタンを押します。

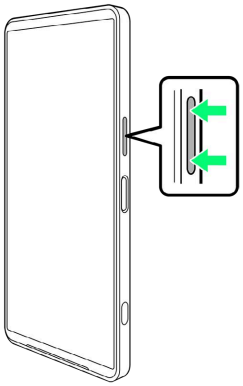
・「電源ボタンで通話を終了」が有効の場合、通話中に電源ボタンを押して画面をロックしようとすると、通話が終了しますのでご注意ください。詳しくは、「ユーザー補助」を参照してください。

通話音量を調節する

ここでは通話中に通話音量を調節する方法を説明します。

1

通話中に音量ボタンの＋／－を押す

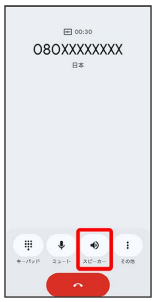


通話音量が調節されます。

スピーカーフォンに切り替える

1

通話中に スピーカー

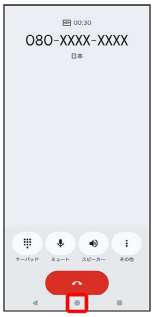


スピーカーフォンに切り替わります。

通話中に電話帳を確認する

1

通話中に □



・画面消灯（画面ロック）中に電話を受けた場合は、画面ロックを解除してください。

2

ホーム画面で （Google）



3

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

伝言メモを利用する

1

ホーム画面で （電話）



電話画面が表示されます。

2

☰



3

設定



4

通話アカウント



5

SoftBank



通話設定（SoftBank）画面が表示されます。

6

伝言メモ



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

7

伝言メモ （ 表示）



伝言メモの設定が完了します。

伝言メモ利用時の操作

伝言メモを再生する

伝言メモが録音されると、ステータスバーに が表示されます。

ステータスバーを下にフリック → 伝言メモ通知をタップ → 対象の伝言メモをタップ

・ / をタップすると、伝言メモの再生が受話口／セカンドスピーカーに切り替わります。
・通話設定（SoftBank）画面で 伝言メモ → 伝言メモリスト → 対象の伝言メモをタップと操作しても、伝言メモを再生できます。

伝言メモの応答時間を設定する

通話設定（SoftBank）画面で 伝言メモ → 応答時間設定 → 応答時間を設定 → 完了

・「伝言メモ」が有効のときに利用できます。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

海外ローミング時に伝言メモを利用するかどうかを設定する

通話設定（SoftBank）画面で 伝言メモ → ローミング時の使用

・「伝言メモ」が有効のときに利用できます。
・ローミング時の使用 をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

伝言メモの応答メッセージを設定する

通話設定（SoftBank）画面で 伝言メモ → 応答メッセージ → 日本語 ／ English

・▶をタップすると、応答メッセージを確認できます。
・ / をタップすると、応答メッセージの再生が受話口／セカンドスピーカーに切り替わります。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

伝言メモを削除する

通話設定（SoftBank）画面で 伝言メモ → 伝言メモリスト → 対象の伝言メモをロングタッチ → 削除 ／ すべて削除 → OK

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

VoLTE／VoLTE（HD+）を利用する

VoLTE（Voice over LTE）とは、LTEを利用した音声通話システムです。VoLTE（HD+）は、従来のVoLTEよりも、より肉声に近いクリアな音質の通話がご利用いただけます。

・VoLTE／VoLTE（HD+）はそれぞれ、ソフトバンク／ワイモバイルのVoLTE対応機、VoLTE（HD+）対応機との間で利用できます。また、本機／相手機共に、SoftBank 4G LTE（FDD LTE）サービスエリア内にいること、「5G（推奨）」／「4G」／「3G」が有効であることのすべてを満たすことが必要です。
・VoLTE国際ローミングの対象国・地域については、下記のウェブサイトを参照してください。
https://www.softbank.jp/mobile/service/global/overseas/other-services/volte/

VoLTE／VoLTE（HD+）利用時のご注意

VoLTE／VoLTE（HD+）は4Gサービスを利用します。本機の4Gサービスが無効になっているときは、利用できません。VoLTE／VoLTE（HD+）が利用できないときは、次の操作で「5G（推奨）」／「4G」が有効（◉）になっているかどうかを確認してください。

ホーム画面で（設定）→ ネットワークとインターネット → SIM → 設定するSIMを選択 → 優先ネットワークの種類

・無効（◯）になっているときは、5G（推奨） ／ 4G をタップして有効（◉）にしてください。

HD Voiceについて

HD Voiceは、低音から高音まで幅広い範囲の音域に対応しており、より自然でクリアな音声通話が可能になります。

・ソフトバンク／ワイモバイルのHD Voice対応機との間で利用できます。
・HD Voiceは、VoLTEに対応しています。VoLTEと組み合わせることで、さらに高い品質の音声通話が可能になります。

電話帳／通話履歴／お気に入りから電話をかける

電話帳から電話をかける

1

ホーム画面で（電話）



電話画面が表示されます。

2

連絡先を表示



連絡先一覧画面が表示されます。

3

対象の連絡先をタップ



4

電話番号をタップ



電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

通話履歴から電話をかける

1

ホーム画面で （電話）



電話画面が表示されます。

2

ホーム



通話履歴画面が表示されます。

3

対象の通話履歴の



電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

通話履歴利用時の操作

通話履歴の詳細を確認する

通話履歴画面で対象の通話履歴の名前／電話番号をタップ → 履歴を開く

通話履歴を削除する

すべての通話履歴を削除します。

電話画面で ≡ → 通話履歴を削除 → OK

お気に入りから電話をかける

1

ホーム画面で （電話）



電話画面が表示されます。

2

ホーム



3

発信するお気に入りをタップ



電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

オプションサービス

便利な音声電話用オプションサービスが利用できます。

オプションサービスについて

次のオプションサービスが利用できます。

サービス名	説明
転送電話サービス	圏外時や電話を受けられないとき、あらかじめ指定した電話番号へ転送します。
留守番電話プラス[1]	圏外時や電話を受けられないとき、留守番電話センターで伝言をお預かりします。
割込通話[1]	通話中にかかってきた電話を受けることができます。
グループ通話[1]	複数の相手と同時に通話できます。
発着信番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにしたりできます。
発着信規制サービス	電話発着信を状況に合わせて制限できます。
一定額ストップサービス[1]	ご利用金額が設定額を超えた場合、発信（音声発信・メールサービス・パケット通信）を停止します。
ナンバーブロック[1]	かかってきたいたずら電話や迷惑電話などを次から着信しないように設定できます。

1　別途お申し込みが必要です。

転送電話サービスを利用する

1

ホーム画面で （電話）



2

≡ ➔ 設定 ➔ 通話アカウント ➔ SoftBank ➔ 通話サービス設定



3

留守番電話・転送電話



留守番電話・転送電話画面が表示されます。

4

留守番電話・転送電話 ➔ 転送電話ON



5

呼び出し時間 ➔ 呼び出し時間を選択



6

転送先の電話番号 ➔ 電話番号入力欄をタップ ➔ 転送先の電話番号を入力 ➔ 登録



7

確定



転送電話が設定されます。

留守番電話プラス・転送電話を停止する

留守番電話・転送電話画面で 留守番電話・転送電話 ➔ 全てOFF ➔ 確定

留守番電話プラスを利用する

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

1

ホーム画面で （電話）



2

設定 → 通話アカウント → SoftBank → 通話サービス設定



3

留守番電話・転送電話



留守番電話・転送電話画面が表示されます。

4

留守番電話・転送電話 → 留守番電話ON



5

呼び出し時間 → 呼び出し時間を選択



6

確定



留守番電話プラスが設定されます。

・新しい伝言メッセージが録音されるとステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にフリックして留守番電話の通知をタップし、音声ガイダンスに従ってください。

留守番電話プラスと伝言メモの違いについて

「留守番電話プラス」と「伝言メモ」とのおもな違いは以下のとおりです。

・「留守番電話プラス」…留守番電話プラスセンターで伝言メッセージをお預かりするサービスです。電源が入っていない場合や圏外の場合にもお預かりできます。伝言メッセージの再生にはご契約の料金プランに応じた通話料がかかります。

・「伝言メモ」…携帯電話機本体で伝言メッセージをお預かりする機能です。電源が入っていない場合や機内モード、圏外の場合は利用できません。

留守番電話プラス・転送電話を停止する

留守番電話・転送電話画面で 留守番電話・転送電話 → 全てOFF → 確定

割込通話を利用する

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

1

ホーム画面で （電話）



2

≡ 設定 通話アカウント SoftBank 通話サービス設定



3

「割込通話」の （ 表示）



割込通話が設定されます。

・アイコンをタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・割込通話設定時、通話中に電話がかかってくると、割り込み音が鳴ります。 を右にドラッグして通話を開始できます。

グループ通話を利用する

ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です。

1

通話中に その他 通話を追加



ダイヤル画面が表示されます。

2

電話番号を入力 音声通話



通話が追加されます。

3

相手が応答したら その他 統合



グループ通話が開始されます。

発信者番号通知サービスを利用する

1

ホーム画面で （電話）



2

≡ 設定 通話アカウント SoftBank



3

発信者番号 番号を非通知 ／ 番号を通知



発信者番号通知・表示が設定されます。

発着信規制サービスを利用する

特定の電話番号に電話やSMSが発着信できないように制限します。

・エリアによりSMSの送信は制限できない場合があります。

1

ホーム画面で （電話）



2

≡ 設定 通話アカウント SoftBank 通話サービス設定



3

発信規制 ／ 着信規制



4

規制する発信／着信条件をタップ



発着信規制サービスが設定されます。

電話番号について

自分の電話番号を確認する

1

ホーム画面で （設定）



2

デバイス情報



「電話番号（SIM スロット 1）」／「電話番号（SIM スロット 2）」欄の下部に自分の電話番号が表示されます。

通話の設定をする

通話の設定をする

通話に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
伝言メモ	伝言メモを設定します。 詳しくは、「伝言メモを利用する」を参照してください。
通話サービス設定	・発信規制 特定の電話番号に電話やSMSが発信できないように制限します。 詳しくは、「発着信規制サービスを利用する」を参照してください。 ・着信規制 特定の電話番号に電話やSMSが着信できないように制限します。 詳しくは、「発着信規制サービスを利用する」を参照してください。 ・留守番電話・転送電話 留守番電話プラス／転送電話の利用や動作を設定します。 詳しくは、「留守番電話プラスを利用する」「転送電話サービスを利用する」を参照してください。 ・割込通話 割込通話の設定をします。 詳しくは、「割込通話を利用する」を参照してください。
発信者番号	発信時に番号を通知するかどうかを設定します。 詳しくは、「発信者番号通知サービスを利用する」を参照してください。

1

ホーム画面で （電話）



2

☰ → 設定 → 通話アカウント → SoftBank



通話設定（SoftBank）画面が表示されます。

3

各項目を設定



通話に関する設定が終了します。

電話帳を利用する

電話帳に電話番号やメールアドレスなどを登録できます。
ラベルを利用することで連絡先をグループで管理できます。
また、電話番号を指定してブロックすることで、着信やSMSの受信を拒否することができます。
Google アカウントでログインしている場合を例に説明します。

電話帳利用時のご注意

電話帳に登録したデータは、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

新しい連絡先を登録する

1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

連絡先



4

＋



5

各項目を入力 保存



連絡先が登録されます。

ダイヤル画面から連絡先を登録する

1

ホーム画面で （電話）



電話画面が表示されます。

2

キーパッド



3

ダイヤルキーをタップして、登録したい電話番号を入力



4

新しい連絡先を作成



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

5

姓／名などを入力 保存



連絡先の登録が完了します。

・詳細 メール ／ 誕生日 ／ 住所 ／ ラベル ／ その他と操作すると、連絡先のその他の項目を入力できます。

連絡先を確認する

1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

連絡先



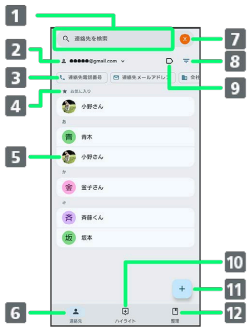
4

確認する連絡先をタップ



連絡先詳細画面が表示されます。

連絡先画面の見かた



名称	説明
1 検索	連絡先を検索できます。
2 連絡先の切り替え	連絡先を「すべての連絡先」「Google コンタクト」「デバイス」から選択して表示することができます。
3 フィルター	タップした項目に該当する連絡先が表示されます。 をタップすると、項目を表示したり非表示にしたりできます。
4 お気に入りに登録した連絡先	お気に入りに登録した連絡先が表示されます。
5 連絡先	タップすると、連絡先詳細画面が表示されます。
6 連絡先一覧	連絡先一覧画面が表示されます。
7 Google アカウント	Google アカウントの追加や管理、連絡先の各種設定ができます。
8 フィルターの表示／非表示	フィルターを表示したり非表示にしたりできます。
9 ラベル	ラベルを作成したり、作成したラベルを管理できます。
10 ハイライト	お気に入りに登録した連絡先の表示や、お気に入りの登録ができます。また、最近使用したアイテムの履歴が表示されます。
11 新規登録	新しい連絡先を登録できます。
12 整理	番号を指定して着信やSMSをブロックしたり、ゴミ箱を表示できます。

連絡先を編集する

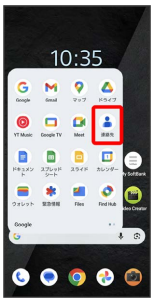
1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

連絡先



4

対象の連絡先をタップ



5



6

各項目を編集 保存



連絡先の編集が完了します。

連絡先を削除する

1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

連絡先



4

対象の連絡先をロングタッチ



・複数の連絡先を削除する場合は、対象の連絡先をロングタッチ（ 表示） 続けてほかの対象の連絡先をタップと操作します。

5



6

ゴミ箱に移動 ／ 削除



連絡先が削除されます。

・アカウントによって表示が異なります。

ラベル（グループ）を設定する

1

ホーム画面で （Google） （連絡先） 連絡先



2

新しいラベル



3

ラベル名を入力 OK



4

連絡先を追加



5

ラベルを設定する連絡先を選択



6

完了



選択した連絡先にラベルが設定されます。

ラベル設定時の操作

ラベルに連絡先を追加する

連絡先画面で 連絡先を追加するラベルを選択 追加する連絡先を選択 完了

ラベル名を変更する

連絡先画面で ラベルを選択 ラベル名を変更 ラベル名を変更 OK

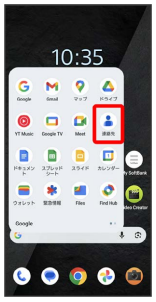
ラベルを削除する

連絡先画面で ラベルを選択 ラベルを削除 OK

番号を指定して着信やSMSをブロックする

1

ホーム画面で （Google） （連絡先）



連絡先画面が表示されます。

2

整理 ブロックした番号



着信拒否設定画面が表示されます。

3

番号を追加



4

電話番号入力欄をタップ ブロックする番号を入力 ブロック



ブロックの設定が完了します。

ブロックの設定を解除する

着信拒否設定画面で、解除したい電話番号の × ブロックを解除

連絡先ごとに着信音を設定する

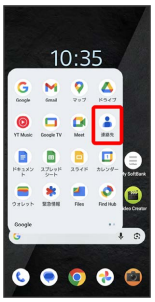
1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

連絡先



4

設定したい連絡先をタップ



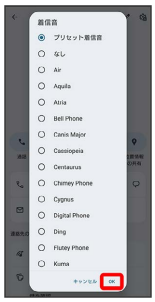
5

連絡先の着信音



6

設定したい着信音を選択 OK



着信音の設定が完了します。

・ダウンロードした着信音などを設定する場合は、 音を追加 をタップして画面の指示に従って操作してください。

連絡先ごとに画像を設定する

1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

連絡先



4

設定したい連絡先をタップ



5



6



7

デバイス内の写真



・Google フォト / モノグラム / イラスト をタップすると、フォト内の画像やモノグラム、イラストを設定できます。

8

ギャラリー



・カメラ をタップすると、カメラが起動します。撮影後、手順 11 に進みます。

9

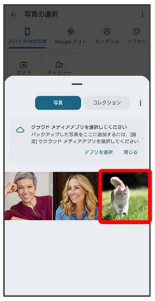
写真 ／ コレクション



・コレクション をタップしたときは、このあとフォルダを選択してください。

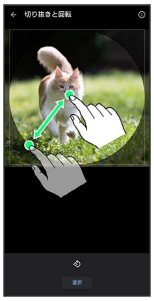
10

設定したい写真をタップ



11

写真をドラッグ／ピンチして調節



12

選択



13

保存



画像の設定が完了します。

電話帳データを読み込む

SDカードから電話帳データを読み込む

SDカードに保存（バックアップ）した電話帳データを読み込み（インポート）できます。

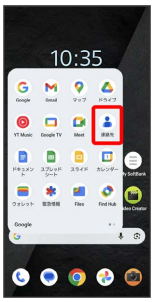
1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

整理



4

ファイルからインポート



5

インポートした連絡先の保存先をタップ

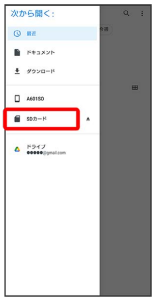


6



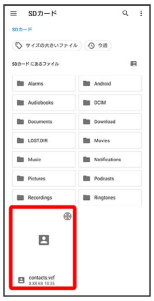
7

保存先のSDカードをタップ



8

読み込むファイルの保存先を選択 ➔ 読み込むファイルを選択



電話帳データの読み込みが完了します。

電話帳データを保存する

SDカードに電話帳データを保存する

1

ホーム画面で （Google）



2

（連絡先）



連絡先画面が表示されます。

3

整理



4

ファイルへエクスポート



5

エクスポートする連絡先の保存先をタップ



6

エクスポート



7

≡



8

保存先のSDカードをタップ



9

ファイルの保存先を選択 → 入力欄をタップ → ファイル名を入力 → 保存



SDカードに電話帳データが保存されます。

メール

＋メッセージについて.....84
＋メッセージ利用の準備を行う.....85
連絡先を利用する.....90
メッセージを送信する.....95
メッセージを確認する..... 102
グループメッセージを利用する..... 109
スタンプを利用する.....113
＋メッセージの設定をする..... 115
バックアップ／復元する.....122
公式アカウントとは.....131
公式アカウントを検索する..... 132
公式アカウントを利用するには..... 135
公式アカウントを管理する..... 135
Gmailを利用する.....137

＋メッセージについて

データ移行について

データ移行について、詳しくは＋メッセージ 使い方ガイド(https://help.mb.softbank.jp/app/plusmessage/sp/)を参照してください。

＋メッセージ利用時の操作

ヘルプを確認する

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ） ➔ マイページ ➔ ヘルプ

利用規約／プライバシーポリシー／著作権情報を確認する

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ） ➔ マイページ ➔ ＋メッセージについて ➔ 利用規約 ／ プライバシーポリシー ／ 著作権情報

＋メッセージでできること

1

（＋メッセージ）は電話番号を知っている相手とメッセージのやりとりができるアプリです。



2

写真や動画はもちろん、スタンプや現在地の情報を送受信することもできます。



3

複数の相手とメッセージのやり取りができるグループメッセージ機能も利用できます。



4

フォルダ形式の表示で利用することもできます。



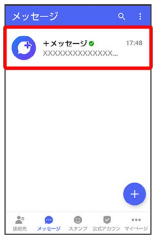
メッセージの種類

（＋メッセージ）では、3種類のメッセージを送受信できます。利用できるメッセージの種類は次のとおりです。

項目	説明
＋メッセージ	携帯電話の電話番号を宛先として、本アプリを利用している端末とメッセージの送受信ができます。画像や動画のほか、スタンプや位置情報などを送信することができます。最大全角2730文字まで送受信可能です。
SMS	携帯電話の電話番号を宛先として、670文字（半角英数字のみの場合は1530文字）までのメッセージを送受信できます。
S!メール	ソフトバンク携帯電話（S!メール対応端末）のほか、他社の携帯電話、パソコンなどのeメール対応端末とも送受信できるメールです。SMSより長いメッセージ、画像や動画などを添付して送信することができます。

＋メッセージからのお知らせについて

初回起動時の設定をすると「＋メッセージ」からメッセージが送信されます。
「＋メッセージ」ではサービスのメンテナンス情報等が配信されます。
「＋メッセージからのお知らせ」はブロックや返信はできません。



＋メッセージ利用の準備を行う

（＋メッセージ）をはじめて起動したときは、（＋メッセージ）についての説明画面や利用規約が表示されます。画面に従い、（＋メッセージ）を利用するための許可の設定や利用規約への同意、プロフィールの設定を行います。
また、パスコードの設定等、快適にご利用いただくための設定を行います。

初回起動時の設定を行う

Wi-FiをOFFにしてから操作してください。

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

次へ



・アクセス権限の設定画面が表示された場合は、機能の利用を許可してください。機能の利用を許可しなかった場合は、＋メッセージが正常に動作しないことがあります。
・他のメールアプリをデフォルトのSMSアプリとして設定している場合は、＋メッセージをデフォルトのSMSアプリに設定する画面が表示されます。画面の指示に従って＋メッセージをデフォルトのSMSアプリに設定してください。

3

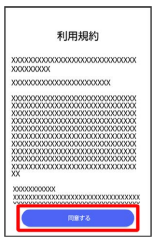
設定が完了すると画面が自動的に切り替わります



・Wi-Fiに接続している場合は画面の指示に従って操作してください。

4

同意する



5

会話表示にする ／ フォルダ表示にする → 次へ



6

画面を左にフリック



・スキップ をタップすると手順 10 に進みます。

7

画面を左にフリック



・スキップ をタップすると手順 10 に進みます。

8

画面を左にフリック



・スキップ をタップすると手順 10 に進みます。

9

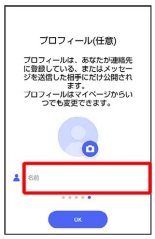
画面を左にフリック



・スキップ をタップすると手順 10 に進みます。

10

プロフィール（名前／ひとこと／場所登録）を設定



・設定せずに OK をタップして、あとで設定することもできます。詳しくは「プロフィールを編集する」を参照してください。

11

OK



初回起動の設定が完了します。

・（＋メッセージ）／（SoftBankメール）のバックアップデータがSDカード／本体／SoftBankサーバ内にあるときは、復元の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

パスコードを設定する

パスコードを設定すると、（＋メッセージ）を開く際にパスコードの入力が必要になります。



1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

プライバシー



5

パスコードを設定



6

パスコードを入力



7

パスコードを再度入力



8

通知時にメッセージの内容を表示するかどうかを設定



パスコードが設定されます。

パスコードの設定を解除する

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ） パスコードを入力 マイページ 設定 プライバシー パスコード設定を解除

既読を通知する設定を変更する

初期設定では、受信した＋メッセージを確認すると、相手の画面に表示されるアイコンが ✓（配信済み）から ✓✓（既読）に変わり、メッセージの既読を相手に通知します。受信したメッセージを確認しても ✓ のままにし、既読であることを相手に通知しない設定に変更することもできます。

・既読であることを相手に通知しない設定に変更すると、送信したメッセージを相手が既読にしたことも通知されなくなります。



1

ホーム画面で SoftBank → （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

プライバシー



5

メッセージの既読機能



既読を通知する設定が変更されます。

・タップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

不明な差出人からのメッセージを振り分ける設定を変更する

連絡先に登録していない差出人からのメッセージを、連絡先に登録している差出人からのメッセージと分けて表示するかどうかを設定します。
設定を有効にすると、連絡先に登録していない差出人からのメッセージは通知されなくなります。



1

ホーム画面で SoftBank → （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

メッセージ



5

連絡先未登録者をフィルタリング

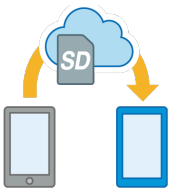


不明な差出人からのメッセージを振り分ける設定が変更されます。

・タップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

データを移行する

機種変更する際、これまでお使いの機種でメッセージをバックアップし、新たな機種で復元することで、メッセージの履歴を引き継ぐことができます。
データ移行について、詳しくは＋メッセージ 使い方ガイド (https://help.mb.softbank.jp/app/plusmessage/sp/)を参照してください。



連絡先を利用する

（＋メッセージ）の連絡先は、本体に保存されている連絡先と連動しています。（＋メッセージ）で連絡先を追加すると、本体にも連絡先が保存されます。＋メッセージを送受信できる連絡先は自動で認識され、が表示されます。

プロフィールを確認する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

連絡先



3

プロフィールをタップ



プロフィール画面が表示されます。

プロフィールを編集する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

連絡先



3

プロフィールをタップ



4

各項目を編集 OK



プロフィールの編集が完了します。

プロフィール画面の見かた



1 プロフィール画像
2 プロフィール画像編集
3 名前／名前編集
4 ひとこと／ひとこと編集
5 位置情報／位置情報編集
6 プロフィール公開情報設定

連絡先を検索する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

連絡先



3



4

検索するキーワードを入力



検索結果が表示されます。

連絡先をQRコードで追加する

1

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ）



2

連絡先



3

＋



4

QRコードで追加



・新しい連絡先 をタップすると、連絡先アプリが開き、連絡先を作成することができます。

5

相手機器でQRコードを表示 ➔ QRコードを画面中央に表示



6

はい



連絡先が追加されます。

・以降も操作が必要な場合は、画面の指示に従って操作してください。

＋ QRコード利用時の操作

自分のQRコードを表示する

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ） ➔ マイページ ➔ QRコード

自分のQRコードを保存する

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ） ➔ マイページ ➔ QRコード ➔ ⋮ ➔ ギャラリーに保存

自分のQRコードを共有する

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ） ➔ マイページ ➔ QRコード ➔ ⋮ ➔ 共有 ➔ 画面の指示に従って操作

連絡先ごとに通知音を変更する

1

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ）



2

連絡先



3

通知音を変更する連絡先をタップ



4



5

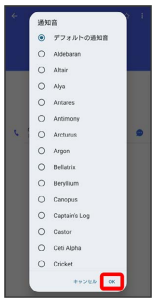
通知音設定



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

6

通知音をタップ ➔ OK



通知音の変更が完了します。

連絡先一覧画面の見かた



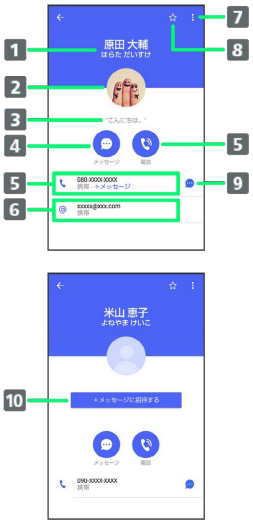
1	表示する連絡先の切り替え
2	プロフィールを表示
3	お気に入りに登録した連絡先
4	連絡先詳細画面を表示
5	連絡先を検索
6	公式アカウントを検索
7	＋メッセージの連絡先[1]
8	連絡先の追加

1 （＋メッセージ）を利用している連絡先に表示されます。

表示する連絡先を切り替える

連絡先一覧画面で すべての連絡先 ／ ＋メッセージの連絡先 ➔ ＋メッセージの連絡先 ／ すべての連絡先

連絡先詳細画面の見かた



1 名前
2 プロフィール画像
3 ひとこと
4 メッセージ作成
5 電話発信
6 S!メール作成
7 メニューを表示
8 お気に入り登録（☆）／解除（★）
9 ＋メッセージ／SMS作成
10 ＋メッセージに招待[1]

1 （＋メッセージ）を利用していない連絡先に表示されます。

連絡先詳細画面利用時の操作

連絡先をお気に入りに登録／解除する

連絡先詳細画面で ☆ ／ ★

・タップするたびに、登録（★）／解除（☆）が切り替わります。

連絡先を編集する

連絡先詳細画面で ⋮ → 編集 → 各項目を編集 → 保存

連絡先を共有する

連絡先詳細画面で ⋮ → 連絡先を共有 → 共有先のメッセージをタップ → 共有する情報を選択（☑ 表示） → ➤

・連絡先詳細画面で ⋮ → 連絡先を共有 → 👥 → 共有先の連絡先をタップ → OK → 共有する情報を選択（☑ 表示） → ➤ をタップしても連絡先を共有できます。
・共有先の連絡先がS!メールのときは、メッセージを入力 → ➤ をタップすると情報が添付されたメッセージが送信されます。

連絡先に登録してある電話番号／メールアドレスからのメッセージをブロックする

連絡先詳細画面で ⋮ → ブロック

・メッセージのブロックについて詳しくは、「メッセージをブロックする」を参照してください。
・連絡先のブロックを解除するときは、連絡先詳細画面で ⋮ → ブロック解除 をタップします。

連絡先を迷惑メッセージ報告する

連絡先詳細画面で ⋮ → 迷惑メッセージ報告 → 報告する電話番号／メールアドレスをタップ → 報告理由を選択（◉ 表示） → ➤ → 送信 → 閉じる ／ ブロック

連絡先を削除する

連絡先詳細画面で ⋮ → 連絡先を削除 → 削除

・本体の連絡先も削除されます。

メッセージを送信する

送信するメッセージの種類を切り替える

メッセージ画面で ⓘ → SMS／S!メールに切替

・SMS／S!メールに切替 をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

＋メッセージで送受信できるデータについて

メッセージの種類によって、送受信できるデータが異なります。

・＋メッセージで送受信できるデータのサイズは最大100MBです。
・S!メールで送受信できるデータのサイズは最大2MBです。

メッセージ	データ
＋メッセージ	画像、動画、スタンプ、音声メッセージ、位置情報、連絡先、スケッチ、ファイル
S!メール	画像、動画、音声メッセージ、位置情報、連絡先、スケッチ、ファイル

新しいメッセージを送信する

1

ホーム画面で SoftBank → （＋メッセージ）



2

メッセージ



3

＋



4

新しいメッセージ



5

送信する宛先をタップ

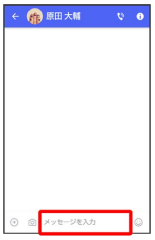


メッセージ画面が表示されます。

・連絡先に登録していない電話番号／メールアドレスへ送信する場合は、「名前や電話番号を入力」欄に電話番号／メールアドレスを入力 追加 をタップしてメッセージを作成できます。

6

メッセージ入力欄をタップ



7

メッセージを入力



メッセージが送信されます。

スタンプを送信する

1

メッセージ画面で ☺



2

スタンプの種類をタップ



3

スタンプをタップ



4

／スタンプのプレビューをタップ



スタンプが送信されます。

画像／動画を送信する

1

メッセージ画面で ⊕



2

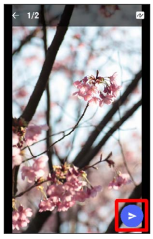


3

送信する画像／動画をタップ



4



画像／動画が送信されます。

・画像を編集するときは、 ➔ ／ ／ ➔ 画面の指示に従って操作 ➔ をタップしてください。
・S!メールの場合は、メッセージを入力 ➔ をタップすると画像／動画が添付されたメッセージが送信されます。

音声メッセージを送信する

1

メッセージ画面で ⊕



2



3



音声メッセージの録音が開始されます。

4

録音終了時に ■



5



音声メッセージが送信されます。

・▶をタップすると音声メッセージを再生できます。
・をタップすると音声メッセージが削除されます。
・S!メールの場合は、メッセージを入力 をタップすると音声メッセージが添付されたメッセージが送信されます。

位置情報を送信する

1

メッセージ画面で



2



・アプリの更新が必要なときは、画面の指示に従って更新してください。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3

地図を上にフリック



・をタップすると、現在地情報が送信されます。

4



5

位置情報のキーワードを入力 → 送りたい位置情報をタップ



6



位置情報が送信されます。

・S!メールの場合は、メッセージを入力 → ▶ をタップすると位置情報が添付されたメッセージが送信されます。

連絡先を送信する

1

メッセージ画面で ⊕



2

○○○



3

連絡先



4

連絡先を選択 → OK



・選択した連絡先が複数件あるときは、連絡先が送信されます。

5

共有する情報を選択（ ☑ 表示） ➔ ➢



連絡先が送信されます。

・S!メールの場合は、メッセージを入力 ➔ ➢ をタップすると連絡先が添付されたメッセージが送信されます。

スケッチを送信する

1

メッセージ画面で ⊕



2

○○○



3

スケッチ



スケッチ画面が表示されます。

4

スケッチを編集 ➔ ➢



スケッチが送信されます。

・S!メールの場合は、メッセージを入力 ➔ ➢ をタップするとスケッチが添付されたメッセージが送信されます。

スケッチ編集時の操作

背景色を変更する

スケッチ画面で 色をタップ

スケッチの一部を切り出す（トリミング）

スケッチ画面で 画面の指示に従って操作 OK

フィルターを設定する

スケッチ画面で フィルターをタップ

ペンを利用する

スケッチ画面で

・スケッチ画面をなぞると線を描くことができます。
・ペンの線の太さを変更するときは、「線の太さ／サイズ」の◯を左右にドラッグします。
・ペンの不透明度を変更するときは、「不透明度」の◯を左右にドラッグします。
・ペンの色を変更するときは、● 色をタップします。

スタンプを利用する

スケッチ画面で スタンプをタップ

・スケッチ画面をタップするとスタンプを押すことができます。

消しゴムを利用する

スケッチ画面で

・スケッチ画面をなぞるとペンで描いた線やスタンプを削除できます。

スケッチをリセットする

スケッチ画面で 削除

・ペンで描いた線やスタンプをすべて削除できます。

ファイルを送信する

1

メッセージ画面で ⊕



2

○○○



3

ファイル共有



4

☰



5

送信したいファイルがあるフォルダをタップ



6

ファイルをタップ



ファイルが送信されます。

・S!メールの場合は、メッセージを入力 ➡ ➢ をタップするとファイルが添付されたメッセージが送信されます。

メッセージを確認する

ローミング時の＋メッセージやS!メールの利用について

ローミング中に＋メッセージやS!メールを利用する場合は、ホーム画面で（設定）➡ ネットワークとインターネット ➡ SIM ➡ 設定するSIMを選択 ➡ ローミング ➡ OK と操作してローミングを有効（ 表示）にしてください。

メッセージを確認する

1

ホーム画面で SoftBank ➡ （＋メッセージ）



2

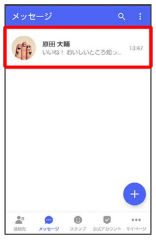
メッセージ



メッセージ一覧画面が表示されます。

3

メッセージをタップ



メッセージ画面が表示されます。

手動でS!メールを受信する

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ） マイページ 新着メール受信 新着メール問い合わせ OK

メッセージをブロックする

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



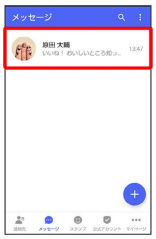
2

メッセージ



3

ブロックしたいメッセージをタップ



4



5

ブロック



メッセージがブロックされます。

メッセージのブロックについて

メッセージをブロックすると、ブロックした電話番号／メールアドレスからのメッセージがメッセージ一覧画面に表示されなくなり、受信しても通知されなくなります。ブロックしたメッセージは、ブロックメッセージフォルダに保存されます。また、ブロックした電話番号／メールアドレスへのメッセージの送信ができなくなります。

メッセージのブロック利用時の操作

ブロックしたメッセージを確認する

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ） マイページ 設定 プライバシー ブロックメッセージ メッセージをタップ

メッセージのブロックを解除する

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ） マイページ 設定 プライバシー ブロックリスト ブロックリスト編集 ブロックを解除したい連絡先の ブロック解除

迷惑メッセージを報告する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



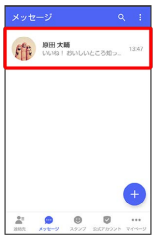
2

メッセージ



3

報告したいメッセージをタップ



4



5

迷惑メッセージ報告



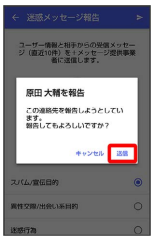
6

報告理由を選択（ ◉ 表示） ➔ ➢



7

送信



8

閉じる ／ ブロック



迷惑メッセージが報告されます。

メッセージ一覧画面の見かた



1 登録のない連絡先からのメッセージ
2 メニューを表示
3 メッセージの検索
4 ピンを付けたメッセージ
5 プロフィール画像／宛先／送受信・保存日時など
6 グループメッセージ
7 メッセージの新規作成

アイコン	説明
1	未読メッセージあり[1]
	下書きあり

1 数字は未読メッセージの件数です。

メッセージ一覧画面利用時の操作

すべてのメッセージを既読にする

メッセージ一覧画面で ⋮ → すべて既読

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

メッセージを並べ替える

メッセージ一覧画面で ⋮ → メッセージの並べ替え → 受信日時 / 未読メッセージ / お気に入りの連絡先

メッセージを検索する

メッセージ本文、差出人、件名から該当するメッセージを検索することができます。

メッセージ一覧画面で 🔍 → 検索する文字を入力 → 🔍

メッセージを削除する

メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ → 🗑 → 削除

・複数のメッセージを選択するときは、ロングタッチしたあとにほかのメッセージをタップします。

メッセージを画面上部に固定する（メッセージにピンを付ける）

メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ → ⋮ → ピンを付ける

・メッセージの固定を解除するときは、メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ → ⋮ → ピンを外す をタップします。

メッセージを非表示にする

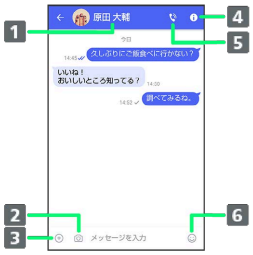
メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ → ⋮ → 非表示

・非表示にしたメッセージを再表示するときは、メッセージ一覧画面で マイページ → 設定 → プライバシー → 非表示メッセージ → 非表示にしたメッセージをロングタッチ → ⋮ → 再表示 をタップします。

メッセージごとに通知設定をする

メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ → ⋮ → 通知設定 → 1時間通知をOFF / 08:00まで通知をOFF / 受信通知をOFF / 受信通知をON

メッセージ画面の見かた



1 宛先[1]
2 クイックメニュー[2]
3 データの送信[3]
4 メニューを表示
5 電話発信[4]
6 スタンプの送信

1 S!メールやSMSのメッセージ画面では、宛先の下に「S!メール」「SMS」と表示されます。
2 カメラや音声メッセージなど、自由に設定できます。詳しくは「写真や動画の設定」を参照してください。
3 ＋メッセージとS!メールで利用できます。
4 ＋メッセージとSMSのメッセージ画面に表示されます。

アイコン	説明
✓✓	既読[1]
✓	配信済み[2]

1 ＋メッセージでのみ表示されます。
2 SMSでは、配信確認を有効にした場合に表示されます。

メッセージ画面利用時の操作

メッセージの既読機能を利用するかどうかを設定する

メッセージ画面で ⓘ → プライバシー設定 → メッセージの既読機能 → 個別設定しない(ON) / ON / OFF

メッセージごとの通知音を設定する

メッセージ画面で ⓘ → 通知音設定 → 通知音設定 → 設定する着信音をタップ → OK

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

メッセージごとの通知設定をする

メッセージ画面で ⓘ → 通知設定 → 1時間通知をOFF / 08:00まで通知をOFF / 受信通知をOFF / 受信通知をON

送受信した写真や動画などのファイルを一覧表示する

メッセージ画面で ⓘ → 送受信した写真や動画

・メッセージ画面で、画面の右端から左へフリックしても一覧を表示できます。

受信した写真や動画などのファイルを、端末に自動保存するかどうかを設定する

メッセージ画面で ⓘ → 写真や動画の端末自動保存 → 個別設定しない（OFF） / ON / OFF

宛先を追加してグループメッセージを作成する

メッセージ画面で ⓘ → 宛先を追加 → 宛先を選択 → OK → グループ名・グループ画像を設定 → OK

メッセージ画面の背景を変更する

メッセージ画面で ⓘ → 背景を変更 → 画像をタップ → この画面にのみ適用 / すべてに適用

・この画面にのみ適用 をタップすると、表示しているメッセージ画面の背景が変更されます。
・すべてに適用 をタップすると、すべてのメッセージ画面の背景が変更されます。
・画像をタップする画面で カメラ / ギャラリー をタップすると、撮影した写真や本体に保存されている画像を背景に設定できます。
・メッセージ画面の背景をロングタッチしても、背景を変更できます。

メッセージ履歴を保存して共有する

メッセージの履歴と受信した画像や動画を保存して、メールで送信したりほかのアプリへコピーすることができます。

メッセージ画面で ⓘ → メッセージ履歴を保存 → メッセージ履歴を共有する宛先をタップ／メッセージ履歴を共有するアプリをタップ → 画面の指示に従って操作

連絡先を表示する

メッセージ画面で ⓘ → 連絡先を表示

送受信したメッセージをコピーする

メッセージ画面で送受信したメッセージをロングタッチ →

送受信したメッセージやファイルを転送する

メッセージ画面で送受信したメッセージやファイルをロングタッチ → → → → 転送先の連絡先をタップ → OK

・メッセージを転送する場合は、 OK をタップしたあとに ➤ をタップします
・S!メールの場合は、 ➤ をタップするとファイルを転送できます。

送受信したメッセージを削除する

メッセージ画面で送受信したメッセージをロングタッチ → → 削除

・S!メールやグループメッセージの場合は、メッセージ画面で送受信したメッセージをロングタッチ → → 削除 → 削除 をタップします。
・画像選択時など、 が表示されない場合があります。その場合は、 → 削除 → 削除 をタップしてください。

送受信したファイルを保存する

メッセージ画面で送受信したファイルをロングタッチ → → 保存 → 画面の指示に従って操作

送受信したファイルを削除する

メッセージ画面で送受信したファイルをロングタッチ → → 削除 → 削除

写真や動画をダウンロードする

［モバイルデータ通信時］写真や動画を自動ダウンロード / ［Wi-Fi通信時］写真や動画を自動ダウンロード が無効（ 表示）のときに利用できます。

メッセージ画面で受信した写真や動画の → いいえ / はい

フォルダ形式の表示に切り替える

メッセージの画面を、フォルダ形式の表示に切り替えることができます。



1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

画面表示



5

表示モード



6

フォルダ形式で表示



フォルダ形式の表示に切り替わります。

・フォルダ形式で表示される画面について詳しくは、「フォルダー覧画面の見かた」、「メッセージ詳細画面の見かた（フォルダ形式表示）」を参照してください。

フォルダー一覧画面の見かた

フォルダ形式の表示に設定すると、（＋メッセージ）起動直後の画面はフォルダー一覧画面になります。フォルダ形式への切り替え方法について詳しくは、「フォルダ形式の表示に切り替える」を参照してください。



1 メニューを表示
2 未読メッセージ件数
3 サブフォルダ
4 公式アカウント一覧画面を表示
5 迷惑メッセージフォルダ
6 メッセージの新規作成

フォルダー一覧画面利用時の操作

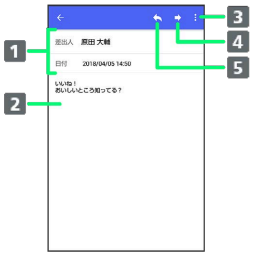
受信フォルダを作成する

フォルダー一覧画面で ⋮ → 受信フォルダ作成 → フォルダ名を入力 → 作成

送信フォルダを作成する

フォルダー一覧画面で ⋮ → 送信フォルダ作成 → フォルダ名を入力 → 作成

メッセージ詳細画面の見かた（フォルダ形式表示）



1 差出人／送受信日時など
2 本文
3 メニューを表示
4 メッセージを転送
5 メッセージに返信

グループメッセージを利用する

グループメッセージについて

（＋メッセージ）利用者同士であれば、グループメッセージを利用することができます。
同じグループのメンバーに写真やスタンプなどが共有できます。



グループS!メールについて

メールアドレスや、＋メッセージを利用していない電話番号を宛先にしたときは、グループS!メールでの送信となります。グループS!メールでは次の機能は利用できません。
・スタンプの送受信
・グループ名、グループ画像の設定

新しいグループメッセージを送信する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

メッセージ



3

＋



4

新しいグループメッセージ



5

グループメッセージを送信する宛先を選択 OK



・最大で99人を宛先に選択できます。

6

グループ名・グループ画像を設定 OK



グループメッセージ画面が表示されます。

7

メッセージ入力欄をタップ



8

メッセージを入力



グループメッセージが送信されます。

メンション機能について

グループメッセージ内で、宛先を指定してメッセージを送信することができます。
自分がメンションされたメッセージは、グループの「通知設定」で受信通知をOFFにした場合でも、「自分へのメンション通知」をONに設定している場合は通知されます。

メンション付きのメッセージを送信する

グループメッセージ内で、メンション付きメッセージを送信することができます。

メッセージ入力欄で「@」を入力 メンション付きメッセージを送信する宛先を選択 メッセージを入力

・メンション付きメッセージを送信する宛先を設定後、再度「@」を入力して宛先を追加することができます。
・メッセージ入力欄で ＋ @ と操作しても「@」を入力することができます。

グループメッセージに新しいメンバーを追加する

1

グループメッセージ画面で



2

宛先を追加



3

宛先を選択 OK



グループメッセージに新しいメンバーが追加されます。

・追加可能な宛先は、（＋メッセージ）を利用している連絡先のみです。（＋メッセージ）を利用していない連絡先を追加したいときは、新たにグループS!メールを作成してください。

グループから退出する

1

グループメッセージ画面で



2

グループから退出



3

退出



グループからの退出が完了します。

グループメッセージ画面の見かた



1	メンバー数
2	グループ画像
3	メニューを表示
4	グループ名

グループメッセージ画面利用時の操作

グループ名／グループ画像を変更する

グループメッセージ画面で → → グループ名／グループ画像を設定 → OK

メッセージの既読機能を利用するかどうかを設定する

グループメッセージ画面で → プライバシー設定 → メッセージの既読機能 → 個別設定しない（ON） ／ ON ／ OFF

グループメッセージごとの通知音を設定する

グループメッセージ画面で → 通知音設定 → 通知音設定 → 設定する着信音をタップ → OK

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

通知設定をする

グループメッセージ画面で → 通知設定 → 1時間通知をOFF ／ 08:00まで通知をOFF ／ 受信通知をOFF ／ 受信通知をON

自分へのメンションを通知するかどうかを設定する

グループメッセージ画面で → 自分へのメンション通知

・自分へのメンション通知 をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・「通知設定」で受信通知をOFFに設定している場合のみ表示されます。

グループ内で送受信した写真や動画などのファイルを確認する

グループメッセージ画面で → 送受信した写真や動画

グループ内で受信した写真や動画などのファイルを、端末に自動保存するかどうかを設定する

グループメッセージ画面で ⓘ → 写真や動画の端末自動保存 → 個別設定しない（OFF） / ON / OFF

グループ内で送受信した位置情報をまとめて表示する

グループメッセージ画面で ⓘ → 送受信した現在地を一括表示

背景を変更する

グループメッセージ画面で ⓘ → 背景を変更 → 背景を選択 → この画面にのみ適用 / すべてに適用

・カメラ / ギャラリー を選択したときは、画面の指示に従って操作してください。

メッセージ履歴を保存して共有する

メッセージの履歴と受信した画像や動画を保存して、メールで送信したり、ほかのアプリへコピーすることができます。

グループメッセージ画面で ⓘ → メッセージ履歴を保存 → メッセージ履歴を共有する宛先をタップ／メッセージ履歴を共有するアプリをタップ → 画面の指示に従って操作

メッセージの配信状態を確認する

グループメッセージ画面で送信したメッセージをロングタッチ → ⋮ → 配信状態

スタンプを利用する

スタンプストアについて

スタンプストアから、＋メッセージで送信できるスタンプをダウンロードすることができます。



スタンプをダウンロードする

1

メッセージ画面で ☺



2



3

スタンプをタップ



4

ダウンロード



スタンプがダウンロードされます。

マイスタンプを管理する

1

メッセージ画面で ☺



2



3



マイスタンプ画面が表示されます。

4



マイスタンプの編集画面が表示されます。

5

をドラッグしてスタンプの順番を変更できます。



6

をタップするとスタンプを削除できます。



7

OK



マイスタンプの編集を終了します。

＋メッセージの設定をする

メッセージの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
連絡先未登録者をフィルタリング	連絡先に登録していない差出人からのメッセージを、連絡先に登録している差出人からのメッセージと分けて表示するかどうかを設定します。 有効にすると、連絡先に登録していない差出人からのメッセージは通知されなくなります。メッセージ一覧画面で 連絡先登録済み → 不明な差出人 をタップすると、連絡先に登録していない差出人からのメッセージを確認できます。
バックアップ・復元	メッセージをバックアップ／復元します。 詳しくは、「バックアップ／復元する」を参照してください。
URLプレビュー	送受信したメッセージに含まれるURLを自動で読み込み、プレビューを表示するかどうかを設定します。
スタンプのプレビュー	送信前にスタンプを表示して確認するかどうかを設定します。
改行キーでメッセージを送信	メッセージを入力したあとに、改行キーでメッセージを送信するかどうかを設定します。
すべて既読にする際の確認	メッセージ一覧画面で → すべて既読 をタップしたあとに確認メッセージを表示するかどうかを設定します。
SMSの配信確認	SMS送信時に配信確認するかどうかを設定します。
件名フィールドを含める	SMS／S!メール送信時に件名フィールドを表示し、件名を入力できるようにするかどうかを設定します。
連結SMSで送信	70文字を超えるSMSを送信できるようにするかどうかを設定します。
S!メールの配信確認	S!メール送信時に配信確認するかどうかを設定します。
S!メールの自動受信	S!メールを自動で受信するかどうかを設定します。
メッセージ設定をリセット	メッセージ設定をリセットします

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

メッセージ



5

各項目を設定



設定が反映されます。

公式アカウントの設定

通知音を変更できます。

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

公式アカウント



5

通知音設定



6

画面の指示に従って操作

設定が反映されます。

写真や動画の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
［モバイルデータ通信時］写真や動画の自動ダウンロード	モバイルデータ通信時に受信した写真や動画を自動でダウンロードするかどうかを設定します。
［Wi-Fi通信時］写真や動画の自動ダウンロード	Wi-Fi通信時に受信した写真や動画を自動でダウンロードするかどうかを設定します。
写真や動画の端末自動保存	受信した写真や動画などのファイルを、端末に自動で保存するかどうかを設定します。
送信画像サイズ（推奨 大）	送信する画像のサイズを設定します。
送信動画サイズ（推奨 小）	送信する動画のサイズを設定します。
クイックメニュー設定	クイックメニューに表示する機能を設定できます。
写真や動画設定をリセット	写真や動画設定をリセットします。

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

写真や動画



5

各項目を設定



設定が反映されます。

画面表示の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
アプリのテーマカラー	本アプリ内でアイコンなどに利用される色を変更できます。
メッセージ画面のデフォルト背景	メッセージ画面の背景画像を設定できます。
表示モード	会話形式／フォルダ形式を切り替えます。 詳しくは、「フォルダ形式の表示に切り替える」を参照してください。

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

画面表示



5

各項目を設定



設定が反映されます。

通知の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
新着メッセージ通知	メッセージを受信したときに通知をするかどうかを設定します。
メッセージ内容表示	受信通知にメッセージの内容を表示するかどうかを設定します。
通知音	メッセージを受信したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。
通知音設定	通知音を変更できます。
通知バイブレーション	メッセージを受信したときにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
通知イルミネーション	メッセージを受信したときに本体のLEDを点灯させるかどうかを設定します。
グループの通知設定	グループの通知設定を変更できます。
通知設定をリセット	通知設定をリセットします。

1

ホーム画面で SoftBank （+メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

通知



5

各項目を設定



設定が反映されます。

プライバシーの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
パスコードを設定	アプリ起動時にパスコードを入力するように設定します。 詳しくは、「パスコードを設定する」を参照してください。
メッセージの既読機能	メッセージの既読を相手に通知するかどうかを設定します。 詳しくは、「既読を通知する設定を変更する」を参照してください。
ブロックリスト	ブロックした宛先を表示します。
ブロックメッセージ	ブロックした宛先からのメッセージを表示します。
ブロックメッセージの自動削除	ブロックした連絡先からのメッセージを自動で削除するかどうかを設定します。
非表示メッセージ	非表示にしたメッセージを再表示します。
My SoftBankへ移動	My SoftBankへ移動し、メールアドレスの変更や迷惑メールフィルターの設定などができます。
プライバシー設定をリセット	プライバシー設定をリセットします。

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

プライバシー



5

各項目を設定



設定が反映されます。

その他の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
＋メッセージの連絡先を更新	連絡先の＋メッセージの利用状況を更新します。
ユーザー情報引き継ぎ	MNP[1]でソフトバンク以外の事業者に転出するときに、（＋メッセージ）の情報を引き継ぐ設定ができます。詳しくは、「MNP（他社へのお乗り換え）をする際にデータを引き継ぐ」を参照してください。
＋メッセージサービスの初期化	本体およびサーバー上にあるデータを削除できます。

1　MNP（携帯電話番号ポータビリティ）とは、携帯電話事業者を変更したときに現在の電話番号をそのまま利用できる制度です。

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

その他



5

各項目を設定



設定が反映されます。

バックアップ／復元する

メッセージデータをサーバーや内部ストレージ／SDカードにバックアップして、復元することができます。
また、のりかえ（MNP／番号移行）で＋メッセージサービスを提供する携帯電話事業者へ変更する場合に、（＋メッセージ）のユーザー情報を引き継ぐことができます。

SDカード上のバックアップデータについて

SDカード上のバックアップデータは、次の場合に削除されます。
・アプリのアンインストールやデータ消去を行った場合
アプリのアンインストールやデータ消去を行う際は、SDカードを取り外してください。

メッセージデータを端末内／SDカードにバックアップする

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

メッセージ



5

バックアップ・復元



6

すべてのメッセージをバックアップ ／ メッセージを選択



・バックアップにブロックしたメッセージを含める場合は ブロックメッセージを含める を有効（ 表示）にしてください。

・ メッセージを選択 をタップしたときは、バックアップしたいメッセージを選択（ 表示） OK をタップしてください。

7

バックアップを開始



8

端末内／SDカード



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

9

≡



保存先候補が表示されます。

・SDカードはSDカードを挿入している場合、Google ドライブはGoogle アカウントを設定している場合に表示されます。

10

保存先を選択



・必要に応じてフォルダの選択や作成をしてください。

・端末内へ保存したい場合は機種名／ダウンロードを選択します。

11

保存



12

閉じる



メッセージのバックアップが完了します。

・バックアップしたデータのファイル名は「PlusMessage_」から始まり、拡張子は「.backup」になります。たとえば「PlusMessage_XXXXXXXX.backup」となります。

メッセージデータをGoogle ドライブなどにバックアップする

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

メッセージ



5

バックアップ・復元



6

すべてのメッセージをバックアップ ／ メッセージを選択



・バックアップにブロックしたメッセージを含める場合は ブロックメッセージを含める を有効（ 表示）にしてください。
・メッセージを選択 をタップしたときは、バックアップしたいメッセージを選択 OK をタップしてください。

7

バックアップを開始



8

共有 （Google ドライブなど）



メッセージのバックアップが開始されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・Google ドライブのアカウントへ事前にログインしておく必要があります。
・Google 以外のオンラインストレージサービスもご利用いただけます。

9

共有



10

ドライブに保存



11

保存



12

「←」をタップして戻る



バックアップが完了します。

メッセージデータを端末内／SDカードから復元する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

メッセージ



5

バックアップ・復元



6

メッセージを復元する



復元データ選択画面が表示されます。

7

バックアップファイルを選択する



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

・バックアップしたデータが表示されている場合は、内部ストレージ／SDカードからバックアップデータを選択し、手順 11 に進んでください。

8

≡



バックアップしたデータの保存先が表示されます。

・SDカードはSDカードを挿入している場合に表示されます。

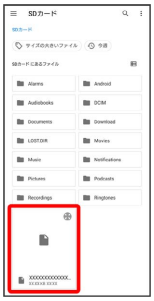
9

保存先を選択



10

復元するデータを選択



11

すべてのメッセージを復元 ／ メッセージを選択



・ブロックしたメッセージを含めて復元する場合は ブロックメッセージを含める を有効（ 表示）にしてください。
・ メッセージを選択 をタップしたときは、復元したいメッセージを選択 OK をタップしてください。

12

復元を開始



メッセージの復元が開始されます。

13

閉じる



メッセージの復元が完了します。

メッセージデータをGoogle ドライブなどから復元する

1

ホーム画面で SoftBank → （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



4

メッセージ



5

バックアップ・復元



6

メッセージを復元する



復元データ選択画面が表示されます。

7

サーバーにバックアップしたデータを選択



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

8

≡



バックアップしたデータの保存先が表示されます。

・事前にGoogle ドライブなどにログインしておく必要があります。

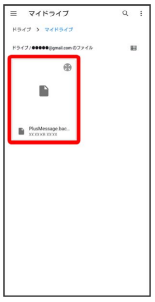
9

ドライブ



10

復元するデータを選択



11

すべてのメッセージを復元 ／ メッセージを選択



・ブロックしたメッセージを含めて復元する場合は ブロックメッセージを含める を有効（ 表示）にしてください。
・ メッセージを選択 をタップしたときは、復元したいメッセージを選択 OK をタップしてください。

12

復元を開始



メッセージの復元が開始されます。

13

閉じる



メッセージの復元が完了します。

MNP（他社へのお乗り換え）をする際にデータを引き継ぐ

MNP（他社へのお乗り換え）先の事業者でも＋メッセージを利用する場合、以下のユーザー情報を引き継ぐことができます。

・マイプロフィール
・グループ情報
・マイスタンプ
・未受信メッセージ

・受信済みメッセージ等は引き継ぐことができませんので、あらかじめSDカードにバックアップしておいてください。
・ユーザー情報引き継ぎの有効期限は、ユーザー情報引き継ぎ予約をしてから15日間です。有効期限内に、お乗り換え後の端末でアプリを起動し、サービスを利用開始する必要があります。

1

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ）



2

マイページ



3

設定



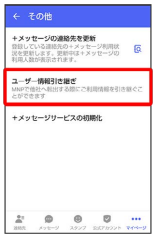
4

その他



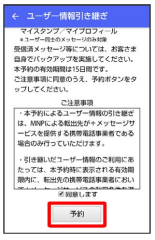
5

ユーザー情報引き継ぎ



6

注意事項を確認 ➔ 「同意します」の ☐ （ ☑ 表示） ➔ 予約



ユーザー情報の引き継ぎの予約が完了します。

MNPについて

MNP（携帯電話番号ポータビリティ）とは、携帯電話事業者を変更したときに現在の電話番号をそのまま利用できる制度です。

公式アカウントとは

企業の公式アカウントを利用することで、店頭や電話で行っていたお問い合わせ手続きが簡単にできます。

公式アカウント画面を表示する

ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ） ➔ 公式アカウント

・ホーム画面で SoftBank ➔ （＋メッセージ） ➔ 連絡先 ➔ 公式アカウントを探す と操作しても、公式アカウント画面を表示できます。

公式アカウント画面の見かた



1 検索ボタン
公式アカウントの検索ができます。

2 カテゴリタブ
公式アカウントがカテゴリごとに表示されます。

3 ホームタブ
公式アカウントが、おすすめやランキングなどで表示されます。

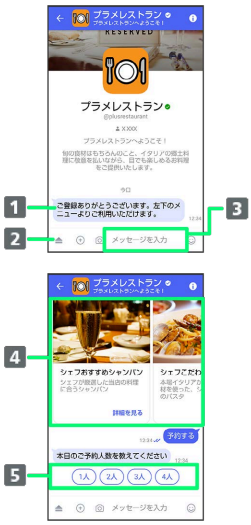
4 公式アカウント表示
公式アカウントが表示されます。

5 QRボタン
QRコードを読み込み、公式アカウントを利用できます。

6 利用中の公式アカウントタブ
ご利用中の公式アカウントの一覧が表示されます。

公式アカウントでできること

公式アカウントでつながっている企業とお客様との間でやり取りができます。



1 お知らせメッセージを受信
公式アカウントから、テキスト形式でお知らせを受信できます。

2 メニューを表示
利用できるメニュー項目を表示できます。メニュー項目から各種手続きができます。

3 テキストメッセージを送信
お客様から公式アカウントでつながっている企業へテキストメッセージを送信できます。

4 画像でよりわかりやすく、商品・サービスを比較・検索
画面を左右にスクロールすることで（カルーセル機能）、商品やサービスの画像をよりわかりやすく比較・検索できます。

5 アクションボタンでリアクション
ワンタップでお客様の要望を公式アカウントでつながっている企業へ送信できます。

公式アカウントを検索する

公式アカウントを検索するには4通りの方法があります。

ホームから検索する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

公式アカウント



3



4

利用したい公式アカウントをタップ



公式アカウントのメッセージ画面が表示されます。

カテゴリから検索する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

公式アカウント



3



4

利用したい公式アカウントのカテゴリをタップ



5

利用したい公式アカウントをタップ



公式アカウントのメッセージ画面が表示されます。

公式アカウント名から検索する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

公式アカウント



3

／



4



5

検索したい公式アカウント名を入力



6

表示された公式アカウントをタップ



公式アカウントのメッセージ画面が表示されます。

QRボタンから検索する

1

ホーム画面で SoftBank （＋メッセージ）



2

公式アカウント



3



4

QRコードを読み取る



公式アカウントのメッセージ画面が表示されます。

公式アカウントを利用するには

公式アカウントの利用を開始する

1

公式アカウントのメッセージ画面で「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」の ☐ （ ☑ 表示）



2

利用する



公式アカウントの利用が開始されます。

公式アカウントを管理する

公式アカウントの設定を変更したり、公式アカウントをブロックしたり、公式アカウントを迷惑メッセージとして報告したりすることができます。公式アカウントをブロックすると、利用中の公式アカウントの一覧には表示されません。

公式アカウントの利用を停止する

1

公式アカウントのメッセージ画面の ⓘ



2

利用停止



3

利用停止



公式アカウントの利用が停止されます。

公式アカウントをブロックする

1

公式アカウントのメッセージ画面の



2

ブロック



公式アカウントがブロックされます。

迷惑メールを報告する

1

公式アカウントのメッセージ画面の



2

迷惑メッセージ報告



3

報告理由を選択



4

送信



5

閉じる ／ ブロック



迷惑メッセージが報告されます。

Gmailを利用する

Google のメールサービス、会社や自宅などで送受信しているeメールを利用できます。

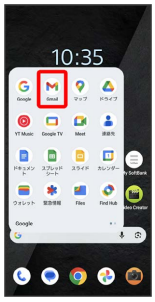
アカウントを設定する

Gmailを利用するには、Google アカウントまたはeメールアカウントの設定が必要です。
初回起動時のみ、アカウントの設定画面が表示され、設定を行うことができます。

・すでにお使いのアカウントを設定するときは、ユーザー名（ユーザーID）やパスワード、サーバー名などの情報をご確認ください。

1

ホーム画面で （Google） （Gmail）



アカウント設定画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

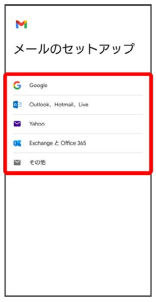
メールアドレスを追加



・あらかじめGoogle アカウントでログインしている場合は、GMAILに移動 をタップしてGmailを利用できます。 他のメールアドレスを追加 をタップして、ほかのメールアドレスを追加することもできます。

3

追加するアカウントの種類をタップ



4

画面の指示に従って操作



アカウントが設定されます。

メールを作成／送信する

1

ホーム画面で （Google）



2

（Gmail）



メール一覧画面が表示されます。

3

作成



メール作成画面が表示されます。

4

宛先／件名／本文を入力



メールが送信されます。

メール作成時の操作

Cc／Bccを追加する

メール作成画面で、「宛先」の ⌄ ➔ 宛先を入力

ファイルを添付する

メール作成画面で 📎 ➔ 写真 ／ カメラ ／ ファイル ／ ドライブ ➔ 添付するファイルを選択

・カメラ を選択すると、カメラが起動し、撮影した画像を添付できます。

作成中のメールを下書きとして保存する

メール作成画面で ⋮ ➔ 下書きを保存

作成中のメールを破棄する

メール作成画面で ⋮ ➔ 破棄

新着メールを確認する

新着メールを受信するとステータスバーに Gmail が表示されます。

1

ステータスバーを下にフリック



通知パネルが表示されます。

2

新着メールをタップ



受信した新着メールのメール詳細画面が表示されます。

・新着メールが2件以上あるときは、メール一覧画面が表示されます。確認する新着メールをタップしてください。

受信済みのメールを確認する

1

ホーム画面で （Google）



2

（Gmail）



メール一覧画面が表示されます。

3

対象のメールをタップ



メール詳細画面が表示されます。

メール確認時の操作

メールを返信する

メール詳細画面で差出人／宛先欄の右側の ↩ ➔ メールを作成 ➔ ➢

・全員へ返信する場合は、⋮ ➔ 全員に返信 と操作します。

・メール詳細画面下部の 返信 ／ 全員に返信 をタップしても返信できます。

メールを転送する

メール詳細画面で差出人／宛先欄の右側の ⋮ → 転送 → メールを作成 → ➢

・メール詳細画面下部の 転送 をタップしても転送できます。

メールを未読に戻す

メール一覧画面で未読にするメールをロングタッチ → ✉ → ←

メールを削除する

メール一覧画面で削除するメールをロングタッチ → 🗑

アカウントを手動で同期する

メール一覧画面で、画面を下にフリック

・自動同期の設定にかかわらず、手動で同期できます。

アカウントを追加する

ここではGoogle のメールアカウントの追加を例に説明しています。

・すでにお使いのアカウントを設定するときは、ユーザー名（ユーザーID）やパスワード、サーバー名などの情報をご確認ください。

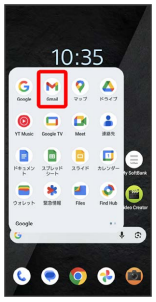
1

ホーム画面で （Google）



2

（Gmail）



メール一覧画面が表示されます。

3

アカウントのアイコンをタップ



4

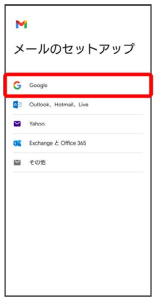
別のアカウントを追加



アカウントの設定画面が表示されます。

5

Google



6

画面の指示に従って操作



アカウントが追加されます。

アカウントを切り替える

メール一覧画面でアカウントのアイコンをタップ 切り替えたいアカウントをタップ

アカウントを削除する

1

ホーム画面で （設定） パスワードとアカウント



2

削除したいアカウントをタップ



3

アカウントを削除 アカウントを削除



アカウントが削除されます。

インターネット

Chromeを利用する.....144

Chromeを利用する

検索したい語句やURLを入力し、手軽にインターネットを利用できます。

TLSについて

TLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信でき、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。

TLS利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてTLSを利用するものとします。お客様ご自身によるTLSの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社であるデジサート・ジャパン合同会社、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しTLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。

Chromeを利用する

1

ホーム画面で （Chrome）



Chrome画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

画面上部の入力欄をタップ



3

検索したい語句またはURLを入力 →



検索結果またはウェブサイトが表示されます。

Chrome利用時の操作

新しいタブを開く

複数のタブを開いて、ウェブサイトの切り替えを簡単に行えます。

Chrome画面で ⋮ → 新しいタブ

・タブを切り替えるには、画面上部の 2 をタップして対象のタブをタップします（アイコン内の数字は、開いているタブの件数です）。

タブを閉じる

Chrome画面で 2 → 閉じたいタブの ×

・アイコン内の数字は、開いているタブの件数です。
・タブを左右にフリックしてもタブを閉じることができます。
・× の色は、タブによって異なります。

ウェブサイト内を検索する

ウェブサイト内の文字列を検索することができます。

ウェブサイト表示中に ⋮ → ページ内検索 → 検索文字列を入力

検索結果がハイライト表示されます。

ブックマークを登録する

1

ホーム画面で （Chrome）



Chrome画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

登録するウェブサイトを表示



3

⋮



4

☆



表示中のウェブサイトがブックマークに登録されます。

ブックマーク利用時の操作

ブックマークを編集する

Chrome画面で ⋮ → ブックマーク → モバイルのブックマーク → 対象のブックマークをロングタッチ → ✎ → 各項目を編集 → ← → ←

・対象のブックマークの ⋮ → 編集 と操作しても編集できます。

ブックマークを削除する

Chrome画面で ⋮ → ブックマーク → モバイルのブックマーク → 対象のブックマークをロングタッチ → 🗑

・対象のブックマークの ⋮ → 削除 と操作しても削除できます。

閲覧履歴を表示する

1

ホーム画面で （Chrome）



Chrome画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

履歴



履歴画面が表示されます。

3

対象の履歴をタップ



ウェブサイトが表示されます。

閲覧履歴を消去する

1

ホーム画面で （Chrome）



Chrome画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

設定 プライバシーとセキュリティ



3

閲覧履歴データを削除

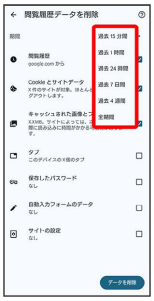


閲覧履歴データの削除画面が表示されます。

・Chrome画面で 履歴 閲覧履歴データを削除... と操作しても閲覧履歴データの削除画面を表示できます。

4

「期間」の ▼ ➔ 期間をタップ



5

削除する情報の種類を選択 ➔ データを削除



閲覧履歴の消去が完了します。

Chromeを設定する

1

ホーム画面で （Chrome）



Chrome画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

⋮ ➔ 設定 ➔ 各項目を設定



設定が完了します。

カメラ

カメラについて.....150
写真／動画を撮る.....151
写真／動画を見る（フォト）.....155
写真／動画を管理する（フォト）.....156
写真を加工する（フォト）.....158
カメラの設定を行う.....160
QRコードを読み取る.....161

カメラについて

さまざまな撮影方法で写真や動画を撮影します。AIカメラワークやぼけ効果での撮影をはじめ、プロ仕様の本格的な操作性や機能で撮影したりすることもできます。
オンラインマニュアルでは、基本的な写真や動画の撮影方法を記載しております。カメラの操作方法について詳しくは、こちらをご参照ください。
https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/

写真／動画のファイル形式

写真のファイル形式について

写真のファイル形式はJPEG（撮影モードが「写真」の場合）です。

動画のファイル形式について

動画のファイル形式はMP4です。

カメラに関するご注意

レンズの汚れについて

レンズが指紋や油脂などで汚れると、鮮明な写真／動画が撮れません。撮る前に、柔らかい布などで拭いてください。

直射日光を当てないでください

カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てないよう、ご注意ください。内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがあります。

撮影持続モードについて

撮影持続モードをONにして使い続けると、本体の温度が高くなる可能性がありますのでご注意ください。

写真／動画に関するご注意

著作権・肖像権について

お客様が本機で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットウェブサイトなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

撮影／画像送信について

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

使用している画像について

掲載している撮影写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

カメラ利用時のご注意

カメラ利用時は、次の点にご注意ください。
・撮った写真または動画は、お買い上げ時は本機（内部ストレージ）に保存されます。SDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にSDカードを取り付けて、保存先を変更してください。
・本機の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。
・解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。
・動画撮影時は、送話口／メインマイクを指などでふさがないようにしてください。
・撮影は、十分に充電された状態で行ってください。

ライト／フラッシュ点灯時の警告

ライト／フラッシュを目に近づけて点灯させないでください。ライト／フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、ほかの人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などを起こす原因となります。

カメラを起動する

1

ホーム画面で （カメラ）



撮影画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・本機のシャッターボタンを長押しするか、電源ボタンを2回押すとカメラをクイック起動できます。
・撮影画面で一定の時間何も操作しないとカメラが終了します。

写真／動画を撮る

写真を撮る

1

ホーム画面で （カメラ）

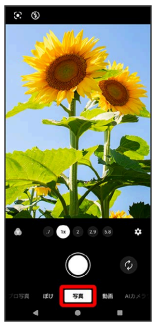


撮影画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・本機のシャッターボタンを長押しするか、電源ボタンを2回押すとカメラをクイック起動できます。
・撮影画面で一定の時間何も操作しないとカメラが終了します。

2

写真



3

カメラを被写体に向ける 撮影画面を確認して



シャッター音が鳴り、写真が保存されます。

・オートフォーカス機能で撮影するときは、シャッターキーを半押しし、緑色のフォーカス枠が表示されたら、そのままシャッターキーが止まるまでしっかり押してください。
・をロングタッチすると動画を撮影できます。「 」までドラッグすると、画面から指を離しても撮影を継続できます。
をタップすると停止します。

撮影画面のフォーカス枠について

オートフォーカス枠について

写真撮影時にオートフォーカス枠が表示されなかったときは、ピントが合わなかった可能性があります。

顔／瞳AFについて

撮影画面で顔や瞳を検出すると、検出した顔にオートフォーカス枠が表示されます（最大で5個）。そのうち自動でピントを合わせた顔のみ白色の枠で表示されます。ほかの枠をタップして、ピントを合わせる顔を変更することができます。

タッチトラッキングについて

「タッチトラッキング」を有効にしているときは、撮影画面で被写体をタップするとタッチトラッキングのフォーカス枠が表示されます。被写体が動いてもピントを合わせ続けます。

写真撮影時の操作

ズームを利用する

撮影画面で音量ボタンの＋／－を押す

・撮影画面をピンチしても、ズームを利用できます。
・アイコン（ （0.7倍））／（ （1倍））／（ （2倍））／（ （2.9倍））／（ （5.8倍））をタップすると、レンズが切り替わり、ズーム倍率が変更されます。選択中のアイコンをタップすると、インジケータが表示され、左右（横画面の場合は上下）にドラッグするとズームを利用できます。
・音量ボタンの操作は、「音量ボタン設定」により異なります。お買い上げ時は「ズーム」に設定されています。
・撮影方法によっては、ズームを利用できません。

サムネイル画像を確認する

撮影画面でサムネイルをタップ

撮った写真／動画が表示されます。

色合い・明るさを設定する

撮影画面をタップ （色合い）／ （明るさ）のスライダを上下（横画面の場合は左右）にドラッグして調整

クリエイティブを利用する

写真の仕上がりをお好みで選択できます。

撮影画面で クリエイティブの種類をタップ

フラッシュを設定する

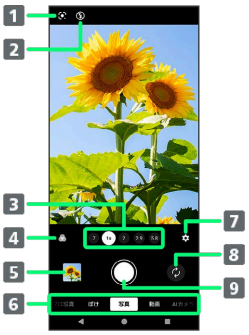
撮影画面で （OFF）をタップ

フラッシュが AUTO（オート）に変更されます。

写真撮影画面の見かた

「写真」撮影画面を例に説明します。

・表示される項目や操作は、設定状況、メインカメラ／フロントカメラによって異なります。



1 Google レンズの起動
2 フラッシュ
3 レンズ切り替えボタン[1]
4 クリエイティブ
5 サムネイル[2]
6 撮影モードを切り替え
7 クイックメニューを表示
8 メインカメラ／フロントカメラの切り替え
9 シャッター

1 アイコン（.7（0.7倍））／（1（1倍））／（2（2倍））／（2.9（2.9倍））／（5.8（5.8倍））をタップすると、レンズが切り替わり、ズーム倍率が変更されます。選択中のアイコンをタップすると、インジケータが表示され、左右（横画面の場合は上下）にドラッグするとズームを利用できます。

2 タップすると、撮った写真が表示されます。

撮影画面の表示について

近接撮影

メインカメラでの撮影時、被写体が近づくと自動的に近接撮影（超広角レンズ）に切り替わり、画面上部に が表示されます。

ナイト撮影

夜間など光量が少なくなると自動的にナイト撮影が開始され、画面上部に が表示されます。暗い場所でも明るく見やすい写真が撮影できます。 をタップしてオフにすることもできます。

動画を撮る

1

ホーム画面で （カメラ）

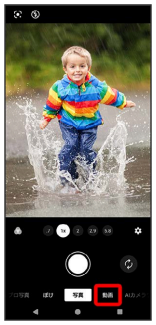


撮影画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・本機のシャッターボタンを長押しするか、電源ボタンを2回押すとカメラをクイック起動できます。
・撮影画面で一定の時間何も操作しないとカメラが終了します。

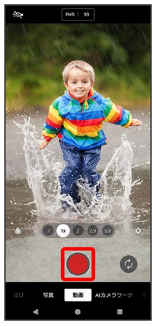
2

動画



3

カメラを被写体に向ける 撮影画面を確認して

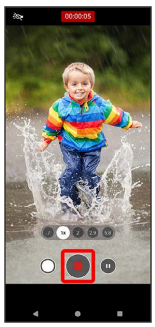


動画の撮影が開始されます。

・一時停止をするときは を、再開するときは をタップします。

4

撮影を終了するときは



動画の撮影が終了し、動画が保存されます。

・一時停止中に撮影を終了するときは をタップします。

動画撮影時の操作

ズームを利用する

撮影画面で音量ボタンの＋／－を押す

・撮影画面をピンチしても、ズームを利用できます。
・アイコン（.7（0.7倍））／（1（1倍））／（2（2倍））／（2.9（2.9倍））／（5.8（5.8倍））をタップすると、レンズが切り替わり、ズーム倍率が変更されます。選択中のアイコンをタップすると、インジケータが表示され、左右（横画面の場合は上下）にドラッグするとズームを利用できます。
・音量ボタンの操作は、「音量ボタン設定」により異なります。お買い上げ時は「ズーム」に設定されています。

動画撮影中に写真を撮る

動画撮影中に

シャッターボタンで動画を撮る

撮影画面でシャッターボタンを押す

・撮影を終了するときは、動画撮影中にシャッターボタンを押します。

サムネイル画像を確認する

撮影画面でサムネイルをタップ

撮った写真／動画が表示されます。

色合い・明るさを設定する

撮影画面をタップ （色合い）／ （明るさ）のスライダを上下（横画面の場合は左右）にドラッグして調整

動画の解像度を設定する

撮影画面で FHD 解像度の種類をタップ

動画のフレームレートを設定する

撮影画面で 30 フレームレートの種類をタップ

クリエイティブを利用する

動画の仕上がりをお好みで選択できます。

撮影画面で クリエイティブ クリエイティブの種類をタップ

シネマティックを利用する

シネマティックな階調や色再現を追求した撮影が可能です。

撮影画面で シネマティック S-Cine

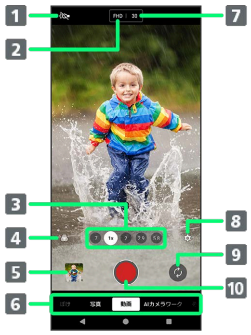
メインカメラでの撮影時に照明を設定する

暗い場所や逆光での動画撮影時に、フォトライトを使用するかどうかを設定します。

撮影画面で （照明：ON）／ （照明：OFF）

動画撮影画面の見かた

「動画」撮影画面を例に説明します。
表示される項目や操作は、設定状況、メインカメラ／フロントカメラによって異なります。



1 フォトライト
2 解像度
3 レンズ切り替えボタン[1]
4 クリエイティブ／シネマティック
5 サムネイル[2]
6 撮影モードを切り替え
7 フレームレート
8 クイックメニューを表示
9 メインカメラ／フロントカメラの切り替え
10 撮影開始／停止

1 アイコン（.7 （0.7倍））／（1 （1倍））／（2 （2倍））／（2.9 （2.9倍））／（5.8 （5.8倍））をタップすると、レンズが切り替わり、ズーム倍率が変更されます。選択中のアイコンをタップすると、インジケータが表示され、左右（横画面の場合は上下）にドラッグするとズームを利用できます。
2 タップすると、撮った写真／動画が表示されます。

撮影画面の表示について

近接撮影

メインカメラでの撮影時、被写体が近づくと自動的に近接撮影（超広角レンズ）に切り替わり、画面上部に が表示されます。

写真／動画を見る（フォト）

写真／動画を表示する

撮影およびダウンロードした写真／動画などを表示できます。フォトでは次のファイル形式に対応しています。

種類	ファイル形式
写真	BMP、GIF、HEIC、ICO、JPG、PNG、TIFF、WEBP、一部のRAWファイル
動画	3GP、3G2、ASF、AVI、DIVX、M2T、M2TS、M4V、MKV、MMV、MOD、MOV、MP4、MPG、MTS、TOD、WMV

1

ホーム画面で （フォト）



写真／動画一覧画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

写真／動画をタップ



写真／動画画面が表示されます。

・写真／動画画面をタップすると、メニューなどのアイコンの表示／非表示を切り替えることができます。
・写真／動画画面を上にフリックすると、撮影日時などの情報が表示されます。
・ほかのファイルを選択したい場合は、写真／動画一覧画面で見たいファイルを再度選択するか、写真／動画画面を左右にフリックして切り替えてください。

写真／動画一覧画面に表示されるアイコンについて

撮影モードによっては、写真／動画一覧画面にアイコンが表示されます。
・動画ファイルには が表示されます。
・連続撮影ファイルには が表示されます。
・スローモーションで撮った動画ファイルには が表示されます。

写真／動画確認時の操作

拡大／縮小する

写真／動画画面で画面をダブルタップ、またはピンチ

スライドショーで再生する

写真／動画画面で スライドショー

写真／動画を管理する（フォト）

写真や動画を削除したり、メールやBluetoothを使用して、ほかの端末やコンピュータへ写真／動画を送信することができます。

写真／動画を削除する

1

ホーム画面で （フォト）



写真／動画一覧画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

削除する写真／動画をタップ



3

ゴミ箱



4

ゴミ箱に移動



写真／動画の削除が完了します。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

写真／動画をメールで送信する

1

ホーム画面で （フォト）



写真／動画一覧画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

写真／動画をタップ



写真／動画画面が表示されます。

3

共有



4

メッセージ ／ ＋メッセージ ／ Gmail



以降は、画面の指示に従って操作してください。

・画面を上にフリックすると共有できるすべてのアプリを表示させることができます。
・複数のメールアカウントを登録している場合、最後に使ったメールアカウントを使用して送信します。

写真／動画送信時の操作

複数の写真／動画を送信する

写真／動画一覧画面で、送信する写真／動画をロングタッチ（ 表示） 送信するほかの写真／動画を続けてタップ メッセージ ／ ＋メッセージ ／ Gmail 画面の指示に従って操作

・写真／動画をタップするたびに、選択（ ）／解除（ ）が切り替わります。

写真／動画をBluetoothを使用して送信する

写真／動画一覧画面で写真／動画をタップ 共有 Bluetooth 画面の指示に従って操作

・画面を上にフリックすると共有できるすべてのアプリを表示させることができます。

写真を加工する（フォト）

写真を回転させる

1

ホーム画面で （フォト）



写真／動画一覧画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

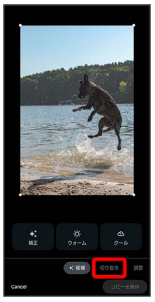
2

写真をタップ



3

編集 切り抜き



4



写真が回転します。

5

コピーを保存



回転させた写真が、別のファイルとして保存されます。

写真の一部を切り出す（トリミング）

1

ホーム画面で （フォト）



写真／動画一覧画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

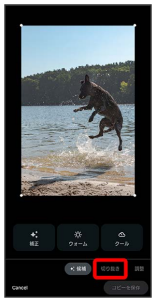
2

写真をタップ



3

編集 → 切り抜き



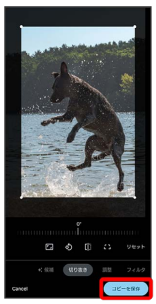
4

切り出す枠をドラッグして調節



5

コピーを保存



切り出した写真が、別のファイルとして保存されます。

カメラの設定を行う

カメラのはたらきをお好みで設定できます。

撮影モードを選択する

1

ホーム画面で （カメラ）

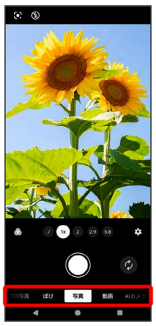


撮影画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・本機のシャッターボタンを長押しするか、電源ボタンを2回押すとカメラをクイック起動できます。
・撮影画面で一定の時間何も操作しないとカメラが終了します。

2

撮影モードを選択



撮影モードが切り替わります。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

SDカードのスピードクラスについて

4Kビデオ撮影、スローモーション撮影でデータをSDカードに保存する場合は、高速書き込みが可能なSDカード（V30以上）をお使いいただくことをおすすめします。

カメラのはたらきを設定する

・撮影モードや撮影画面によって表示される設定項目は異なります。
・設定によっては、ほかの設定と同時に使用できない場合があります。

設定項目	説明
縦横比[1]	写真の縦横比を設定します。
タイマー[1]	セルフタイマーの秒数を設定します。設定した秒数が撮影ボタンに表示されます。
フラッシュ[1]	撮影時のフラッシュについて設定します。
解像度[2]	撮影する動画の解像度を設定します。
フレームレート[2]	フレームレートを変更します。
ライト[2、3]	フォトライトを使用して動画を撮影するかどうかを設定します。
メニュー	さらに詳細にカメラの設定を変更できます。詳しくは、こちらをご参照ください。https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/

1　写真撮影時のみ設定できます。
2　動画撮影時のみ設定できます。
3　メインカメラ撮影時のみ設定できます。

1

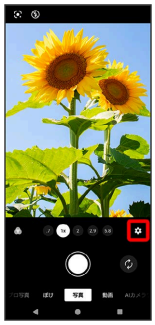
ホーム画面で （カメラ）



撮影画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・本機のシャッターボタンを長押しするか、電源ボタンを2回押すとカメラをクイック起動できます。
・撮影画面で一定の時間何も操作しないとカメラが終了します。

2



クイックメニューが表示されます。

3

各項目を設定



設定が反映されます。

QRコードを読み取る

QRコードを読み取り、読み取り結果に対応したアプリを起動して利用できます。

QRコードを読み取る

1

ホーム画面で （カメラ）



撮影画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・本機のシャッターボタンを長押しするか、電源ボタンを2回押すとカメラをクイック起動できます。
・撮影画面で一定の時間何も操作しないとカメラが終了します。

2

写真



3

読み取るQRコードを画面中央に表示



自動的にQRコードが読み取られ、撮影画面上にバナーが表示されます。

・撮影画面上のバナーをタップすると、読み取ったQRコードに対応したアプリが起動します。

アプリの基本

アプリについて.....164
アプリを追加／削除する.....168

アプリについて

アプリに必要な許可を設定する

アプリをはじめて起動したときは、動作について設定が必要になります。
アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なり、ここでは、（ミュージック）をはじめて起動したときの操作を例に説明します。

・機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

1

（ミュージック）



2

許可



設定が完了します。

・許可する機能によっては、表示される設定項目が異なります。
・利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

その他の方法でアプリに必要な許可を設定する

アプリごとに利用する機能を設定する

ホーム画面で（設定）➡ アプリ ➡ すべてのアプリ ➡ アプリをタップ ➡ 許可 ➡ 機能をタップ ➡ 必要な許可をタップ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定する

ホーム画面で（設定）➡ プライバシー ➡ 権限マネージャ ➡ 機能をタップ ➡ アプリをタップ ➡ 必要な許可をタップ

アプリを起動する

1

ホーム画面で画面を上にフリック



ランチャー画面が表示されます。

2

起動するアプリをタップ



アプリが起動します。

アプリの利用に必要な権限について

一部のアプリを利用するには、本機内のデータへのアクセスや写真撮影など、重要な機能へのアクセス権限を許可する必要があります。
許可が必要なアプリは、起動時に確認画面が表示され、画面の指示に従って操作することでアプリを使用できます。
・詳しくは、「アプリに必要な許可を設定する」を参照してください。

アプリを切り替える

1

□



アプリの使用履歴画面が表示されます。

2

使用したいアプリをタップ



タップしたアプリが表示されます。

アプリ一覧

お買い上げ時に搭載されているアプリは次のとおりです。

・お買い上げ時のランチャー画面では「Google」や「ツール」などの各フォルダに格納されているアプリがあります。
・アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。

アイコン	機能・サービス
（＋メッセージ）	＋メッセージ（プラスメッセージ）は同じアプリを利用している相手と、電話番号だけで1対1やグループでのメッセージのやり取りが楽しめるサービスです。長文テキストメッセージに加え、無料スタンプや写真、動画、位置情報等も送受信出来ます。また、本アプリではSMSやS!メール（MMS）もご利用頂けます。
（Booking.com）	宿泊先の検索や予約などができます。
（Chrome）	Chromeでウェブサイトを閲覧できます。
（Creators' App）	クリエイターの撮影から制作までをサポートするプラットフォーム「Creators' Cloud」にアクセスできます。
（Facebook）	友達や家族などの親しい人々や、同じ興味・関心を持つ人々とのコミュニティとつながることができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです。
（Files）	内部ストレージやSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。
（Find Hub）	紛失した Android™ デバイスの位置をGoogle マップ上で特定したり、遠隔操作でデバイスのロックやデータ消去、デバイスから音を鳴らして見つけることができます。
（Fitbit）	健康、フィットネス、睡眠に関するデータを記録したり、目標を設定することができます。
（Game enhancer）	ゲーム体験を向上させる機能を提供します。ゲーム中のパフォーマンス最適化、誤操作防止などの専用設定でさらにゲームを楽しみやすくします。 Game enhancerについて詳しくは、こちらをご参照ください。 https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/
（Gemini）	Geminiと会話することでアプリの操作をしたり、知識や情報を得ることができます。
（Gmail）	Google アカウントのメールや、Gmail以外のeメールを送受信できます。
（Google）	キーワードからウェブサイトを対象に検索できます。
（Google One）	ドライブ、Gmail、フォトのストレージの管理や、Google のサポートスタッフに問い合わせなどができます。
（Google TV）	映画などをレンタル・購入できます。

（HELPO）	健康医療サポートアプリ「HELPO」の紹介ページへのリンクアプリになっております。24時間365日いつでもチャットで相談できる健康医療相談チャットや自宅から診療が受けられ、土日も利用可能なオンライン診療、歩数でポイント獲得できる健康サポートなどにも対応しております。 専用サイトから加入いただけますと、ソフトバンク・ワイモバイル・LINEMOのユーザーには特典の付与などがございます。
（Home）	Google Cast™ 対応機器などGoogle Homeのデバイスを設定、管理します。
（LINE MUSIC）	名曲から最新ヒット曲まで楽しめる定額制音楽サービスです。 最新ランキング・ミュージックビデオ・カラオケなど音楽をお楽しみいただけます。
（LinkedIn）	ビジネスを支援する機能が多数搭載されているSNSアプリです。
（Meet）	ビデオ通話ができるアプリです。
（My SoftBank）	請求額やデータ使用量がかんたんに確認できるアプリです。また、料金プランやオプション契約、各種メール設定の内容が確認・変更できます。
（Netflix）	全世界で利用されている世界最大級の映像配信サービスです。 お気に入りの映画やドラマをパソコン、スマートテレビ、タブレット、スマートフォン、その他インターネットに接続されたデバイスで体験できます。
（PayPay）	スマホひとつでカンタン・おトクにお支払いができるアプリです。全国のお店を始め、ネットサービスや公共料金の支払いもできます。日々のお買い物で使えるお得で便利なキャッシュレス決済サービス「PayPay」をぜひご利用ください。
（Perplexity）	Perplexity（パープレキシティ）は高い回答精度を持つAI搭載の検索エンジンです。インターネット上の様々な情報を自動で要約し、自然な文章で回答します。
（Play ストア）	Google Playからさまざまなアプリをダウンロード・購入できます。
（PS App）	PlayStation®Storeで最新のゲーム情報を確認したり、ゲーム仲間などと情報交換をしたりできるアプリです。
（Reader by Sony）	ソニーの本屋「Reader Store」で購入した電子書籍を読むことができます。
（Sound Connect）	アプリ連携機能搭載のソニー製ヘッドホンの設定を、好みにカスタマイズできます。
（TikTok）	TikTokは、世界中の動画を楽しめるショートムービープラットフォームアプリです。おもしろ動画、グルメ、癒されペット、ためになる動画など豊富なジャンル。自分の好きな動画がきっと見つかります。
（Video Creator）	友達との共有やSNS投稿しやすい、短い動画を手軽に作れる動画編集アプリです。Video Creatorについて詳しくは、こちらをご参照ください。 https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-1m8-entertainment/ja/
（Wi-Fiスポット設定）	ソフトバンクWi-Fiスポット提供エリアで、ソフトバンクWi-Fiスポットに自動で接続（ログイン）することができるようになるアプリです。ご利用には、ソフトバンクWi-Fiスポットサービスへの加入が必要となります。
（Xperia Lounge）	ソニーの製品やキャンペーン情報などを紹介するアプリです。
（Yahoo!）	Yahoo! JAPANアプリでは、厳選ニュースやスポーツ、芸能、天気予報など、毎日を豊かにする情報をお届けします。 検索や災害情報のプッシュ通知など、便利な機能も。スマートフォンでも、ぜひYahoo! JAPANをご活用ください。
（Y!ショッピング）	Yahoo! JAPANが運営する日本最大級のオンラインショッピングモールです。有名ブランドの商品や人気の家電、食料品、ギフト、日用品まで幅広い商品が揃っています。お買い物でPayPayポイントがもらえたりお支払い時にも使えるのでさらにお得に便利にご利用いただけます。
（YouTube）	YouTubeで動画を再生できます。
（YT Music）	YouTube Musicの音楽ストリーミングサービスを利用できるほか、内部ストレージやSDカードの音楽を再生できます。
（あんしんデータボックス）	大切なデータをかんたんに保存できるサービスです。 自動バックアップで故障や紛失など万が一の時でも大切な写真・動画・連絡先などが復元できます。
（あんしんフィルター）	お子さまを不適切なサイトや有害アプリから守り、安全にスマートフォンやタブレットが利用できるようにサポートします。 ご利用にはあんしんフィルターのサービスに加入する必要があります。
（ウォレット）	電子マネーやポイントカードなど、日常生活に欠かせないものをまとめて管理できるアプリです。
（おサイフケータイ）	おサイフケータイ®対応のサービスを利用できます。
（カメラ）	ソニーが培ってきたノウハウを凝縮した機能を搭載しており、クリエイティブな写真やプロが撮影したような動画を撮影できます。
（カレンダー）	予定やリマインダーを登録して管理できます。
（緊急情報）	緊急情報サービスを利用できます。
（緊急速報メール）	気象庁が配信する「緊急地震速報」・「津波警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報・特別警報」などを、対象エリアにいるお客さまにブロードキャスト（同報）配信するサービスです。 「緊急速報メール」を受信した携帯電話は、自動でメッセージが表示され、回線混雑の影響を受けずに受信することができます。

（災害用伝言板）	震度6弱以上の地震など、大規模災害が発生した場合に、安否情報の登録、確認、削除ができます。 また、あらかじめ設定したeメールアドレスに対して、安否情報が登録されたことを自動送信することができます。
（さとふる）	ふるさと納税サイト「さとふる」の公式アプリです。 ふるさと納税とは、あなたが応援したい自治体に寄付ができる仕組みのことで、お礼品として自治体から特産品などをもらうことができます。 プッシュ通知やお知らせで、寄付後のお礼品の発送状況など、お手元に届くまでサポートします。 また、控除額シミュレーションを使えば控除上限額がすぐに計算され、控除上限額までの残高がマイページ上で簡単に確認できます。
（スプレッドシート）	スプレッドシートの作成・編集・共有ができます。
（スマートフォン安心遠隔ロック）	端末が紛失・盗難にあった際、遠隔からロックができます。 さらに、電話帳やメール・発着信履歴などのデータを遠隔消去できるので、セキュリティの強化に役立ちます。
（スライド）	プレゼンテーションの作成・編集・共有ができます。
（セキュリティOne）	Webサイトやメッセージ（SMS）、電話、Wi-Fiなどを安全にご利用できるように、お客さまのスマートフォンを危険やトラブルから守るアプリです。 ご利用いただくには「セキュリティパックプレミアム」へのお申し込みが必要です。
（設定）	本機の各種設定ができます。
（だれでもAI）	画像生成や音楽生成などのAIサービスを、アカウント登録不要、ボタンを押すだけで、気軽にお楽しみいただけます。
（データコピー）	iPhoneやスマートフォンなど端末内にある電話帳やメール等のデータを、かんたんに別の端末にコピーできるアプリです。 サーバやSDカードを経由せず、コピー元、コピー先の端末をダイレクトに接続することで、かんたんに・はやくデータコピーが可能です。 機種変更時に、これまでお使いの端末から新たな端末にデータをコピーしたい場合に便利です。
（電卓）	四則演算をはじめ、いろいろな計算ができます。
（電話）	電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。
（ドキュメント）	ドキュメントの作成・編集・共有ができます。
（時計）	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間を利用できます。
（ドライブ）	Google ドライブに保存したファイルを閲覧・編集・共有できます。
（ニュース）	最新のニュースやお好みの情報をまとめて閲覧できます。
（フォト）	写真や動画を表示／再生できます。Google アカウントでログインして、バックアップすることもできます。
（マップ）	現在地の表示、ほかの場所の検索や経路検索などGoogle マップのサービスを利用できます。
（ミュージック）	内部ストレージやSDカードなどに保存した音楽データを再生できます。
（メッセージ）	スマートフォンでSMS／MMSを利用するためのGoogle のアプリです。
（連絡先）	友人や同僚の連絡先を管理できます。

ホーム画面のショートカットについて

サイドセンスについて

ホーム画面には、（サイドセンス）が配置され、サイドセンスのON／OFFや動作について設定することができます。

かんたんホームについて

ホーム画面には、（かんたんホーム）が配置され、基本的な機能に限定したホーム画面や設定項目に切り替えることができます。かんたんホームについて詳しくは、「ホーム画面シートを切り替える」を参照してください。

ソニーの本屋について

ホーム画面の（おすすめ）フォルダには、（Reader by Sony）が配置され、ソニーのeBookストア「Reader Store」のウェブサイトを表示できます。

ランチャー画面の操作について

アイコンをホーム画面に追加する

ランチャー画面でアイコンをロングタッチ → 追加する場所までドラッグ

・フォルダをロングタッチすると、アプリのショートカットをフォルダごと追加できます。

アプリをアンインストール／無効にする

ランチャー画面でアプリをロングタッチ → アプリ情報 → アンインストール ／ 無効にする → OK ／ アプリを無効にする

・アプリによってはアンインストール／無効にできない場合があります。

アイコンを名前順に並べ替える

ランチャー画面で ⋮ → アプリの並び順 → 名前順

アイコンを個別に指定して並べ替える

ランチャー画面で ⋮ ➔ カスタマイズ ➔ アプリアイコンをロングタッチして、並べ替える場所までドラッグ ➔ ⋮ ➔ 終了

・「アプリの並び順」が「カスタム」のときに並べ替えできます。

アプリを検索する

ランチャー画面で画面上部のアプリ検索バーをタップ ➔ アプリの名前を入力

アプリを追加／削除する

Google Playから、さまざまなアプリ（無料・有料）をダウンロードすることができます。ダウンロードしたアプリは、設定を変更することによって手動または自動で更新することができます。あらかじめ、Google アカウントでログインしておいてください。

Google Playの使いかたを確認する

Google Play画面で、検索バーの右側のアカウントアイコンをタップ ➔ ヘルプとフィードバック

ヘルプ画面が表示されます。

アプリのインストールについて

本機では、Google LLCが提供する「Google Play」上より、さまざまなアプリのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきまして、当社は一切の保証をいたしかねます。

無料アプリをインストールする

1

ホーム画面で （Play ストア）



Google Play画面が表示されます。

2

無料アプリをタップ



3

インストール



アプリがダウンロードされ、インストールされます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

有料アプリを購入する

1

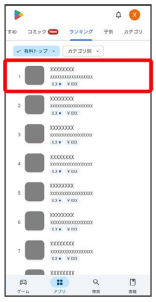
ホーム画面で （Play ストア）



Google Play画面が表示されます。

2

有料アプリをタップ



3

金額をタップ



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

4

画面に従って操作

アプリがダウンロードされ、インストールされます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

購入したアプリについて

支払いについて

支払いは1度だけです。アンインストール後の再ダウンロードの際は、代金は不要です。

ほかのAndroid 搭載機器について

同じGoogle アカウントを設定しているAndroid 搭載機器であれば、無料でインストールできます。

返金を要求する

購入後一定時間以内であれば、返金を要求できます。返金を要求すると、アプリは削除され、代金は請求されません。返金要求は、1つのアプリにつき、1度だけ有効です。

Google Play画面で、右上部のアカウントアイコンをタップ ➔ アプリとデバイスの管理 ➔ 管理 ➔ 返金を要求するアプリをタップ ➔ 払い戻し ➔ 払い戻しをリクエスト

アプリの購入について

アプリの購入は自己責任で行ってください。アプリの購入に際して自己または第三者への不利益が生じた場合、当社は責任を負いかねます。

アプリを更新する

1

ホーム画面で （Play ストア）



Google Play画面が表示されます。

2

右上部のアカウントアイコンをタップ ➔ アプリとデバイスの管理



3

管理 ➔ アップデート利用可能 ➔ 更新するアプリをタップ ➔ 更新



アプリが更新されます。

アプリ更新の設定をする

アプリの自動更新を設定する

Google Play画面で、右上部のアカウントアイコンをタップ ➔ 設定 ➔ ネットワーク設定 ➔ アプリの自動更新 ➔ 更新方法を設定

アプリの自動更新を個別に設定する

Google Play画面で、右上部のアカウントアイコンをタップ
アプリとデバイスの管理 管理 アプリをタップ
自動更新の有効化 （ 表示）

・アプリによっては、自動更新を許可できないものもあります。

アプリを削除（アンインストール）する

Google Playでインストールしたアプリは、削除（アンインストール）することもできます。

1

ホーム画面で （Play ストア）



Google Play画面が表示されます。

2

右上部のアカウントアイコンをタップ



3

アプリとデバイスの管理



4

管理



5

削除するアプリをタップ



6

アンインストール



7

アンインストール



アプリが削除されます。

便利な機能

My SoftBankを利用する.....174
緊急速報メールを利用する.....174
Google マップを利用する.....175
指紋認証機能を利用する.....177
Google 検索を利用する.....180
電卓で計算をする.....180
ライトを点灯する.....181
カレンダーを利用する.....182
時計／アラームを利用する.....184
YouTubeを利用する.....189
音楽を聴く（ミュージック）.....189
NFC／おサイフケータイ®を利用する.....190

My SoftBankを利用する

ご利用料金やご契約内容の確認・変更のお手続きができます。
ご利用時はWi-FiをOFFにしていただくと自動でログインできます。

My SoftBankを利用する

1

ホーム画面で （My SoftBank）



My SoftBank画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

緊急速報メールを利用する

気象庁が配信する「緊急地震速報」・「津波警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報・特別警報」などを本機で受信して、警告音とメッセージでお知らせします。

緊急速報メールの設定を変更する

ホーム画面で （設定） 通知 緊急速報メール 各項目を設定

緊急速報メール利用時のご注意

受信について

お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。また、当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

待受時間について

緊急速報メールを有効にしている場合、待受時間が短くなることがあります。

緊急速報メールを受信すると

緊急速報メールのメッセージが表示され、緊急地震速報の警告音／津波警報、災害・避難情報の専用着信音およびバイブレーションでお知らせします。

・通信中および電波状態が悪いときは受信できません。
・マナーモード設定中でも警告音が鳴動します。

以前に受信した緊急速報メールを確認する

1

ホーム画面で画面を上にフリック → （安心・安全） → （緊急速報メール）



緊急速報メールの履歴画面が表示されます。

2

対象の緊急速報メールをタップ

緊急速報メールが表示されます。

Google マップを利用する

Google マップでは、現在地の表示や目的地までの道案内などの機能を利用できます。交通状況を表示したり、航空写真で景色を確認することもできます。

指定した場所の地図を表示する

1

ホーム画面で （Google） → （マップ）



マップ画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

検索バーをタップ



3

住所や都市、施設名などを入力 → 選択候補から住所や都市、施設名などをタップ



指定した場所の地図が表示されます。

Google マップ利用時の操作

現在地を表示する

あらかじめ位置情報をONに設定しておいてください。

マップ画面で ◇ （ ◎ 表示）

現在地付近の情報を取得する

あらかじめ位置情報をONに設定しておいてください。

マップ画面で ◇ （ ◎ 表示） ➡ ● ➡ 取得する情報をタップ

地図に交通状況や航空写真などを表示する

マップ画面で ◈ ➡ 表示する情報をタップ

マップの詳しい操作を調べる

マップ画面で ➡ ヘルプとフィードバック ➡ ヘルプ

目的地までの経路を調べる

1

ホーム画面で （Google） ➡ （マップ）



マップ画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2



3

出発地／目的地を入力 ➡ 候補をタップ／



4

／ ／ ／ ／



目的地までの経路の候補が表示されます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能について

指紋認証は、指紋センサーに指を当てて行う認証機能です。
この機能を利用して、画面ロックを解除したり、アプリの購入などをすることができます。

指紋認証機能利用時のご注意

指紋認証機能利用時は、次の点にご注意ください。
・指紋認証は、指紋の特徴情報を利用して認証を行います。指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
・認証性能（指紋センサーに正しく指を当てた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
　・お風呂上りなどで指がふやけている
　・指が水や汗などで濡れている
　・指が乾燥している
　・指に脂（ハンドクリームなど）が付着している
　・指が泥や油で汚れている
　・手荒れや、指に損傷（切傷やただれなど）がある
　・指の表面が磨耗して指紋が薄い
　・太ったりやせたりして指紋が変化した
　・登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
・指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本機を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

指紋センサー利用時は、次の点にご注意ください。
・ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなどの先の尖ったものでつついたりしないでください。
・指紋センサー表面にシールなどを貼り付けたり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
・指紋センサーにほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
・指を当てる時間が短すぎたり長すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中央に触れるようにまっすぐに当ててください。
・指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

指紋を登録する

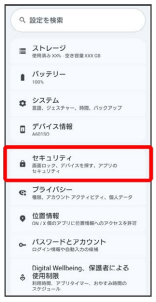
1

ホーム画面で （設定）



2

セキュリティ



3

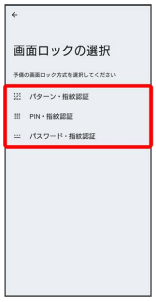
指紋



・画面ロック解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合は、画面ロック解除の入力画面が表示されます。画面ロック解除方法を入力し、手順 6 に進みます。
・指紋を登録済みの場合は、画面ロック解除の入力画面が表示されます。画面ロック解除方法を入力し、 指紋を追加 をタップして手順 8 に進みます。

4

画面の指示に従って、画面ロック解除方法を設定



・設定した画面ロック解除方法は、指紋認証を利用できない場合に使用します。

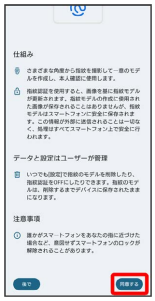
5

通知の表示方法をタップ 完了



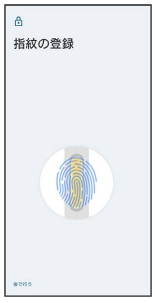
6

同意する



7

指紋センサーに指を当て、本機が振動したら離す



・指紋全体が登録できるまで、繰り返し指紋センサーに指を当てて離します。

8

完了



指紋の登録が完了します。

・続けて別の指紋を登録する場合は、 別の指紋を登録 をタップします。

指紋の登録について

登録可能な指紋の件数について

5件登録できます。

指紋の登録が失敗するときは

指紋センサー表面を清掃し、指を拭いてから再度お試しいただき、登録中の画面下部にメッセージが表示された場合は画面の指示に従って操作してください。また、指を変えることで、認証性能が改善されることがあります。
「指紋認証機能について」の「指紋認証機能利用時のご注意」も合わせて参照してください。

指紋登録時の操作

登録した指紋の名前を設定／変更する

ホーム画面で （設定） セキュリティ 指紋 画面ロック解除方法を入力 登録した指紋をタップ 名前を入力 OK

ほかの指紋を登録する

ホーム画面で （設定） セキュリティ 指紋 画面ロック解除方法を入力 指紋を追加 画面の指示に従って操作

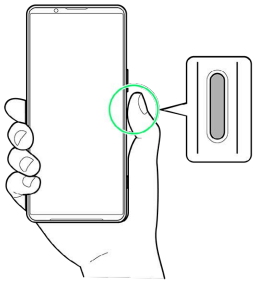
指紋を削除する

ホーム画面で （設定） セキュリティ 指紋 画面ロック解除方法を入力 削除したい指紋の 削除

指紋認証を行う

1

指紋認証を行う画面で、指紋センサーに指を当てる



指紋が認証されます。

認証されないときは

指を指紋センサーから離して、再度当ててください。
・指紋センサーを強く押したり、指紋センサーに当てた指を動かしたりしないでください。指紋認証に失敗することがあります。
・指紋認証が20回連続して認識されなかった場合は、指紋センサーが利用できなくなります。ロック画面で、画面を上にフリックして設定した画面ロック解除方法を入力してください。

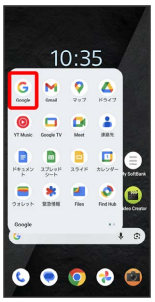
Google 検索を利用する

Google 検索を利用して、インターネット上の情報などを検索できます。

検索を行う

1

ホーム画面で （Google） （Google）



検索画面が表示されます。

2

検索バーをタップ 検索するキーワードを入力 候補をタップ／



検索結果が表示されます。

・音声で検索する場合、 をタップして検索したい言葉を本機に向かって話してください。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

電卓で計算をする

電卓を利用する

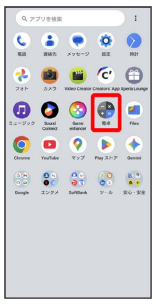
1

ホーム画面で画面を上にフリック



2

（電卓）



電卓画面が表示されます。

3

画面のボタンをタップして計算を行う



計算結果が表示されます。

計算結果の操作

計算結果を選択してコピーする

電卓画面で計算結果をロングタッチ コピー

・電卓画面で入力欄をロングタッチ 貼り付け と操作すると、計算式として数値を貼り付けることができます。

表示しきれない小数点以下の数値を表示する

電卓画面で計算結果を左にフリック

ライトを点灯する

ライトを点灯する

1

ステータスバーを下にフリック



2

ライト



ライトが点灯します。

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。あらかじめGoogle アカウントでログインしておいてください。

カレンダー利用時の操作

今日のカレンダーを表示する

カレンダー画面で 1

カレンダー画面の表示を変更する

カレンダー画面で ☰ スケジュール / 日 / 3 日間 / 週 / 月

カレンダー画面上部に月表示を表示する

カレンダー画面で、アクションバーの月／年月をタップ

・月表示を左右にフリックすると、次／前の月を表示します。
・カレンダー表示を、「月」以外に設定しているときのみ表示できます。

次／前の月を表示する（月表示時）

カレンダー画面を左右にフリック

次／前の週を表示する（週表示時）

カレンダー画面を左右にフリック

次／前の日を表示する（日表示時）

カレンダー画面を左右にフリック

次／前の時間帯を表示する（日／3日間／週表示時）

カレンダー画面を上下にフリック

カレンダーに予定を登録する

1

ホーム画面で （Google） （カレンダー）



カレンダー画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

＋ 予定



予定登録画面が表示されます。

3

タイトル／開始日時／終了日時などを入力 保存



予定が登録されます。

予定を確認する

1

ホーム画面で （Google） （カレンダー）



カレンダー画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

予定のある日時を表示 予定をタップ



予定詳細画面が表示されます。

・予定詳細画面で をタップすると、予定を編集できます。
・予定詳細画面で 削除 削除 と操作すると、予定を削除できます。

カレンダーを更新する

1

ホーム画面で （Google） （カレンダー）



カレンダー画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

更新



カレンダーが更新されます。

時計／アラームを利用する

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間を利用できます。

時計／アラーム／タイマー／スクリーンセーバーの共通設定を変更する

ホーム画面で画面を上にフリック ➡ （時計） ➡ ⋮ ➡ 設定 ➡ 各項目を設定

アラームを設定する

1

ホーム画面で画面を上にフリック



2

（時計）



3

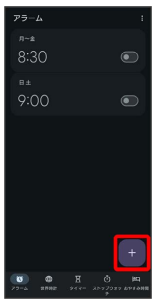
アラーム



アラーム画面が表示されます。

4

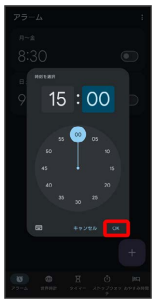
＋



アラーム設定画面が表示されます。

5

時刻を設定 ➡ OK



アラームが設定されます。

・アラームを取り消すときは、アラーム画面で をタップします（ 表示）。

アラーム通知時の動作

アラーム設定時刻になると、アラーム音や振動でお知らせします。

アラームの設定を変更する

1

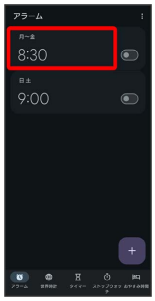
ホーム画面で画面を上にフリック ➔ ›› （時計） ➔ アラーム



アラーム画面が表示されます。

2

編集するアラーム設定をタップ



3

アラームの設定内容を変更 ➔ 保存



アラームの設定変更が完了します。

・削除 をタップすると、アラームを削除できます。

スヌーズの長さを変更する

1

ホーム画面で画面を上にフリック ➔ ›› （時計） ➔ ⋮



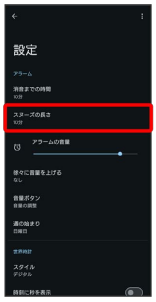
2

設定



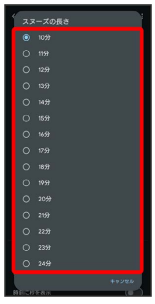
3

スヌーズの長さ



4

時間を選択



スヌーズの長さの変更が完了します。

アラームの音量を変更する

1

ホーム画面で画面を上にフリック （時計）



2

設定



3

「アラームの音量」の を左右にドラッグ



アラーム音が再生され、音量が変更されます。

アラームを止める

1

アラーム通知の画面で ストップ



アラームが止まります。

・スヌーズを利用する場合は スヌーズ をタップします。

アラームを取り消す

1

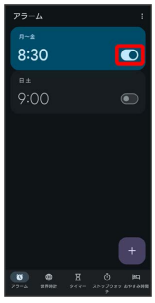
ホーム画面で画面を上にフリック （時計） アラーム



アラーム画面が表示されます。

2

取り消したいアラーム設定の （ 表示）



アラームが取り消されます。

世界時計を利用する

1

ホーム画面で画面を上にフリック ➔ ›› （時計） ➔ 世界時計



時計画面が表示されます。

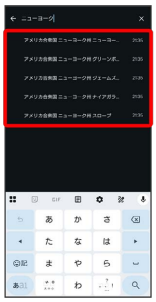
2

＋



3

追加する都市を入力 ➔ 候補をタップ



時計画面に追加されます。

タイマーを利用する

1

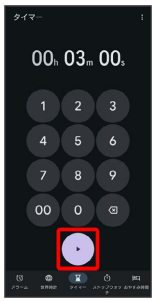
ホーム画面で画面を上にフリック ➔ ›› （時計） ➔ タイマー



タイマー画面が表示されます。

2

時間を入力 ➔ ▶



カウントダウンが始まります。

・設定時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。アラーム音を停止するときは ▪ をタップします。

タイマー利用時の操作

タイマーを一時停止する

タイマー動作中に ⏸

・再開するときは、▶ をタップします。
・↺ をタップすると、カウントダウンをリセットできます。

タイマーを追加する

すでに設定したタイマーが表示されているときは、別のタイマーを追加して利用できます。

＋ ➔ 時間を入力 ➔ ▶

・タイマー（XX） をタップすると、タイマーにラベルを設定できます。

タイマーを削除する

削除するタイマーの ✕

ストップウォッチを利用する

1

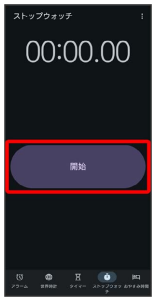
ホーム画面で画面を上にフリック ➔ ● ● （時計） ➔ ストップウォッチ



ストップウォッチ画面が表示されます。

2

開始



計測が始まります。

3

停止



計測が終わります。

ストップウォッチ利用時の操作

ラップタイムを計測する

計測中に ラップ

計測結果をリセットする

計測中／計測終了後に リセット

おやすみ時間を利用する

毎日の起床時間と就寝時間を設定して睡眠スケジュールを管理したり、快適な睡眠をサポートする機能を設定したりできます。

1

ホーム画面で画面を上にフリック ➔ ● ● （時計） ➔ おやすみ時間



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

画面の指示に従って、スケジュールなどを設定



おやすみ時間が設定されます。

・スケジュールの起床時間を設定すると、起床時間がアラームに設定されます。

YouTubeを利用する

YouTubeにアップロードされている、さまざまな動画コンテンツを視聴できます。Google アカウントでログインすると、本機から動画のアップロードができます。

動画を閲覧する

1

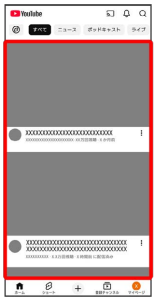
ホーム画面で （YouTube）



YouTube画面が表示されます。

2

動画をタップ



動画が再生されます。

音楽を聴く（ミュージック）

ファイル形式について

次のファイル形式に対応しています。
・WAVE(.wav)、M4A(.m4a)、ADTS(.aac)、AMR(.amr)、AWB(.awb)、FLAC(.flac)、MP3(.mp3)、SMF(.mid、.smf)、XMF(.xmf)、Mobile XMF(.mxmf)、RTTTL(.rtttl)、RTX(.rtx)、iMelody(.imy)、MatroskaAudio(.mka)、Ogg(.ogg、.oga)、360RA(.m4a)、Dolby Atmos(.m4a)、Dolby AC-4(.m4a)

音楽を再生する

1

（ミュージック）



ミュージック画面が表示されます。

・以降は、画面の指示に従って操作してください。
・「再生音質」でさまざまな音の設定をすることができます。詳しくは、「音設定」を参照してください。

NFC／おサイフケータイ®を利用する

内蔵のICカードを利用して、本機をおサイフやクーポン券、チケット代わりに利用できます。

NFC／おサイフケータイ®について

おサイフケータイ®について

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCについて

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®を含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R／W）機能などが本機でご利用いただけます。

こんなときは

Q. おサイフケータイ®が利用できない

A. 電池残量が不足していませんか。不足している場合は充電してください。

A. NFC／おサイフケータイ®が無効になっていませんか。「NFC／おサイフケータイ®を有効にする」を参照し、NFC／おサイフケータイ®を有効にしてください。

Q. 読み取りがうまくいかない

A. 本機をゆっくりかざしてください。リーダー／ライターにかざす時間が短いと、うまく読み取れないことがあります。

A. リーダー／ライターに対して、本機を平行にかざしてください。また、本機を前後左右にずらしてゆっくりタッチしてください。

A. NFC／おサイフケータイ®かざし位置をご確認ください。金属などがあると、読み取れないことがあります。

NFC／おサイフケータイ®をご利用時の警告

故障や修理など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータが消失・変化、その他おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

おサイフケータイ®を利用する準備を行う

お使いになる前に、対応サービスのお申し込みや初期設定などの準備が必要です。

・詳しくは、NFC／おサイフケータイ®対応サービス提供者にお問い合わせください。

1

ホーム画面で画面を上にフリック → （ツール） → （おサイフケータイ）



おサイフケータイ®の画面が表示されます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

画面の指示に従って操作



初期設定が完了します。

NFC／おサイフケータイ®を有効にする

1

ホーム画面で （設定） 接続設定



2

接続の詳細設定 NFC／おサイフケータイ



NFC／おサイフケータイ®設定画面が表示されます。

・おサイフケータイ®の画面で ／ をタップしてもNFC／おサイフケータイ®設定画面を表示することができます。

3

NFC／おサイフケータイ （ 表示）



NFC／おサイフケータイ®が有効になります。

・カメラを起動しているときは、NFC／おサイフケータイ®の機能はご利用になれません。

画面ロック中にNFC／おサイフケータイ®機能をロックするかどうかを設定する

NFC／おサイフケータイ®設定画面で 画面ロック中はロック

・「NFC／おサイフケータイ」を有効にしている場合のみ設定できます。

・画面ロック中はロック をタップするたびに有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

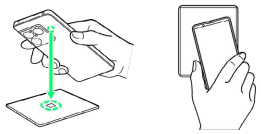
・有効（ 表示）にすると、画面ロック中はNFC／おサイフケータイ®機能がロックされます。画面ロックを解除している間のみ、NFC／おサイフケータイ®機能を利用できます。

サービスを利用する

ICカード内のデータをリーダー／ライター（読み取り機）にかざして読み取りを行います。

1

本機のNFC／おサイフケータイ®かざし位置をリーダー／ライターにかざす



読み取りが完了します。

・リーダー／ライターの音や表示などで、読み取りが完了したことを確認してください。

データの管理

データの保存について..... 194
バックアップと復元..... 194
かんたんデータコピーを利用する..... 195
ほかの携帯電話からデータを取り込む..... 195
ダウンロードしたファイルを利用する..... 196
ドライブを利用する..... 196
パソコンとUSBで接続する..... 197

データの保存について

データの保存先について

データの保存先として、内部ストレージとSDカードを利用できます。SDカードの取り付け／取り外しなどについては、「SDカードについて」を参照してください。
データによっては、作成時の保存先を変更できるものもあります。
おもなデータの保存先は次のとおりです。

データの種類	説明
電話帳、ブックマーク、カレンダー、メール	データ作成時、内部ストレージに保存されます。
写真、動画	データ作成時、SDカード／内部ストレージに保存されます。

バックアップと復元

バックアップ／復元の方法について

バックアップ／復元の方法は次のとおりです。

方法	説明
あんしんデータボックス	大切なデータをかんたんに保存できるサービスです。 自動バックアップで故障や紛失など万が一の時でも大切な写真・動画・連絡先などが復元できます。
各アプリからの操作	アプリによって、設定を変更できるものもあります。
端末設定	端末設定からオンラインアカウントにデータを保存できます。詳しくは、「システムの設定」を参照してください。
パソコンなどと接続	パソコンなどと接続して、データを転送できます。詳しくは、「パソコンとUSBで接続する」を参照してください。

かんたんデータコピーを利用する

かんたんデータコピーを利用する

かんたんデータコピーについては、下記のウェブサイトを参照してください。
https://www.softbank.jp/mobile/service/datamigration/

ほかの携帯電話からデータを取り込む

Bluetoothでデータを受信する

Bluetoothを利用してほかの携帯電話からデータを取り込むことができます。
詳しくは、「Bluetoothでデータを受信する」を参照してください。

ダウンロードしたファイルを利用する

Chromeを利用してダウンロードしたファイルを管理することができます。

ダウンロードしたファイルを管理する

1

ホーム画面で （Google） （Files）



・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

ダウンロード



ダウンロード画面が表示されます。

ドライブを利用する

Google のオンラインストレージサービス「Google ドライブ」にファイルを保存したり、共有したりすることができます。
あらかじめ、Google アカウントでログインしておいてください。

ファイルを保存／共有する

1

ホーム画面で （Google） （ドライブ）



ドライブ画面が表示されます。

利用方法を確認する

ドライブ画面で ヘルプとフィードバック

パソコンとUSBで接続する

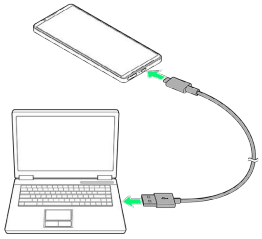
本機とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続し、本機の内部ストレージやSDカード内のデータをパソコンで利用できます。

本機内のデータをパソコンとやりとりする

・SDカードにデータを保存する場合は、あらかじめ、SDカードを取り付けておいてください。
・データ通信中は、USB Type-CケーブルやSDカードを取り外さないでください。
・Windows 11のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1

本機とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続する



・パソコンに本機のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

2

ステータスバーを下にフリック



3

このデバイスを USB で充電中 → このデバイスを USB で充電中



4

ファイル転送／Android Auto



5

パソコンにポータブルデバイスとして本機が表示されていることを確認

本機の内部ストレージやSDカード内のデータにアクセスできるようになります。

6

パソコン側でデータを操作

データのやりとりが完了します。

USB接続モードを変更する

ステータスバーを下にフリック → USB ファイル転送モード ON → USB ファイル転送モード ON → USB接続モードを選択

Wi-Fi／Bluetooth

Wi-Fiで接続する..... 200
Bluetooth機能を利用する..... 206
テザリングオプションを利用する..... 212

Wi-Fiで接続する

本機はWi-Fi（無線LAN）に対応しており、ご家庭のWi-Fi環境などを通じて、インターネットを利用できます。

Wi-Fi（無線LAN）利用時のご注意

Wi-Fiの利用時は、次の点にご注意ください。
・Wi-Fiを有効にしてから利用可能なWi-Fi ネットワークを検索して接続します。
・Wi-Fi（無線LAN）機能を使用してインターネットへアクセスする場合、事前にWi-Fi ネットワークへの接続を行ってください。
・Wi-Fi（無線LAN）機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi ネットワークの電波強度は、お使いの機器の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。
・Wi-Fi（無線LAN）機能を使用しないときは、無効にすることで電池の消費を抑制できます。

ネットワークを選択して接続する

1

ホーム画面で （設定）



2

ネットワークとインターネット



3

インターネット



インターネット画面が表示されます。

4

Wi-Fi （ 表示）

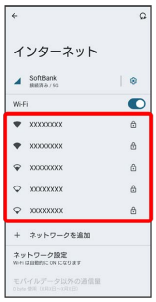


Wi-Fiが有効になります。

・Wi-Fi ネットワークがスキャンされます。スキャンが終わると、画面に利用できるWi-Fi ネットワークが表示されます。
・Wi-Fi をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

5

Wi-Fi ネットワークをタップ



6

パスワードを入力 → 接続



接続が完了します。

・パスワードは、ご家庭用の無線LANルーターであれば、「WEP」や「WPA」、「KEY」などと、ルーター本体にシールで貼られている場合があります。詳しくは、ルーターのメーカーにお問い合わせください。また、公衆無線LANのパスワードはご契約のプロバイダーにご確認ください。
・セキュリティで保護されていないWi-Fi ネットワークのときは、パスワードを入力する必要はありません。

Wi-Fiとモバイルデータ通信について

Wi-Fiが有効のときでもモバイルデータ通信を利用できます。

Wi-Fi利用時の操作

ネットワークを自動で切り替えるように設定する

Wi-Fi ネットワークとモバイルデータ通信が両方利用可能なときに、最適なネットワークに自動的に接続するように設定できます。

ホーム画面で （設定） → ネットワークとインターネット → スマートコネクティビティ → 「Wi-Fi接続不良時にモバイルネットワークを使用する」の （ 表示）

・アイコンをタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

低品質なWi-Fi ネットワークへの自動接続を停止するように設定する

接続しようとしているWi-Fi ネットワークの品質が悪い場合は、自動接続を停止するように設定できます。

ホーム画面で （設定） → ネットワークとインターネット → スマートコネクティビティ → 「低品質なWi-Fiネットワークへの自動接続を停止する」の （ 表示）

・アイコンをタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

接続済みのネットワーク情報を共有する

インターネット画面で Wi-Fi （ 表示） → 接続済みのネットワークをタップ → 共有 → 相手機器でQRコードを読み取る

Wi-Fiを自動的にONにするかどうかを設定する

ホームネットワークなどの高品質の保存済みネットワーク検出時に、Wi-Fiを自動的にONにするかどうかを設定できます。

インターネット画面で ネットワーク設定 → Wi-Fi を自動的に ON にする

・Wi-Fi を自動的に ON にする をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

高品質の公共ネットワークが利用できるとき、通知するかどうかを設定する

インターネット画面で ネットワーク設定 → 利用可能なパブリック ネットワークを通知する

・利用可能なパブリック ネットワークを通知する をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

保存済みのネットワークに自動で接続するかどうかを設定する

保存済みネットワーク検出時に、自動で接続するかどうかをネットワークごとに設定できます。

インターネット画面で 保存済みネットワーク → 設定したいネットワークをタップ → 自動接続

・自動接続 をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

証明書をインストールする

インターネット画面で ネットワーク設定 → 証明書をインストール → 画面の指示に従って操作

MACアドレスを確認する

インターネット画面で、「接続済み」と表示されているWi-Fi ネットワークをタップ

・「ランダム MAC アドレス」欄の下部にMACアドレスが表示されます。

IPアドレスを確認する

インターネット画面で、「接続済み」と表示されているWi-Fi ネットワークをタップ

・「IP アドレス」欄の下部にIPアドレスが表示されます。

接続中のWi-Fi ネットワークの状況を確認する

インターネット画面で、「接続済み」と表示されているWi-Fi ネットワークをタップ

電波強度、周波数、セキュリティなどを確認できます。

・接続中のWi-Fi ネットワークをタップ時に表示される「最大リンク速度（理論値）」では、本機で利用可能な最大通信速度を確認できます。

接続情報を手動で設定して接続する

1

ホーム画面で （設定）



2

ネットワークとインターネット



3

インターネット



インターネット画面が表示されます。

4

Wi-Fi （ 表示）



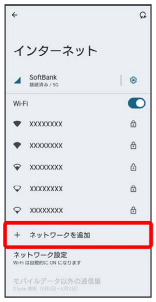
Wi-Fiが有効になります。

・Wi-Fi ネットワークがスキャンされます。スキャンが終わると、画面に利用できるWi-Fi ネットワークが表示されます。

・Wi-Fi をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

5

ネットワークを追加



6

ネットワーク名を入力



・「ネットワーク名」の右側の QRコードを画面中央に表示して読み取り、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

7

なし ➔ セキュリティを選択



8

パスワード入力欄をタップ ➔ パスワードを入力 ➔ 保存



接続が完了します。

・非公開ネットワークに接続する場合は、詳細設定 ➔「非公開ネットワーク」の いいえ ➔ はい と操作してください。
・セキュリティで保護されていないWi-Fi ネットワークのときは、パスワードを入力する必要はありません。

接続中のWi-Fi ネットワークを削除する

1

ホーム画面で （設定）



2

ネットワークとインターネット



3

インターネット



インターネット画面が表示されます。

4

接続中のWi-Fi ネットワークをタップ



5

削除



Wi-Fi ネットワークが削除されます。

・Wi-Fi ネットワークとの接続を削除すると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi ネットワークとの接続を解除する

インターネット画面で、接続中のWi-Fi ネットワークをタップ
接続を解除

保存したWi-Fi ネットワークを削除する

1

ホーム画面で （設定）



2

ネットワークとインターネット



3

インターネット



インターネット画面が表示されます。

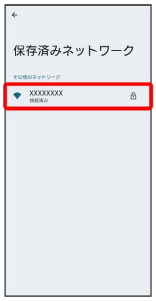
4

保存済みネットワーク



5

削除したいWi-Fi ネットワークをタップ



6

削除



Wi-Fi ネットワークが削除されます。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Directを利用すると、Wi-Fi ネットワークやインターネットを経由せずに、ほかのWi-Fi Direct規格対応機器と、簡単にWi-Fi接続することができます。

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

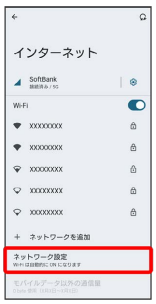
インターネット Wi-Fi （ 表示）



Wi-Fiが有効になります。

3

ネットワーク設定



4

Wi-Fi Direct



Wi-Fi Direct設定画面が表示されます。

・「ピアデバイス」欄に、近くにあるWi-Fi Direct機器が表示されます。

5

接続する機器をタップ



相手機器に接続への招待が送信されます。

・目的の機器が見つからないときは ⋮ → デバイスの検索 と操作し、再検索を行ってください。

6

相手機器で接続への招待に同意する

Wi-Fi Directで接続されます。

・一定時間接続の承認がなかった場合、接続の要求が解除されます。
・接続済みの機器をタップ → OK と操作すると、接続を終了できます。

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth対応の携帯電話などと接続して通信を行ったり、ヘッドセットなどのハンズフリー機器と接続して利用できます。

Bluetooth機能利用時のご注意

送受信したデータについて

送受信したデータの内容によっては、互いの機器で正しく表示されないことがあります。

接続について

本機は、すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。また、ワイヤレス通話やハンズフリー通話のとき、状況によっては雑音が入ることがあります。

Wi-Fi（無線LAN）対応機器との電波干渉について

本機のBluetooth機能とWi-Fi（無線LAN）対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Wi-Fi（無線LAN）対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

・Bluetooth機器とWi-Fi（無線LAN）対応機器の位置を離してください。必要な距離は機器によって異なります。
・改善しない場合は、Bluetooth機器またはWi-Fi（無線LAN）対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth機能でできること

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。次のようなことができます。

機能	説明
オーディオ出力	ワイヤレスで音楽などを聴くことができます。
ハンズフリー通話	Bluetooth対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器でハンズフリー通話ができます。
データ送受信	Bluetooth機器とデータを送受信できます。

Bluetooth機能を有効にする

1

ホーム画面で （設定）



2

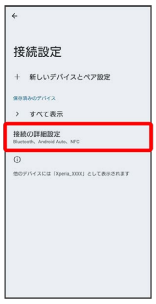
接続設定



接続設定画面が表示されます。

3

接続の詳細設定



4

Bluetooth



Bluetooth設定画面が表示されます。

5

Bluetooth を使用 （ 表示）



Bluetooth機能が有効になります。

・Bluetooth を使用 をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

ほかの機器で表示される本機の名前を変更する

Bluetooth設定画面で デバイス名 名前を入力 名前を変更

・Bluetooth機能が有効のときに利用できます。

Bluetooth機器をペア設定する

近くにあるBluetooth機器を検索し、本機にペア設定します。ペア設定したBluetooth機器には簡単な操作で接続できます。

・あらかじめペア設定するBluetooth機器のBluetooth機能を有効にしておいてください。

1

ホーム画面で （設定）



2

接続設定



接続設定画面が表示されます。

3

新しいデバイスとペア設定



「使用可能なデバイス」欄に、近くにあるBluetooth機器が表示されます。

4

ペア設定する機器をタップ



5

画面の指示に従って機器を認証



Bluetooth機器が本機とペア設定されます。

・接続設定画面の上部に、ペア設定中のBluetooth機器が表示されます。
・ペア設定する機器によって、認証方法が異なります。

ペア設定中の機器の名前を変更する

接続設定画面でペア設定中の機器をタップ／ペア設定中の機器の → → 名前を入力 → 名前を変更

ペア設定済みのBluetooth機器と接続する

あらかじめ本機のBluetooth機能と、ペア設定済みのBluetooth機器のBluetooth機能を有効にしておいてください。

1

ホーム画面で （設定） 接続設定



接続設定画面が表示されます。

2

「保存済みのデバイス」欄の接続したい機器をタップ



タップした機器と接続されます。

・すべて表示 をタップすると、すべてのペア設定済みのBluetooth機器を表示できます。

ペア設定済みのBluetooth機器に関する操作

ペア設定した機器の名前を変更する

接続設定画面でペア設定した機器の 名前を入力 名前を変更

ペア設定情報を削除する

接続設定画面でペア設定した機器の 削除 このデバイスとのペア設定を解除

ブロードキャスト（Bluetooth LE Audio）機能を利用する

ブロードキャストは、Bluetooth技術の新しい音声通信規格であるLE Audioの機能の1つです。
ブロードキャスト機能を使うと、本機から音声を配信（ブロードキャスト）して複数の人で楽しんだり、他のユーザーの配信（ブロードキャスト）を自分のヘッドホンで聴いたりできます。
ブロードキャスト機能を使うには、配信側と受信側の両方の機器がLE Audioのブロードキャスト機能に対応している必要があります。

・あらかじめ、Bluetooth機能を有効にしてください。また、本機で操作するLE Audio対応のヘッドホンは、本機とペア設定を行ってください。

1

ホーム画面で （設定） 接続設定



2

接続の詳細設定 音声の共有



3

音声を共有 （ 表示）



・以降は、画面の指示に従って操作してください。
・音声を共有をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

ブロードキャスト利用時の操作

他機器から共有された音声を本機とペア設定したヘッドホンで聞く

ホーム画面で （設定） 接続設定 接続の詳細設定 音声の共有 音声ストリームを探す 機器の名称をタップ

・パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 接続 と操作してください。
・音声共有の受信が始まり、本機とペア設定したヘッドホンから音が聞こえます。

音声共有の受信を停止する

ホーム画面で （設定） 接続設定 接続の詳細設定 音声の共有 音声ストリームを探す 機器の名称をタップ 接続を解除

ブロードキャスト中の注意

本機のスピーカーでブロードキャストの音声を聞くことはできません。

Bluetoothでデータを受信する

1

ステータスバーを下にフリック 着信ファイルの通知をタップ



2

承諾



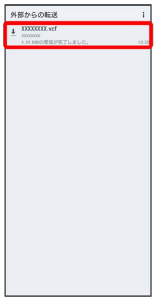
3

受信完了後、ステータスバーを下にフリック ファイル受信の通知をタップ



4

受信したデータを選択



データの受信が完了します。

・アプリを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth通信で受信したファイルを確認する

ホーム画面で （Google） （Files） ダウンロード

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

Bluetoothでデータを送信する

連絡先データを送信する場合を例に説明します。

1

ホーム画面で （Google） （連絡先）



2

連絡先



3

連絡先をロングタッチ



・複数の連絡先を送信する場合は、対象の連絡先をロングタッチ（ 表示） 続けてほかの対象の連絡先をタップと操作します。

4



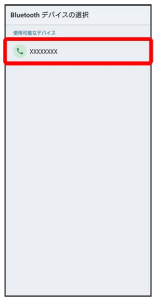
5

Bluetooth



6

機器をタップ



データが送信されます。

テザリングオプションを利用する

テザリング機能を利用すると、本機を経由して、パソコンやゲーム機などをインターネットにアクセスさせることができます（ご利用いただく際には、別途お申し込みが必要です）。

バージョンについて

最新のソフトウェアに更新されていることをご確認のうえご利用ください。

USBテザリング機能を利用する

1

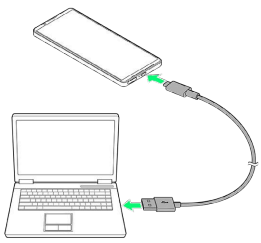
ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット アクセス ポイントとテザリング



テザリング画面が表示されます。

2

本機とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続



・パソコンに本機のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

3

USB テザリング （ 表示）



USBテザリングが有効になります。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

Wi-Fiテザリング機能を利用する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット アクセス ポイントとテザリング



テザリング画面が表示されます。

2

Wi-Fi アクセス ポイント Wi-Fi アクセス ポイントを使用する （ 表示）



Wi-Fiテザリングが有効になります。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

Wi-Fiテザリングの設定をする

テザリング画面で Wi-Fi アクセス ポイント 「アクセス ポイント名」「セキュリティ」「アクセス ポイントのパスワード」などを画面の指示に従って設定

・お買い上げ時はパスワードがランダムに設定されています。

Bluetoothテザリング機能を利用する

あらかじめBluetooth機器と本機をペア設定する必要があります。ペア設定について詳しくは、「Bluetooth機器をペア設定する」を参照してください。

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット アクセス ポイントとテザリング



テザリング画面が表示されます。

2

Bluetooth テザリング （ 表示）



Bluetoothテザリングが有効になります。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
・接続するBluetooth機器で本機からインターネットにアクセスできるように設定してください。Bluetooth機器からの操作についてはBluetooth機器の取扱説明書を参照してください。

イーサネットテザリング機能を利用する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット アクセス ポイントとテザリング



テザリング画面が表示されます。

2

USB-LANアダプタ（市販品）と有線LANケーブル（市販品）で本機とパソコンなどを接続

3

イーサネット テザリング （ 表示）



イーサネットテザリングが有効になります。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

端末設定

端末設定について..... 216
データ使用量の設定..... 217
音設定..... 222
画面設定..... 226
バッテリーの設定..... 229
システムの設定..... 230
セキュリティの設定..... 232
その他の端末設定..... 238

端末設定について

取扱説明書ではおもな設定項目を説明しています。
設定の状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。
ここでは、Google アカウントでログインした状態で説明します。

端末設定について

本機の各機能のはたらきをカスタマイズできます。端末設定には次の項目があります。

項目	説明
Google	各種Google 関連サービスの設定ができます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fiやモバイルデータ通信など、ネットワークやインターネットに関する設定ができます。
接続設定	Bluetooth接続やNFC／おサイフケータイ®設定など、ほかの機器との接続に関する設定ができます。
アプリ	アプリに関する設定ができます。
通知	通知に関する設定ができます。
音設定	着信音や操作音など、音に関する設定ができます。
モード	就寝中、仕事中、運転中などの特定の状況において集中できるように、通知をブロックするタイミングを設定できます。
画面設定	画面の明るさや文字サイズなどを設定できます。
壁紙とスタイル	ロック画面とホーム画面の壁紙やスタイルに関する設定ができます。
ストレージ	本機やSDカード、USBドライブのストレージ容量の確認や、SDカードやUSBドライブのデータの消去ができます。
バッテリー	電池の使用状況を確認したり、電池の消費を軽減する設定などができます。
システム	言語やキーボード、ジェスチャー、日付と時刻、バックアップ、システムアップデート、リセットなどに関しての確認や設定ができます。
デバイス情報	デバイス名や自分の電話番号の確認などができます。
セキュリティ	画面ロックや指紋の設定など、セキュリティに関する機能の設定ができます。
プライバシー	アプリの権限の設定やパスワードの表示など、プライバシーに関する設定ができます。
位置情報	位置情報に関する設定ができます。
パスワードとアカウント	ログイン情報などのデータを優先的に保存するサービスを設定したり、アカウントの新規作成／追加などができます。
Digital Wellbeing、保護者による使用制限	本機の利用時間の管理や、保護者による使用制限の設定などができます。
安全性と緊急情報	緊急情報サービスや緊急SOS、緊急位置情報サービス、緊急速報メールなどに関する設定をします。
ユーザー補助	字幕や拡大操作など、本機を使用するうえで便利なユーザー補助機能を設定できます。

1

ホーム画面で （設定）



端末設定画面が表示されます。

2

設定する項目を選択



各設定画面が表示されます。

データ使用量の設定

モバイルデータ通信の使用量を確認したり、使用を制限することができます。

データ使用量利用時の操作

Wi-Fiを使用したデータ使用量を確認する

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット インターネット モバイルデータ以外の通信量

モバイルデータ通信を有効にするかどうかを設定する

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット SIM モバイルデータ

・モバイルデータをタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

データセーバー機能を設定する

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット データセーバー データセーバーを使用

・データセーバーを使用をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

データセーバー機能の対象外とするアプリを設定する

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット データセーバー モバイルデータの無制限利用 対象外としたいアプリをタップ

・アプリをタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

アプリのデータ使用量を確認する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

設定するSIMを選択



4

アプリのデータ使用量



モバイルデータ使用量画面で使用量を確認できます。

データ使用量をリセットする日を設定する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

設定するSIMを選択



4

データ使用量の警告と制限



5

モバイルデータの使用サイクル



6

毎月のリセット日を設定 設定



リセットする日の設定が完了します。

データ使用量が増加したときに警告する容量を設定する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

設定するSIMを選択



4

データ使用量の警告と制限



5

警告するデータ使用量



6

入力欄をタップ 警告する容量を入力 設定



警告するデータ使用量の設定が完了します。

・データ使用量は目安です。実際の使用量とは異なる場合があります。

自動通信・同期の設定変更について

設定を変更することで、自動通信による通信量を抑制できます。設定変更の方法は次のとおりです。

項目	説明
位置情報	位置情報の利用を無効にします。詳しくは、「位置情報」を参照してください。
自動同期	アカウントに設定されているアプリデータの自動同期を無効にします。詳しくは、「パスワードとアカウント」を参照してください。
バックグラウンドデータの通信	バックグラウンドデータの通信を制限します。詳しくは、「バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限する」を参照してください。
海外での通信	海外でのご利用の際に、通信しないよう設定します。詳しくは、「ローミングの設定を変更する」を参照してください。

モバイルデータ使用量の上限を設定する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

設定するSIMを選択



4

データ使用量の警告と制限



5

データ使用量を制限 OK （ 表示）



6

データ上限



7

入力欄をタップ 上限値を入入力 設定



データ使用量の上限値の設定が完了します。

・データ使用量は目安です。実際の使用量とは異なる場合があります。

バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

設定するSIMを選択



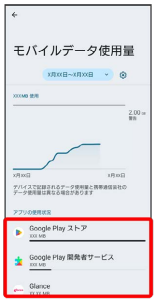
4

アプリのデータ使用量



5

制限したいアプリ名をタップ



6

バックグラウンド データ （ 表示）



バックグラウンド通信の制限の設定が完了します。

音設定

着信音や操作音など、音に関する設定ができます。

音設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
再生音質	音楽再生／動画再生時の音質の設定をします。 ・オーディオエフェクト 設定をONにすると「おすすめ」「音質重視」「立体音響化」「カスタム」から音質を選択できます。 ・360 Reality Audio 臨場感豊かな音場を実現し、360度すべての方向からの音を楽しむことができる立体音響技術です。 360 Reality Audio認定ヘッドホンでは、耳の形を撮影し、聴感特性を解析することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。
録音音質	録音／動画撮影時の音質の設定ができます。 ・風ノイズ除去 録音／動画撮影時、内蔵マイクに風が当たることで発生する雑音を除去するかどうかを設定します。
メディアの音量	音楽や動画の音量を設定します。
音声の再生先	音声の再生先を設定します。
通話の音量	通話の音量を設定します。
着信音の音量	着信音の音量を設定します。
通知の音量	通知の音量を設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
着信音 - SIM 1	SIM 1の着信音を設定します。
着信音 - SIM 2	SIM 2の着信音を設定します。
自動字幕起こし	メディア再生時や通話時などに自動で字幕を生成するかどうかを設定します。
メディア	メディアの再生を終了したときに、クイック設定パネルのプレーヤーを非表示にするかどうかなどを設定します。
バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時などのバイブレーションの動作を設定したり、（ホーム）やキーボード操作時などにバイブレーションを動作させるかどうかを設定したりします。
デフォルトの通知音	デフォルトの通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音	デフォルトのアラーム音を設定します。
ダイヤルパッドの操作音	電話発信時のダイヤルキーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面ロック時や画面ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
充電時の音とバイブレーション	充電開始時の音とバイブレーションのON／OFFを設定します。
タッチ／クリック操作音	タップ操作時に音を鳴らすかどうかを設定します。
バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示	マナーモード（バイブあり）を設定しているときに、ステータスバーに を表示させるかどうかを設定します。

着信音を設定する

1

ホーム画面で （設定）



2

音設定



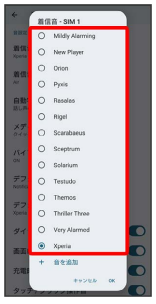
3

着信音 - SIM 1 ／ 着信音 - SIM 2



4

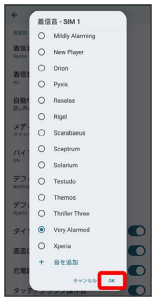
設定する着信音をタップ



着信音が再生されます。

5

OK



着信音の設定が完了します。

着信音の音量を設定する

1

ホーム画面で （設定）



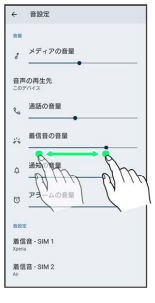
2

音設定



3

「着信音の音量」の を左右にドラッグ



着信音が再生され、設定が完了します。

通知の音量を設定する

1

ホーム画面で （設定）



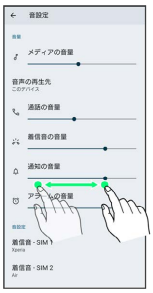
2

音設定



3

「通知の音量」の を左右にドラッグ



通知音が再生され、設定が完了します。

・「着信音の音量」で着信音を鳴らさない設定にしているときは、通知音は設定できません。

音楽や動画の音量を設定する

1

ホーム画面で （設定）



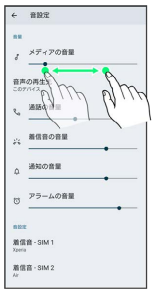
2

音設定



3

「メディアの音量」の を左右にドラッグ



サンプル音が再生され、設定が完了します。

アラームの音量を設定する

1

ホーム画面で （設定）



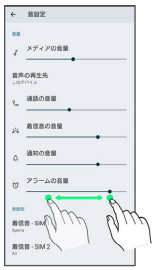
2

音設定



3

「アラームの音量」の を左右にドラッグ



アラーム音が再生され、設定が完了します。

着信時のバイブレーションを設定する

着信時にバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。

1

ホーム画面で （設定）



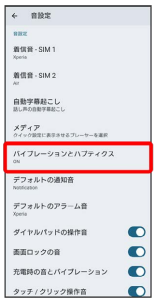
2

音設定



3

バイブレーションとハプティクス



4

「着信時のバイブレーション」の を左右にドラッグ



設定が完了します。

画面設定

画面の明るさや文字サイズ、Glanceに関する設定などができます。

画面設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
画質設定	色域とコントラストやホワイトバランス、動画再生時の高画質処理について設定します。
低残像設定	画面をよりなめらかに表示するかどうかを設定します。
明るさのレベル	明るさを設定します。
明るさの自動調節	周囲に合わせて明るさを調節するかどうかを設定します。
ロック画面	ロック画面の通知、ロック画面に表示するショートカットやGlanceなどに関する設定をします。
画面自動消灯	一定時間操作をしなかったときに、画面が自動消灯するまでの時間を設定します。また、画面を見ている間は消灯しないように設定することもできます。
ダークモード	ダークモードの利用について設定します。
表示サイズとテキスト	フォントサイズや表示サイズ、アウトラインテキストに変更するなど、表示やテキストに関する設定ができます。
ナイトライト	ナイトライトを設定します。
画面の自動回転	本機の向きに応じて、画面を自動回転させるかどうかを設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。
画面OFF時の誤操作防止	ポケットやカバンの中などで、意図せずボタンが押されたり画面がタップされたりすることによる誤操作を防ぐように設定します。
キー操作で画面を点灯	シャッターボタンと音量ボタンを押したときに、画面を点灯させるかどうかを設定します。

画面消灯までの時間を設定する

1

ホーム画面で （設定） 画面設定



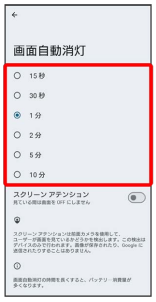
2

画面自動消灯



3

時間を選択



画面消灯までの時間の設定が完了します。

文字の大きさを設定する

1

ホーム画面で （設定）



2

画面設定



3

表示サイズとテキスト



4

「フォントサイズ」の を左右にドラッグ



文字の大きさの設定が完了します。

画像やアイコンの大きさを設定する

1

ホーム画面で （設定）



2

画面設定



3

表示サイズとテキスト



4

「表示サイズ」の を左右にドラッグ



画像やアイコンの大きさの設定が完了します。

ロック画面におすすめの壁紙を設定する

Glanceを利用して、ロック画面上にエンターテイメント、ニュース、スポーツなどのコンテンツを表示させることができます。

1

ホーム画面で （設定）



2

画面設定



3

ロック画面



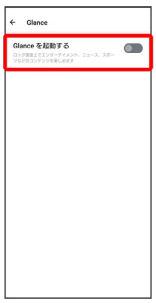
4

Glance



5

Glance を起動する （ 表示）



設定が完了します。

・Glance を起動する をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

モバイルデータを使ってGlanceを更新する

ホーム画面で （設定） 画面設定 ロック画面 Glance モバイルデータを使ってコンテンツを更新する

・モバイルデータを使ってコンテンツを更新する をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

バッテリーの設定

電池の使用状況を確認したり、電池の消費を軽減する設定などができます。

バッテリーの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
XX% バッテリー残量：XX[1]	電池残量と残りの使用可能時間（目安）を確認できます。
バッテリー使用量	前回のフル充電からの使用状況を確認できます。
STAMINAモード	バックグラウンド通信や一部の視覚効果など、電力消費量の多い機能を制限して電池を長持ちさせるように設定できます。
バッテリー残量	ステータスバーに電池残量を表示するかどうかを設定できます。
いたわり充電	電池の性能をより良い状態に保ち、寿命を延ばすための機能です。充電の習慣（充電器に長く接続している時間帯）を学習して、充電速度を調節するように設定できます。
おすそわけ充電	本機からQi対応機器へ充電できます。詳しくは、「おすそわけ充電する」を参照してください。
処理性能の効率化	スクロールなどの機器の操作性を維持したまま処理性能を調整し、消費電力を抑えるように設定できます。

1　使用状況によって表示が異なる場合があります。

いたわり充電の設定を変更する

ホーム画面で（設定）→ バッテリー → いたわり充電 → いたわり充電の使用

- いたわり充電の使用 をタップするたびに、有効（ON）／無効（OFF）が切り替わります。
- いたわり充電中に通常の充電に切り替えるには、ステータスバーを下にフリック → いたわり充電の通知で 通常の充電 をタップします。
- 充電の習慣の学習を完了するには、7日以上かかる場合があります。
- いたわり充電の時間を手動で設定するには、ホーム画面で（設定）→ バッテリー → いたわり充電 → いたわり充電の使用（ON表示）→ 手動 と操作します。設定した「開始時刻」と「満充電目標時刻」の間に充電を開始すると、いたわり充電を利用できます。
- 常に制限容量で充電を止めるように設定するには、ホーム画面で（設定）→ バッテリー → いたわり充電 → いたわり充電の使用（ON表示）→ 常時 → OK と操作します。
  制限容量： XX% をタップすると、制限容量を変更できます。
- 「常時」に設定すると、本機の電源を切った状態で充電をしても、いたわり充電を利用できます。

STAMINAモードを利用する

1

ホーム画面で（設定）→ バッテリー



2

STAMINAモード



3

STAMINAモードの使用 （ON表示）



STAMINAモードの設定が完了します。

- STAMINAモードをONにすると電池アイコンが に変わります。また、ダークモードが有効になります。
- スケジュールの設定 → 残量に応じて自動で ON と操作すると、設定した電池残量に応じてSTAMINAモードをONにするように設定できます。●をドラッグすると電池残量を設定できます。

システムの設定

言語やキーボード、ジェスチャー、日付と時刻、バックアップ、システムアップデート、リセットなどに関しての確認や設定ができます。

システムの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
言語と地域	使用する言語や読み上げに関する機能を設定できます。
キーボード	文字入力に関する機能を設定できます。
ジェスチャー	シャッターボタンやサイドセンス、ナビゲーションモードなど、本機の操作に関して設定できます。
日付と時刻	日付や時刻に関する機能を設定できます。
バックアップ	バックアップに関する機能を設定できます。
システムアップデート	アップデートを確認します。システムアップデートについて詳しくは、「ソフトウェアの更新について」を参照してください。
デバイス診断	電池やストレージの状態などを確認できます。
リセット オプション	設定のリセットや、データの初期化などを行うことができます。

システム利用時の操作

使用する言語を設定する

ホーム画面で （設定） → システム → 言語と地域 → システムの言語 → 言語を追加 → 言語をタップ → 地域をタップ

・一番上に表示されている言語が使用されます。
・＝をドラッグして言語を並べ替えることができます。

テキスト読み上げについて設定する

ホーム画面で （設定） → システム → 言語と地域 → 音声 → テキスト読み上げの設定 → 画面の指示に従って操作

キーボード／音声入力を設定する

ホーム画面で （設定） → システム → キーボード → 画面上のキーボード → 設定するキーボード／音声入力をタップ → 設定項目をタップ → 画面の指示に従って操作

マウス／トラックパッドのポインターの速度の設定をする

ホーム画面で （設定） → システム → キーボード → ポインタの速度 → ●をドラッグして速度を調整 → OK

マルチ画面と操作の活用ガイドを見る

サイドセンス、分割画面（マルチウィンドウ）、ポップアップウィンドウの便利機能を確認できます。

ホーム画面で （設定） → システム → ジェスチャー → サイドセンス → 活用ガイド → サイドセンス ／ 分割画面（マルチウィンドウ） ／ ポップアップウィンドウ

ナビゲーションモードを切り替える

ホーム画面への移動やアプリの切り替え、戻る操作をジェスチャー操作で行うか、画面下部のアイコンで行うかを設定できます。

ホーム画面で （設定） → システム → ジェスチャー → ナビゲーション モード → ジェスチャー ナビゲーション ／ 3 ボタン ナビゲーション

かこって検索を有効にする

□をロングタッチして、画面上のコンテンツを指で囲って検索するかどうかを設定できます。

ホーム画面で （設定） → システム → ジェスチャー → ナビゲーション モード → かこって検索 （ 表示）

・かこって検索 をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

データのバックアップを有効にする

ホーム画面で （設定） → システム → バックアップ → ON にする → バックアップするデータを選択 → 確定 → 画面の指示に従って操作

・Google アカウントでログインしていない場合は、Google アカウントの設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

電池の状態などの電池情報を確認する

設定 → システム → デバイス診断 → コンポーネントの状態 → バッテリーの状態

24時間表示を設定する

1

ホーム画面で （設定）



2

システム



3

日付と時刻



4

24時間表示 （ 表示）



時刻が24時間表示に設定されます。

・24時間表示 をタップするたびに、24時間表示（ ）／12時間表示（ ）が切り替わります。

初期状態にリセットする

1

ホーム画面で （設定）



2

システム



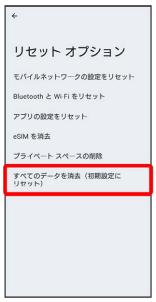
3

リセット オプション



4

すべてのデータを消去（初期設定にリセット）



5

すべてのデータを消去



・画面ロック解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定している場合は、画面ロック解除の入力画面が表示されます。画面ロック解除方法を入力してください。
・eSIMを使用しているときは、 eSIM を消去 にチェックを入れて次に進むと、現在利用しているeSIMが消去されますのでご注意ください。

6

すべてのデータを消去



初期状態へリセットされます。

eSIMを消去した場合

eSIMを消去したあとに再度eSIMを利用する場合は、eSIMダウンロード用のQRコードの再発行が必要になります。
eSIMを消去した場合でも、ご契約が解除されたわけではありません。

セキュリティの設定

画面のロックや暗証番号など、セキュリティに関する機能の設定ができます。

セキュリティ利用時の操作

画面をロックしないように設定する

ホーム画面で （設定） セキュリティ 画面ロック なし

・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、 画面ロック をタップしたあと画面ロック解除方法を入力し、 なし をタップしたあと 削除 をタップする操作が必要です。

特定のアプリの画面だけが表示されるように設定する

ホーム画面で （設定） セキュリティ セキュリティの詳細設定 アプリ固定 アプリ固定機能を使用 （ 表示） OK 画面を固定したいアプリを起動 □ 画面を固定したいアプリのサムネイル上部に表示されているアプリアイコンをタップ 固定 OK

・画面の固定を解除するときは、◁と□を同時にロングタッチしてください。

セキュリティの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Google Play プロテクト	本機を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかどうかを設定します。
Find Hub	「デバイスの場所の特定を許可」機能のON／OFFを設定したり、本機や本機に接続済みのファストペアリングアクセサリーを探す方法を確認したりします。また、リモートでデバイスをロックすることもできます。
セキュリティアップデート	アップデートを確認します。セキュリティアップデートについて詳しくは、「ソフトウェアの更新について」を参照してください。
Google Play システム アップデート[1]	Google Play システムアップデートの更新の有無を確認します。
画面ロック	画面ロック解除方法を設定します。
指紋	指紋の設定をします。 詳しくは、「指紋認証機能を利用する」を参照してください。
セキュリティの詳細設定	ロック解除延長やSIMロック設定、暗号化と認証情報などに関する設定を行います。

1　使用状況によって表示が異なる場合があります。

おもな暗証番号について

本機で使うおもな暗証番号は次のとおりです。

種類	説明
交換機用暗証番号	ご契約時の4桁の暗証番号です。 詳しくは、「交換機用暗証番号について」を参照してください。
PINコード	SIMカード／eSIMの暗証番号です。お買い上げ時には「9999」に設定されています。 詳しくは、「PINコードを有効にする」を参照してください。
PIN	画面ロックを解除するための暗証番号です。 詳しくは、「PINで画面ロックを解除するように設定する」を参照してください。

PINの種類について

SIMカード／eSIMの暗証番号である「PINコード」のほかに、画面ロック解除のために設定する「PIN」があります。それぞれ異なる暗証番号となりますので、お忘れにならないよう、ご注意ください。

交換機用暗証番号について

本機のご利用にあたっては、交換機用暗証番号が必要になります。ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合などに必要な番号です。

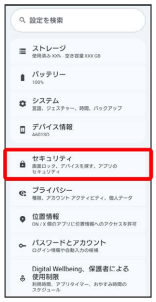
・交換機用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先までご連絡ください。
・暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

PINコードを有効にする

PINコードを有効にすることで、SIMカードを本機に取り付けた状態／eSIMが有効な状態で電源を入れたとき、PINコードを入力する画面を表示するように設定できます。

1

ホーム画面で （設定） セキュリティ



2

セキュリティの詳細設定 SIM ロック SIM をロックする PINコードを入力 OK （ 表示）



PINコードが有効になります。

PINコードのご注意

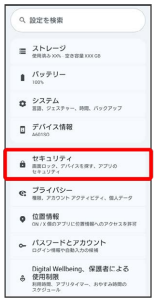
PINコードの入力を3回間違えると、PINロック状態となります。その際は、PINロック解除コード（PUKコード）が必要となります。PUKコードについては、お問い合わせ先までご連絡ください。PUKコードを10回間違えると、SIMカード／eSIMがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ソフトバンクにてSIMカード／eSIMの再発行（有償）が必要となります。

PINコードを変更する

PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

1

ホーム画面で （設定） セキュリティ



2

セキュリティの詳細設定 SIM ロック SIM PIN を変更 現在のPINコードを入力 OK 新しいPINコードを入力 OK 新しいPINコードを再度入力 OK



PINコードが変更されます。

画面をフリックして画面ロックを解除するように設定する

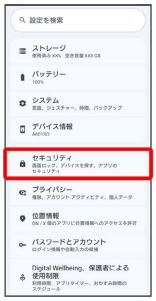
1

ホーム画面で （設定）



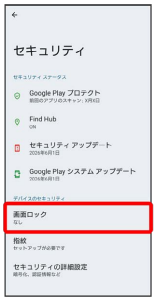
2

セキュリティ



3

画面ロック



・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、画面ロック解除方法を入力してください。

4

スワイプ



設定が完了します。

・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、 削除 をタップしてください。

パターンを指でなぞって画面ロックを解除するように設定する

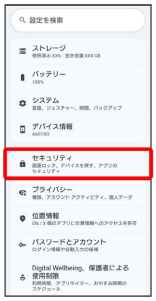
1

ホーム画面で （設定）



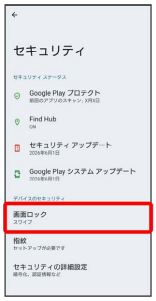
2

セキュリティ



3

画面ロック



・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、画面ロック解除方法を入力してください。

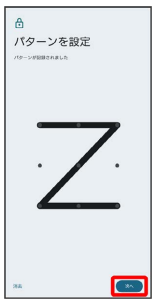
4

パターン



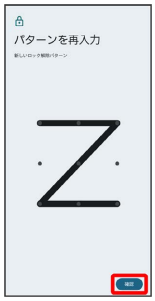
5

新しいパターンを入力 ➔ 次へ



6

新しいパターンを再度入力 ➔ 確認



・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、設定が完了します。

7

通知の表示方法をタップ ➔ 完了



設定が完了します。

PINで画面ロックを解除するように設定する

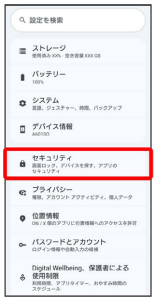
1

ホーム画面で （設定）



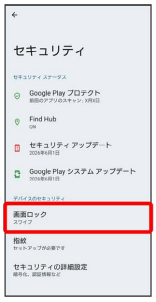
2

セキュリティ



3

画面ロック



・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、画面ロック解除方法を入力してください。

4

PIN



5

新しいPINを入力 → 次へ



6

新しいPINを再度入力 → 確認



・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、設定が完了します。

7

通知の表示方法をタップ → 完了



設定が完了します。

パスワードで画面ロックを解除するように設定する

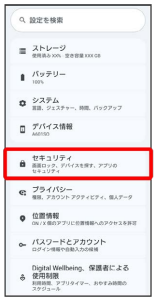
1

ホーム画面で （設定）



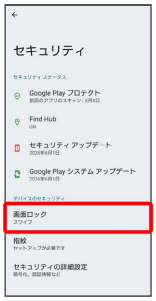
2

セキュリティ



3

画面ロック



・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、画面ロック解除方法を入力してください。

4

パスワード



5

新しいパスワードを入力 ➔ 次へ



6

新しいパスワードを再度入力 ➔ 確認



・変更前の画面ロック解除方法が なし または スワイプ 以外のときは、設定が完了します。

7

通知の表示方法をタップ ➔ 完了



設定が完了します。

その他の端末設定

Google

各種Google 関連サービスの設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Google アカウントを管理	Google アカウントについて設定します。
接続済みのデバイスと共有	・Cast のオプション 同じWi-Fi ネットワーク上にある、Chromecastなどを搭載したテレビやスピーカーでメディアを再生しているときに、キャストメディアの制御通知から直接操作するかどうかを設定します。 ・Chromebook Chromebookについて設定します。 ・Matter デバイス 家族全体のMatter対応デバイスのペア設定と管理を行います。 ・Quick Share 付近のデバイスとファイルを共有できます。 ・Thread ネットワーク スマートホームデバイス間の通信を可能にするThreadネットワークの設定を行います。 ・デバイス 付近のBluetoothデバイスを見つけてセットアップすることができます。 ・複数デバイス間サービス 同じGoogle アカウントにログインしている他のデバイスと、ビデオ通話などを共有するかどうか設定をします。
プライバシーとセキュリティ	・位置情報の精度 位置情報の精度に関する設定をします。 ・使用状況と診断情報 Android の機能向上のため、診断データと本機やアプリの使用状況データをGoogle に送信するかどうかを設定できます。 ・共有データに基づくパーソナライズ アプリとその他の提供元がデバイス上に保存したデータを、Google アプリと共有するかどうかを設定します。 ・広告 表示される広告に関する設定ができます。広告IDをリセットすると新しいIDを元に広告がパーソナライズされ、広告IDを削除すると広告はパーソナライズされなくなります。 ・電話番号の確認 Google に電話番号を認識させて、Google から提供されるサービスを受けやすくするかどうかを設定します。
自動入力とパスワード	Google アカウントに保存されているパスワード、住所、クレジットカードなどの情報を自動で入力するように設定したり、個人情報やパスワードに関する設定などができます。
Google アプリの設定	Google FitやGoogle Play Instantなどの Google アプリを設定できます。

	・Google コンタクトの同期 Google コンタクトに関する機能を設定できます。
バックアップと復元	・バックアップ バックアップに関する機能を設定できます。 ・付近のデバイスの設定 本機付近のデバイスに関する設定をします。 ・連絡先の復元 バックアップした連絡先を復元することができます。
子供とファミリー	・ファミリー グループ ファミリーとGoogle サービスなどを共有したり、管理することができます。 ・保護者による使用制限 本機とGoogle アカウントに対して、プライバシー設定や利用時間などを制限することができます。
ユーザーとデバイスの安全	・Find Hub 「デバイスの場所の特定を許可」機能のON／OFFを設定したり、本機や本機に接続済みのファストペアリングアクセサリーを探す方法を確認したりします。また、リモートでデバイスをロックすることもできます。 ・不明なトラッカーのアラート 不明なトラッカーが検出されたときに通知が届くようにするかどうかを設定します。 ・盗難保護 本機が盗難された際の保護機能について設定をします。 ・高度な保護機能 オンライン攻撃や有害なアプリ、安全でない接続など、データを危険にさらす脅威から本機を保護することができます。
車	・運転中の通知をサイレントにする 運転に集中できるように通知をブロックすることができます。
デバイス ポリシー	・仕事用プロファイルの設定 仕事用プロファイルに関する設定をします。

ネットワークとインターネット

Wi-Fiやモバイルデータ通信など、ネットワークやインターネットに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
インターネット	Wi-Fi接続やモバイルデータ通信に関する設定ができます。 Wi-Fiについて詳しくは、「Wi-Fiで接続する」を参照してください。
SIM	通話やSMS、モバイルデータ通信に関する設定ができます。 通信方式の設定、通信事業者の設定、ローミングについて詳しくは、「海外でご利用になる前に」を参照してください。
機内モード	電源を入れたまま、電波を発する機能をすべて無効に設定します。
アクセス ポイントとテザリング	テザリング機能を利用すると、本機を経由して、パソコンやゲーム機などをインターネットにアクセスさせることができます。 詳しくは、「テザリングオプションを利用する」を参照してください。
データセーバー	一部のアプリのバックグラウンドでのデータ送受信を停止することができます。
VPN	VPNを追加します。
プライベートDNS	プライベートDNSに関する設定ができます。
データSIM自動切替	モバイルデータ通信に使用するSIMを自動的に切り替える設定をします。
スマートコネクティビティ	Wi-Fiネットワークとモバイルデータ通信が両方利用可能なときに、最適なネットワークに自動的に接続するかどうかを設定できます。

5Gネットワークが利用可能な場合に、すべてのモバイルデータ通信に5Gネットワークを使用するかどうかを設定する

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット SIM 設定するSIMを選択 5Gスタンドアローン

・5Gスタンドアローン をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・「優先ネットワークの種類」を「5G（推奨）」に設定しているときのみ利用できます。

接続設定

Bluetooth接続やNFC／おサイフケータイ®設定など、ほかの機器との接続に関する設定ができます。Bluetooth接続について詳しくは、「Bluetooth機能を利用する」を参照してください。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
接続中の機器表示[1]	Bluetooth接続中の機器や、USB接続中の機器がある場合に表示されます。デバイス名の右側の ⚙ やデバイス名をタップするとBluetooth機器に関する設定や、USB接続に関する設定ができます。
新しいデバイスとペア設定	近くにあるBluetooth機器を検索し、本機にペア設定します。
保存済みのデバイス	ペア設定済みの機器が表示されます。 すべて表示 をタップすると、すべてのペア設定済みのBluetooth機器を表示できます。
接続の詳細設定	・Bluetooth Bluetooth接続に関する設定ができます。 ・音声の共有 ブロードキャスト（Bluetooth LE Audio）機能を利用しているときに、音楽などのメディアを周囲の人と一緒に楽しむことができます。 ・複数デバイス間サービス 同じGoogle アカウントにログイン中のデバイスと、ビデオ通話などのサービスを共有できます。 ・NFC／おサイフケータイ NFC／おサイフケータイ®について設定します。 詳しくは、「NFC／おサイフケータイ®を利用する」を参照してください。 ・キャスト 本機の画面をGoogle Cast対応機器に表示できます。 ・印刷 プリンタを使用して本機から印刷できるように設定します。 ・Chromebook Chromebookについて設定します。 ・Quick Share 付近のデバイスとファイルを共有できます。 ・Android Auto Android Autoに対応した車のディスプレイに接続し、Google マップや音声操作などを利用できます。

1　接続されている機器によって、表示が異なります。

アプリ

アプリに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
すべてのアプリ	インストールされているアプリの確認や設定ができます。
デフォルトのアプリ	標準で起動するアプリや、かんたんホームを設定できます。
アシスタント	「OK Google」やその他のアシスタントに関する設定ができます。
利用時間	本機／アプリごとの、「利用時間」「受信した通知数」「起動した回数」を確認できます。
クラウド メディアの設定	アプリやウェブサイトから写真や動画の選択を求められたときに使用するクラウドメディアアプリを設定します。
連絡先アプリのストレージ	連絡先データの保存先を設定します。
使用されていないアプリ	使用されていないアプリを確認できます。
アプリのバッテリー使用量	アプリのバッテリー使用量の制限などを設定します。
特別なアプリアクセス	本機の機能や情報にアクセスするアプリなどの設定を確認／変更できます。

アプリ利用時の操作

各アプリを管理する

ホーム画面で ⚙（設定） ➔ アプリ ➔ すべてのアプリ ➔ 管理するアプリをタップ ➔ 各項目を設定

- 無効にする ／ アンインストール をタップすると、アプリの無効化／削除ができます。
- 通知 ／ 権限 をタップすると、アプリの通知や権限を変更できます。
- ストレージとキャッシュ ➔ ストレージを消去 ／ キャッシュを削除 と操作すると、アプリのデータやキャッシュを削除できます。
- デフォルトで開く ➔ デフォルトの設定をクリア と操作すると、標準で起動するアプリの設定を解除できます。
- 使用していないアプリを管理する をタップすると、長期間使用していないアプリの権限や一時ファイルを削除したり、通知を停止したりします。

通知をブロックしたいアプリを設定する

ホーム画面で ⚙（設定） ➔ アプリ ➔ すべてのアプリ ➔ 通知をブロックしたいアプリをタップ ➔ 通知 ➔ XXX のすべての通知 （ ○ 表示）

- XXX のすべての通知 をタップするたびに、有効（ ● ）／無効（ ○ ）が切り替わります。
- XXX のすべての通知 の「XXX」はアプリによって異なります。

システムのアプリを表示する

ホーム画面で （設定） アプリ すべてのアプリ ⋮ システムアプリを表示

・タップするたびに、システムアプリを表示 / システムアプリを表示しない が切り替わります。

アプリの設定をリセットする

ホーム画面で （設定） アプリ すべてのアプリ ⋮ アプリの設定をリセット アプリをリセット

無効化されているアプリや、権限のすべての制限などの設定がリセットされます。

通知

通知に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
アプリの通知	アプリごとに通知を管理します。
通知履歴	最近の通知とスヌーズに設定した通知を表示します。
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示します。
バブル	アプリにバブル（フローティングアイコン）の表示を許可するかどうかを設定します。
通知の確認、返信、管理	通知を読み取ることができるアプリとデバイスを管理します。
ロック画面上の通知	ロック画面の通知内容の表示について設定します。
機密性の高い通知[1]	ロック画面上の通知に機密性の高い情報を表示するかどうかを設定します。
通知のクールダウン	短時間の間に多くの通知が届いたとき、最大1分間、音量を下げて通知を最小限に抑えることができます。
点滅による通知	通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに、カメラのライトまたは画面が点滅します。
緊急速報メール	緊急速報メールの履歴を確認したり、緊急速報メールの設定を行うことができます。詳しくは、「緊急速報メールを利用する」を参照してください。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知を表示するかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可する	通知を繰り返して表示（スヌーズ）するかどうかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット	アイコンにドット（点）を表示して、アプリの通知をお知らせするかどうかを設定します。
拡張通知	操作や返信の候補などを利用するかどうかを設定します。
通知からポップアップウィンドウへ	通知からポップアップウィンドウを起動するかどうかを設定します。

1 画面ロック解除方法が「パターン」/「PIN」/「パスワード」のときに表示されます。

モード

就寝中、仕事中、運転中などの特定の状況において集中できるように、通知をブロックするタイミングを設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
サイレントモード	必要な通知のみ届くよう設定することで、通知を最小限に抑えることができます。
おやすみ時間	指定した時間に画面を暗くしたり、通知をブロックしたりできます。
運転	運転に集中できるように通知をブロックすることができます。
独自のモードを作成する	モードをカスタマイズできます。

壁紙とスタイル

ロック画面とホーム画面の壁紙やスタイルに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
時計	ロック画面に表示する時計のデザインを設定します。プレビュー画像を左右にフリックして選択します。
時計の色とサイズ	ロック画面に表示する時計の色とサイズを設定します。
壁紙の変更	撮った写真やダウンロードした画像、デバイスに保存されている壁紙、ライブ壁紙からホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。
ショートカット[1]	ロック画面下部に表示されるショートカットアイコンを設定します。
ロック画面に通知を表示する[1]	ロック画面に通知を表示するかどうかを設定します。
ロック画面のその他の設定[1]	ロック画面の通知、ロック画面に表示するショートカットやGlanceなどに関する設定をします。
テーマアイコン[2]	アイコンなどのデザインを一括で設定します。
色のコントラスト[2]	色のコントラストをつけて、テキストやボタン、アイコンを見やすくすることができます。
アプリグリッド[2]	ホーム画面のアプリアイコンの並びや大きさを設定できます。

1 「ロック画面」を選択している時のみ設定できます。
2 「ホーム画面」を選択している時のみ設定できます。

ロック画面に表示する時計を変更する

ホーム画面で （設定） 壁紙とスタイル ロック画面 プレビュー画像を左右にフリック／プレビュー画像の左右にある時計をタップ

・ホーム画面のアイコンがない場所をロングタッチ 壁紙とスタイル としても同様の操作ができます。

ストレージ

本機やSDカード、USBドライブのストレージ容量の確認や、SDカードやUSBドライブのデータの消去ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
このデバイス[1]	タップしてSDカード／USBドライブ名を選択すると、SDカードまたはUSBドライブの使用容量／合計容量を確認できます。 再度内部ストレージを表示する場合はSDカード／USBドライブ名をタップ → このデバイス と操作します。
XXGB 使用 合計256 GB	内部ストレージの使用容量／合計容量を確認できます。
空き容量を増やす	アプリの一時ファイルを削除して、空き容量を増やすことができます。

1 SDカードやUSBドライブが取り付けられている場合に表示されます。

ストレージ利用時の操作

SDカード／USBドライブの認識を解除する

ホーム画面で （設定） → ストレージ → このデバイス → SDカード／USBドライブ名をタップ → ⋮ → 取り出し

・再度認識させる場合は、ホーム画面で （設定） → ストレージ → このデバイス → SDカード／USBドライブ名をタップ → ⋮ → マウント と操作します。

SDカード／USBドライブをフォーマットする

SDカード／USBドライブをはじめてお使いになるときは、必ず本機でフォーマットしてください。

ホーム画面で （設定） → ストレージ → このデバイス → SDカード／USBドライブ名をタップ → ⋮ → フォーマット → フォーマット → フォーマット → 完了

・フォーマットすると、SDカード／USBドライブ内のデータがすべて消去されます。ほかの機器で使用したSDカード／USBドライブをフォーマットするときは、あらかじめよくご確認のうえ、操作してください。
・フォーマットは十分に充電された状態で行ってください。

デバイス情報

デバイス名や自分の電話番号の確認などができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デバイス名	本機の名称を確認／変更できます。
電話番号（SIM スロット 1）	SIMスロット1の電話番号を確認できます。
電話番号（SIM スロット 2）	SIMスロット2の電話番号を確認できます。
法的情報	法的情報を表示します。
認証	認証情報を確認できます。
お客様のXperia ID	お客様のXperia™ IDを確認できます。
詳細な診断データ	Xperiaの品質改善のために詳細な診断データを提供するかどうかを設定します。
Xperiaサービス設定	XperiaおよびソニーのサービスのSの動作をカスタマイズします。
SIM ステータス（SIM スロット 1）	SIMスロット1のSIMの各種情報を確認できます。
SIM ステータス（SIM スロット 2）	SIMスロット2のSIMの各種情報を確認できます。
モデル	本機のモデル名やシリアル番号を確認できます。
EID	EIDを確認できます。
IMEI（SIM スロット 1）	SIMスロット1のIMEIを確認できます。
IMEI（SIM スロット 2）	SIMスロット2のIMEIを確認できます。
Android バージョン	Android バージョンなどを確認できます。
IP アドレス	IPアドレスを確認できます。
Wi-Fi MAC アドレス	保存済みのネットワークを選択してWi-Fi MACアドレスを確認できます。
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	Wi-Fi MACアドレスを確認できます。
Bluetooth アドレス	Bluetoothアドレスを確認できます。
稼働時間	稼働時間を確認できます。
ビルド番号	ビルド番号を確認できます。

プライバシー

アプリの権限の設定やパスワードの表示など、プライバシーに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
プライバシーダッシュボード	権限を最近使用したアプリを確認できます。
権限マネージャー	アプリの権限の設定を確認／変更できます。詳しくは、「アプリに必要な許可を設定する」を参照してください。
位置情報を共有する方法の更新	位置情報を共有する方法が変更されたアプリを確認できます。
パスワードを表示	PINコード／PIN／パスワードの入力画面で、「●」が表示される前に入力した文字を短い間表示するかどうかを設定します。[1]
ロック画面上の通知	ロック画面の通知内容の表示について設定します。
ロック画面にメディアを表示する	ロック画面にメディアプレーヤーを表示したままにするかどうかを設定します。
Android System Intelligence	交流したユーザー、操作したアプリやコンテンツに基づいて候補を表示します。
アプリのコンテンツ	Android システムにコンテンツを送信することをアプリに許可するかどうかを設定します。
クリップボードへのアクセスを表示	クリップボードにコピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスしたときに、通知するかどうかを設定します。
ヘルスコネクト	健康に関するデータへのアプリのアクセス権を管理できます。
Google の自動入力サービス	Google アカウントに保存されているパスワード、住所、クレジットカードなどの情報を自動で入力するように設定したり、個人情報やパスワードに関する設定などができます。
アクティビティ管理	Google に保存を許可するアクティビティと情報を選択できます。
プライベートスペース	ランチャー画面にプライベートな領域を作成して、プライベートアプリを他のユーザーが開けないようにできます。
広告	表示される広告に関する設定ができます。広告IDをリセットすると新しいIDを元に広告がパーソナライズされ、広告IDを削除すると広告はパーソナライズされなくなります。
使用状況と診断情報	Android の機能向上のため、診断データと本機やアプリの使用状況データをGoogle に送信するかどうかを設定できます。

1　入力画面によっては、本機の設定どおりに動作しないことがあります。

位置情報

位置情報に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
位置情報を使用	位置情報を使用するかどうかを設定します。
最近のアクセス	最近の位置情報を利用したアプリが表示されます。 すべて表示 をタップすると、位置情報を利用したすべてのアプリを表示できます。
アプリへの位置情報の利用許可	位置情報の利用を許可するかどうかをアプリごとに設定します。
位置情報サービス	Google ロケーション履歴、Google 現在地の共有機能、タイムライン、位置情報の精度、信頼できる場所、地震アラート、緊急位置情報サービスなどの位置情報サービスに関する設定ができます。

GPS機能について

本機には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。

- 現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分たっても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部をおおわないようにしてください。GPS機能をはじめて使用するときは、現在地の測位に最大で数分程度かかることがあります。
- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本機の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出ることがあります。
- 本機は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、建物や自動車の中や高圧線の近くなどの条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

位置情報をONにする

ホーム画面で （設定） 位置情報 位置情報を使用 （ 表示）

・位置情報を使用 をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

パスワードとアカウント

保存されているパスワードを管理したり、アカウントの新規作成／追加などができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
優先するサービス	Google 自動入力を使用するかどうかや、入力する内容を設定します。
所有者のアカウント	本機に追加したアカウントが表示されます。
アカウントを追加	アカウントの新規作成／追加ができます。
アプリデータを自動的に同期する	アプリにデータの自動更新を許可するかどうかを設定できます。

パスワードとアカウント利用時の操作

アプリにデータの自動更新を許可するかどうかを設定する

ホーム画面で （設定） パスワードとアカウント アプリデータを自動的に同期する OK

・アプリデータを自動的に同期する をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。

同期するアプリをアカウントごとに設定する

ホーム画面で （設定） パスワードとアカウント 同期するアカウントをタップ アカウントの同期 同期する項目をタップ

・同期する項目をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・アプリデータを自動的に同期する が無効のときは、タップした項目の同期が実行されます。

Digital Wellbeing、保護者による使用制限

本機の利用時間の管理や、保護者による使用制限の設定などができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
アプリのアクティビティの詳細を表示	本機／アプリごとの、「利用時間」「受信した通知数」「起動した回数」を確認できます。
アプリタイマー	アプリごとに時間制限を設定できます。
おやすみ時間モード	指定した時間に画面を暗くしたり、通知をブロックしたりできます。
フォーカス	集中の妨げになるアプリを一時停止します。
利用時間のリマインダー	アプリの利用時間に関する情報をときどき表示させて、自分のデジタル習慣を確認することができます。
通知を管理	アプリごとに通知を管理します。
前方注意	本機を使いながら歩いているときなどに、周囲に気を配るように促す通知をするかどうかを設定できます。
アプリの一覧にアイコンを表示	ランチャー画面に （Digital Wellbeing）を表示するかどうか設定します。
保護者による使用制限を設定する	本機とGoogle アカウントに対して、プライバシー設定や利用時間などを制限することができます。

安全性と緊急情報

緊急情報サービスや緊急SOS、緊急位置情報サービス、緊急速報メールなどに関する設定をします。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
緊急情報サービスを開く	緊急事態の共有や安全確認などの機能を利用できます。
医療に関する情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報を登録します。
緊急連絡先	緊急時の連絡先を登録します。
緊急 SOS	緊急SOSを使用するかどうかを設定したり、緊急SOSを有効にしたときの動作を設定したりします。
災害情報アラート	周辺の自然災害や公衆衛生危機に関する通知を受け取るかどうかを設定します。
緊急位置情報サービス	緊急通報番号に発信するかメッセージを送信したときに、緊急位置情報サービスへ位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。
地震アラート[1]	地震アラートを利用するかどうかを設定します。
不明なトラッカーのアラート	不明なトラッカーが検出されたときに通知が届くようにするかどうかを設定します。
運転中の通知をサイレントにする	運転に集中できるように通知をブロックすることができます。
緊急速報メール	緊急速報メールの履歴を確認したり、緊急速報メールの設定を行うことができます。詳しくは、「緊急速報メールを利用する」を参照してください。

1　使用状況によって表示が異なる場合があります。

安全性と緊急情報利用時の操作

緊急時の医療に関する情報を登録する

ホーム画面で （設定） 安全性と緊急情報 医療に関する情報 各項目を設定

緊急時の連絡先を登録する

ホーム画面で （設定） 安全性と緊急情報 緊急連絡先 連絡先の追加 追加する連絡先をタップ

緊急時の連絡先を削除する

ホーム画面で （設定） 安全性と緊急情報 緊急連絡先 削除する連絡先の 削除 削除

緊急時情報を確認する

ロック画面で、画面を上にフリック 緊急通報 「緊急時情報」のアイコンを右にスワイプ（フリック）

・画面ロック解除方法を「パターン」／「PIN」／「パスワード」に設定しているときのみ利用できます。画面ロック解除方法の設定について詳しくは、「パターンを指でなぞって画面ロックを解除するように設定する」「PINで画面ロックを解除するように設定する」「パスワードで画面ロックを解除するように設定する」を参照してください。

ユーザー補助

字幕や拡大操作など、本機を使用するうえで便利なユーザー補助機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Voice Access	Voice Access機能を利用できます。
音声文字変換	音声をテキストに変換する音声文字変換機能を利用できます。
音検知通知	重要な音に関する通知を受け取る音検知通知を利用するかどうかを設定します。
セキュリティOne	セキュリティOneについて設定します。
TalkBack	画面情報を音声で読み上げるTalkBackを設定します。
選択して読み上げ	画面上でタップした項目を音声で読み上げるかどうかを設定します。
表示サイズとテキスト	フォントサイズや表示サイズ、アウトラインテキストに変更するなど、表示やテキストに関する設定ができます。
色と動き	色（色補正、色反転、ダークモード）や動き（アニメーション）の設定をします。
さらに輝度を下げる	「明るさのレベル」で設定できる最低限の明るさよりもさらに画面を暗くできます。
拡大操作	拡大操作を利用できるようにするかどうかを設定します。
スイッチ アクセス	画面をタップする代わりに、外部接続機器などのスイッチを使って本機を操作するかどうかを設定します。
ユーザー補助機能メニュー	ユーザー補助機能を大きなメニューで表示させるようにするかどうかを設定します。
タイミングの調節	画面をロングタッチする際の認識する時間を設定できます。
システム操作	ナビゲーションモードや片手モード、電源ボタンで通話を終了[1]、画面の自動回転に関する設定ができます。
バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時などのバイブレーションの動作を設定したり、◯（ホーム）やキーボード操作時などにバイブレーションを動作させるかどうかを設定したりします。
自動字幕起こし	メディア再生時や通話時などに自動で字幕を生成するかどうかを設定します。
字幕の設定	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定します。
音声による説明	対応する映画や番組で、画面の表示内容の説明を読み上げるかどうかを設定します。
点滅による通知	通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときにカメラのライトまたは画面が点滅します。
補聴器	補聴器に関する設定ができます。
音声の調整	音声をモノラル再生するかどうかを設定したり、オーディオの左右のバランスを設定したりできます。
ユーザー補助機能のショートカット	ユーザー補助機能ボタンに関する設定をしたり、ロック画面で音量ボタンの＋と－を同時に数秒間長押ししたときに、ユーザー補助機能を起動するかどうかを設定したりできます。
テキスト読み上げの設定	テキスト読み上げエンジンを設定したり、読み上げの速度の変更やサンプルを再生したりできます。

1 「電源ボタンで通話を終了」を有効にした状態で、通話中に画面消灯になった場合、電源ボタンを押して画面消灯を解除してから電源ボタンを押すと通話を終了できます。

海外でのご利用

海外でご利用になる前に.....250
海外で電話をかける.....253

海外でご利用になる前に

本機は世界対応ケータイです。お使いのソフトバンク携帯電話の電話番号をそのまま海外で利用できます。
本機はお買い上げ時、自動的に滞在先の適切な通信事業者に接続するように設定されています。特定の通信事業者を利用したい場合は、手動で選択することもできます。
その他、必要に応じて通信方式、ローミングの設定を変更してください。

通信方式を設定する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

設定するSIMを選択



4

優先ネットワークの種類 5G（推奨） / 4G / 3G



通信方式が設定されます。

・お買い上げ時は 5G（推奨） に設定されています。日本国内や3Gネットワークの通信事業者のみの地域で本機を使用する場合は設定を変更する必要はありません。

2G通信を許可するかどうかを設定する

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット SIM 設定するSIMを選択 2G ネットワークの保護

・2G ネットワークの保護 をタップするたびに有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・日本国内では2Gを利用したサービスは提供していませんので、有効（ ）にしないでください。
・海外渡航時、国によっては有効（ ）にしないとご利用いただけない場合があります。

通信事業者を設定する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



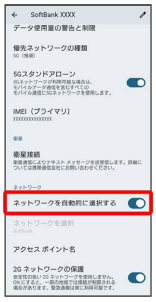
3

設定するSIMを選択



4

ネットワークを自動的に選択する （ 表示）



・無効（ 表示）にすると利用可能なネットワークが検索されます。

5

接続するネットワークをタップ



選択した通信事業者が設定されます。

ローミングの設定を変更する

1

ホーム画面で （設定） ネットワークとインターネット



2

SIM



3

設定するSIMを選択



4

ローミング （ 表示）



ローミングの設定が変更されます。

・ローミング をタップするたびに、有効（ ）／無効（ ）が切り替わります。
・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

海外で電話をかける

海外にお出かけになるときは、「海外ご利用ガイド」を携帯してください。
詳しくは下記のウェブサイトを参照ください。
https://www.softbank.jp/mobile/set/common/p/pdf/international/roaming/global_service_international_guide.pdf

海外から日本や日本以外の国や地域へ国際電話をかける

1

ホーム画面で （電話）



電話画面が表示されます。

2

キーパッド



ダイヤル画面が表示されます。

3

0 をロングタッチ



「＋」が入力されます。

4

国番号のあとに相手の電話番号（先頭の「0」を除く）を入力



・イタリア（国番号：39）にかける場合は、「0」を除かずに入力してください。

5

音声通話



電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

滞在先の一般電話／携帯電話にかける

日本国内で電話をかけるときと同じ操作で電話をかけることができます。

・国番号を入力したり、市外局番の先頭の「0」を除く必要はありません。

1

ホーム画面で （電話）



電話画面が表示されます。

2

キーパッド



ダイヤル画面が表示されます。

3

ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力



4

音声通話



電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

困ったときは

電源が切れる..... 256
充電ができない／遅い..... 256
電池の消費が早い..... 257
画面が暗い..... 257
画面が突然消える..... 258
画面が固まったまま動かない..... 258
指紋認証ができない..... 259
本機が温かい..... 259
SDカードが利用できない..... 260
メールの送信／受信ができない..... 260
インターネットにアクセスできない..... 261
通話ができない..... 261
アプリが利用できない..... 262
その他のトラブル..... 262

電源が切れる

特定のアプリが動作中に電源が切れる

アプリが原因の可能性があります。
アプリが最新版ではない場合は「アプリを更新する」を参照し、アプリを更新してください。
解消しない場合は、「アプリを削除（アンインストール）する」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールしたあとから電源が切れる

新しいアプリが原因の可能性があります。
セーフモードでアプリを削除してください。
セーフモードの起動方法は「セーフモードで起動する」を参照してください。
アプリの削除方法は「アプリを削除（アンインストール）する」を参照してください。

充電ができない／遅い

充電が開始しない

電池が空になっている可能性があります。
一定時間経過したら充電が開始されるかご確認ください。

ACアダプタによって充電時間が長くなる

急速充電用以外のACアダプタを使用した場合、充電速度が遅くなる場合があります。
ソフトバンク指定の急速充電用ACアダプタはウェブサイトを参照してください。

充電中に充電が停止する

本機の温度が高くなると一時的に充電が停止する場合がありますが、異常ではありません。本機の温度が低下すると自動的に充電を再開します。

いたわり充電が開始しない

自動設定の場合、充電の習慣に規則性を見つけられないと学習が完了しないため、いたわり充電は開始されません。手動設定にすると、指定した時間帯で開始できます。

満充電にならない

いたわり充電中に充電器を抜いた場合は、満充電されないことがあります。
満充電にするには、通常の充電に切り替えてください。

電池の消費が早い

操作をしていないのに電池の消費が早い

アプリが操作をしていない状態でも通信を行っている場合があります。
「バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限する」を参照し、設定を行うことで改善する可能性があります。

特定の場所で電池の消費が早い

電波の弱い場所や圏外の場所に長時間いると電池の消耗が早くなる場合があります。

電池の消費を抑える設定をしたい

電池の消費を抑えるSTAMINAモードの設定をONにすると、電池の消耗が改善される可能性があります。
「STAMINAモードを利用する」を参照してください。

画面が暗い

本機の温度が高い

使用中に本機の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。

画面が突然消える

特定のアプリが動作中に画面が突然消える

アプリが原因の可能性があります。
アプリが最新版ではない場合は「アプリを更新する」を参照し、アプリを更新してください。
解消しない場合は、「アプリを削除（アンインストール）する」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールしたあとから画面が突然消える

新しいアプリが原因の可能性があります。
セーフモードでアプリを削除してください。
セーフモードの起動方法は「セーフモードで起動する」を参照してください。
アプリの削除方法は「アプリを削除（アンインストール）する」を参照してください。

画面が固まったまま動かない

特定のアプリが動作中に画面が固まったまま動かない

アプリが原因の可能性があります。
アプリが最新版ではない場合は「アプリを更新する」を参照し、アプリを更新してください。
解消しない場合は、「アプリを削除（アンインストール）する」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールしたあとから画面が固まったまま動かない

新しいアプリが原因の可能性があります。
セーフモードでアプリを削除してください。
セーフモードの起動方法は「セーフモードで起動する」を参照してください。
アプリの削除方法は「アプリを削除（アンインストール）する」を参照してください。

指紋認証ができない

指紋認証に連続して失敗した

指紋認証が20回連続して認識されなかった場合は、指紋センサーが利用できなくなります。ロック画面で、画面を上にフリックして設定した画面ロック解除方法を入力してください。

本機が温かい

使用中に本機が温かくなる

通話中やインターネット利用中または充電中など、ご使用の状況によっては本機が温かくなることがありますが、異常ではありません。温かくなった本機を直接または（ポケットに入れるなど）間接的に長時間皮膚に接触すると、低温やけどの原因となりますのでご注意ください。

SDカードが利用できない

特定のアプリが動作中にSDカードが利用できない

アプリが原因の可能性があります。
アプリが最新版ではない場合は「アプリを更新する」を参照し、アプリを更新してください。
解消しない場合は、「アプリを削除（アンインストール）する」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールしたあとからSDカードが利用できない

新しいアプリが原因の可能性があります。
セーフモードでアプリを削除してください。
セーフモードの起動方法は「セーフモードで起動する」を参照してください。
アプリの削除方法は「アプリを削除（アンインストール）する」を参照してください。

メールの送信／受信ができない

ステータスバーに機内モードアイコンが表示されている

「機内モード」になっています。
「機内モードを利用する」を参照し、機内モードを解除してください。

電波レベルアイコンに「5G」「4G」の表示がない

モバイルデータ通信が無効になっています。
ホーム画面で（設定）→ ネットワークとインターネット → SIM → モバイルデータ と操作して、モバイルデータ通信を有効（表示）にしてください。

ファイルを添付すると送信できない

＋メッセージで添付できるファイルのサイズは最大100MBです。
サイズの大きいファイルの共有には、Google ドライブなどをご利用ください。

特定の相手からのメールを受信できない

迷惑メールフィルターの設定により届かない可能性があります。
迷惑メールフィルターの設定を確認してください。

インターネットにアクセスできない

ステータスバーに機内モードアイコンが表示されている

「機内モード」になっています。
「機内モードを利用する」を参照し、機内モードを解除してください。

電波レベルアイコンに「5G」「4G」の表示がない

モバイルデータ通信が無効になっています。
ホーム画面で（設定） ネットワークとインターネット SIM モバイルデータ と操作して、モバイルデータ通信を有効（ 表示）にしてください。

ブラウザを利用するとアクセスできない

ブラウザの動作が一時的に不安定な状態になっている可能性があります。
「閲覧履歴を消去する」を参照し、ブラウザのキャッシュを消去することで改善する可能性があります。

Wi-Fi接続済みなのにインターネットにアクセスできない

Wi-Fi接続に問題がある可能性があります。
「接続中のWi-Fi ネットワークを削除する」を参照し、Wi-Fi接続を解除した状態でインターネットにアクセスできるか確認してください。

通話ができない

発着信ともできない

「機内モード」になっている可能性があります。
「機内モードを利用する」を参照し、機内モードを解除してください。

着信できない

「転送電話」や「留守番電話プラス」を設定している場合、電話を受ける前に電話が転送されたり、留守番電話に接続されたりすることがあります。
「転送電話サービスを利用する」「留守番電話プラスを利用する」を参照し、設定をご確認ください。

アプリが利用できない

新しいアプリをインストールできない

本機の空き容量が少ないとアプリのインストールができません。
空き容量の確認については「ストレージ」を参照してください。
また、本機に対応していないアプリは、インストールできません。

アプリが起動できない

アプリの初回起動時、アクセス許可を設定するアプリがあります。許可するように設定していない場合、アプリを起動できない場合があります。
「アプリに必要な許可を設定する」を参照し、設定を確認してください。

その他のトラブル

USB Type-Cケーブルなどで接続した外部機器が認識されない

・外部機器を取り付け直してください。ただし、機器によっては検出されない場合があります。
・USB Type-C接続端子に水分を検出すると、USB機器の自動検出が無効になり、外部機器は認識されません。
接続端子に水滴が残っていないことを確認してからUSB機器を接続して、表示されているメッセージをタップしてください。

お願いとご注意

マナーを守りましょう..... 264
使用上のご注意..... 264
防水／防塵性能について..... 265
知的財産権について..... 267

マナーを守りましょう

指示に従って使用しましょう

・航空機内
　航空会社の指示に従って、ご使用ください。
　本機の電波により、運航の安全に支障をきたす恐れがあります。
・病院内
　各医療機関からの指示に従って、ご使用ください。
　本機の電波により、医用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。

こんな場所では周囲に気配りしましょう

本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
次のような場所では、特にご注意ください。

・電車やバスなどの交通機関
　車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
・劇場や映画館、美術館など
　周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。
・レストランやホテルのロビーなど
　静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。
・街の中
　通行の妨げにならない場所で使いましょう。
・混雑した場所
　事前に機内モードに設定、または、電源を切ってください。付近にペースメーカなどを装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

使用上のご注意

使用上のご注意

本機をご利用になるときに、誤った使いかたをすると、けがや故障の原因となります。

・分解や改造をしないでください。
・手や本機が濡れている状態でカバーの開閉はしないでください。
・USB Type-C接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。
・本機に使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。
・電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に本機を入れて加熱しないでください。
・自動車運転中のご使用は危険なため、法律で禁止されています。
　車を安全なところに停車させてからご使用ください。

防水／防塵性能について

SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5、IPX8の防水性能、IP6Xの防塵性能を有しています。
IPX5：内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、携帯電話としての機能を有することを意味します。
IPX8：常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに携帯電話としての機能を有することを意味します。
IP6X：直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに携帯電話の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

本機が有する防水／防塵性能でできること

・雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
　－ 手が濡れているときや本機に水滴がついているときには、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーの開閉はしないでください。
・汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
　－ やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
　－ 洗うときはSIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。
・プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

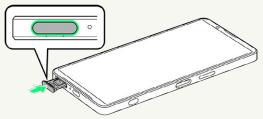
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

・常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
・SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
・受話口／セカンドスピーカー、送話口／メインマイク、メインスピーカー、セカンドマイク、声優先マイク、USB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）などを尖ったものでつつかないでください。
・落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
・SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持するうえで重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーの閉じかた

矢印の方向へトレイを奥まで押し込み、本体とカバーにすき間がないことを確認してください。



・防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回部品の交換をおすすめします。「ソフトバンクショップ」などで、本機をお預かりして部品の交換を有料にて承ります。ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先へご相談ください。

ご使用にあたってのご注意

次のような行為は行わないでください。
例：

・石鹸／洗剤／入浴剤をつける
・ブラシ／スポンジで洗う
・洗濯機で洗う
・強すぎる水流を当てる
・海水に浸ける
・温泉で使う
・砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

・規定以上の強い水流を直接当てないでください。IPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
・万一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
・水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
・水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
・プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
・本機は水に浮きません。
・水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
・受話口／セカンドスピーカー、送話口／メインマイク、メインスピーカー、セカンドマイク、声優先マイク、USB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）に水滴を残さないでください。通話不良となったり、衣服やかばんを濡らしてしまうことがあります。
・SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先までご連絡ください。
・SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先にて部品をお取り替えください。
・本機が水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。
・USB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどにより、故障・やけど・火災の原因となります。
・湿気の多い場所に長時間放置しないでください。ご使用後は、浴室から取り出しておいてください。
・寒い屋外から暖かい浴室などに急に本機を持ち込まず、1度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。
・実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

本機を水に濡らすと、拭き取れなかった水があとから漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

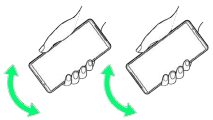
1

本機をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



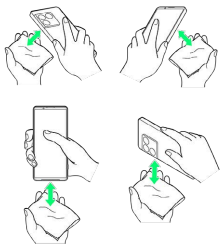
2

本機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り（左図）、上下の向きを変え、再度20回程度振る（右図）



3

本機内部より出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る



・特に受話口／セカンドスピーカー、送話口／メインマイク、メインスピーカー、USB Type-C接続端子、セカンドマイク、声優先マイク、ヘッドセット接続端子（3.5mmオーディオジャック）、電源ボタン／指紋センサー、音量ボタン／ズームボタン（＋／－）、シャッターボタン、SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー、カメラリング（メインカメラ周辺部）は水が抜けにくいため、布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。
・上下の向きを変えて拭き取ってください。

4

乾いた清潔な布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して自然乾燥させる

水抜きが完了します。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本機を利用して撮影またはウェブサイトからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本機を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにウェブサイトに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

・「SoftBank」および「ソフトバンク」の名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の商標または登録商標です。
・Yahoo!、ヤフー、Yahoo! JAPANのロゴ、Y!のロゴは、LINEヤフー株式会社の日本国内における登録商標または商標です。
・さとふるの名称、ロゴ及びサービス名は、株式会社さとふるの日本国内における登録商標または商標です。
・Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。
・Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。



・Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。



・microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



・USB Type-C™ はUSB Implementers Forumの商標です。
・DisplayPortはVideo Electronics Standards Associationの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
・イーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
・「Qi」はワイヤレスパワーコンソーシアムの商標です。
・ はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
・ はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。
Dolby、Dolby Atmos、ドルビー及びダブルD記号はDolby Laboratories Licensing Corporationの登録商標です。
非公開機密著作物。著作権2012–2024年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
・Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Google Calendar、Google Calendar ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドキュメント、Google ドキュメント ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google スプレッドシート、Google スプレッドシート ロゴ、Google スライド、Google スライド ロゴ、YouTube Music、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google Meet、Google Meet ロゴ、Google フォト、Google フォト ロゴ、Google ウォレット、Google ウォレット ロゴ、Google One、Google One ロゴ、Google TV、Google TV ロゴ、Google レンズ、Google レンズ ロゴ、Google Home、Google Home ロゴ、Gemini、Gemini ロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
・Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・おサイフケータイは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
・FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
・FitbitおよびFitbit FlexはFitbit, Inc.の商標です。

・iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
・本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。（i）MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および／または（ii）商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をVia Licensing Alliance LLCによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、Via Licensing Alliance LLCより入手できます（https://www.via-la.com/）。
・「ソニー」および「SONY」、ならびに本書で使用される商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。
・FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
・本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com (https://accessadvance.com/hevc-advance-patent-list/)



・本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
・本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

保証／仕様／お問い合わせ先

保証とアフターサービス.....270
仕様.....270
使用材料.....271
携帯電話機の電波防護への適合性について.....271
RF Exposure Information of This Product.....273
FCC Statement for the USA.....275
VCCIについて.....275
お問い合わせ先.....276

保証とアフターサービス

保証について

・保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
・修理規定に基づき無料修理を行います。修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。
https://www.softbank.jp/mobile/support/product/warranty/
・保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については修理規定の対象外となります。

注意

損害について

本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

分解・改造について

本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

・保証期間中は修理規定に基づいて修理いたします。
・保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。
尚、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後目安として3年です。
ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先までご連絡ください。

仕様

本体

項目	説明
サイズ（幅×高さ×奥行）	約74mm×約162mm×約8.3mm
質量	約200g
連続通話時間[1]	約2,610分（4G LTE） 約2,610分（5G）[2]
連続待受時間[1]	約730時間（4G） 約730時間（4G LTE） 約630時間（5G）[2]
充電時間	約100分 ACアダプタ（USB PD-PPS対応 USB Type-C™ 急速充電 ACアダプタ［ZSDBAV］（SB-AC22-TCPD））[3]

1　連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって短くなることがあります。
2　スタンドアローン環境での目安時間になります。
3　対応充電器について、詳しくはソフトバンクのウェブサイトを参照してください。

使用材料

本体

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース（上部、下部、側面部）	アルミニウム合金／アルマイト処理
外装ケース（音量ボタン／ズームボタン、シャッターボタン、カメラリング（メインカメラ周辺部））	アルミニウム合金／アルマイト処理
外装ケース（アンテナのカバー）	ポリカーボネート樹脂／塗装
外装ケース（アンテナスリット部、USB Type-C接続端子部、ヘッドセット接続端子部）	PBT樹脂（ガラス繊維入り）／—
ライト／フラッシュレンズ	ポリカーボネート樹脂／—
背面照度センサーレンズ	ポリカーボネート樹脂／—
透明板（ディスプレイ）	強化ガラス／AFP処理
透明板（背面パネル）	強化ガラス／AFP処理
透明板（カメラレンズ）	強化ガラス／AFP処理＋AR処理
電源ボタン／指紋センサー	エポキシ樹脂／塗装
受話口／セカンドスピーカー（上部）メッシュ	ポリエステル樹脂／染色
SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバーのゴムパッキン	シリコンゴム／—
外装ケース（SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー）	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）／塗装
SIMカード／microSDカードトレイ	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）＋ステンレス合金／PVD処理

携帯電話機の電波防護への適合性について

本項目における「A601SO」とは、本機「Xperia 1 VIII」を示しています。

携帯電話機の電波防護への適合性について

この機種A601SOの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6GHz以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6GHzを超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2.0W/kg、2mW/cm²です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満たしています。
この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値：0.7460（※2）、身体に装着した場合の最大値：0.4560（※2）となっています（※3）。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。
個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、この携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

・総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
・一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
・SoftBank スマートフォン各機種の電波比吸収率（SAR） 一覧はこちら
https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2　携帯電話サービスと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3　この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部：SAR 1.4920W/kg、PD(吸収電力密度) 0.0000mW/cm²／PD(入射電力密度) 0.0000mW/cm²、身体装着時：SAR 0.6440W/kg、PD(吸収電力密度) 0.1590mW/cm²／PD(入射電力密度) 0.1090mW/cm²です。

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この携帯電話機A601SOは無線送受信機器です。本製品は国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.51W/kg、人体に接触して使用する場合のSARの最大値は0.80W/kgです。本携帯電話機を充電器として使用する場合は、携帯電話機を平らな場所に置き、身体から20センチの距離を保った状態で充電する必要があります。

米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

この携帯電話機A601SOは無線送受信機器です。この携帯電話機は米国連邦通信委員会（FCC）によって要件として定められた許容値以下となるように設計及び製造されています。この許容値は独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この基準は使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.75W/kg、下記に従い身体に装着した場合のSARの最大値は0.61W/kg、Wi-Fi ホットスポットモードを有効にした場合のSARの最大値は0.60W/kgです。
身体装着の場合：この携帯電話機は、一般的な装着法として身体から0.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、上記の距離に携帯電話機を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。Wi-Fi ホットスポット機能搭載機器は、Wi-Fi ホットスポットモードを有効にし、身体から0.5センチの距離で測定試験を実施しています。本携帯電話機を充電器として使用する場合は、携帯電話機を平らな場所に置き、身体から20センチの距離を保った状態で充電する必要があります。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定める要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

FCCは報告されたすべてのSARレベルが電波ばく露要件に準拠していることを確認し、この携帯電話機の認証を付与しています。この携帯電話機に関して提出されたSAR情報は、FCC ID検索ウェブページでFCC ID PY7-30515Zを検索することで見つけることができます：
https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）
https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0

RF Exposure Information of This Product

" A601SO " here refers to this mobile phone " Xperia 1 VIII ".

RF Exposure Information of This Product (for Japan)

This mobile phone A601SO complies with the Japanese technical regulations on human exposure to radio frequency (RF) electromagnetic energy.

This mobile phone is designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves (*1). These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in IEEE. The permissive limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The technical regulations set out limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6GHz) and the PD (Power Density, for above 6GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2.0W/kg and 2mW/cm^2, respectively. If a mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.

The TER for this mobile phone when tested for use near head is 0.7460, and that when worn on the body is 0.4560 (*2, *3). There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to access the mobile network(s).

This mobile phone can be used at positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about RF exposure information, see the following websites:
・Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm
・Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
(Japanese)
・List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves
https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/ (Japanese)

*1 The technical regulations are provided in the Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
*3 The values of SAR and PD that the TER values are calculated are as follows: For temporal region (near ear), SAR: 1.4920 W/kg, Absorbed Power Density (APD): 0.0000 mW/cm^2 / Incident Power Density (IPD): 0.0000 mW/cm^2; For body-worn, SAR: 0.6440 W/kg, APD: 0.1590 mW/cm^2 / IPD: 0.1090 mW/cm^2.

European RF Exposure Information

This model of phone has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all individuals, regardless of age or health.
The radio-wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.
While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.
SAR data information for residents in countries/regions that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) grams of tissue (for example, the European Union, Japan, Brazil, and New Zealand): The highest SAR value for this model of phone when tested by Sony for use at the ear was 0.51 W/kg (10 g).
In the case where the phone is worn on the body, the highest tested SAR value was 0.80 W/kg (10 g).

FCC RF Exposure Information

THIS MODEL OF PHONE HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
This model of phone has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age or health. The radio-wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.
The highest SAR value as reported to the authorities for this model of phone was 0.75 W/kg* when tested for use at the ear, 0.61 W/kg* for body-worn operation, and 0.60 W/kg for the Wi-Fi hotspot mode. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this phone or an accessory that contains no metal and that positions the phone at a minimum of 5 mm from the body.
For devices that include "Wi-Fi hotspot" functionality, SAR measurements for the device operating in the Wi-Fi hotspot mode were taken using a separation distance of 5 mm. When using the phone as a charger, it should be placed on a flat surface at a separation distance of 20 cm from the user in the charging mode.
Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
** Before a model of phone is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed with the phone positioned at the ear or worn on the body as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model of phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this model of phone is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID PY7-30515Z. Additional SAR-related information can also be found on the FCC website at https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0.
*In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

**This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

FCC Statement for the USA

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference.
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

VCCIについて

VCCIについて

本機は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、適合マークを画面に電子的に表示しています。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

各種お手続き（My SoftBank）

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。
https://u.softbank.jp/2HHEHkw

カスタマーサポート

機種の操作やサービス内容などのお困りごと・お問い合わせ内容に応じて、最適な解決方法をご案内します。
https://u.softbank.jp/3i5JjAB



Xperia 1 VIII 取扱説明書 索引

あ

アプリが利用できない..... 262
アプリについて.....164
アプリを追加／削除する.....168

い

インターネットにアクセスできない..... 261

お

お問い合わせ先.....276
音設定.....222
オプションサービス.....62
音楽を聴く（ミュージック）.....189

か

海外でご利用になる前に.....250
海外で電話をかける.....253
各部の名称とはたらき.....6
カメラについて.....150
カメラの設定を行う.....160
画面が固まったまま動かない.....258
画面が暗い.....257
画面が突然消える..... 258
画面設定..... 226
画面について.....40
画面ロックを解除する.....26
カレンダーを利用する..... 182
かんたんデータコピーを利用する.....195

き

機内モードについて..... 33
基本的な操作のしくみ.....30
緊急速報メールを利用する..... 174

く

クイック設定パネルを利用する.....51
グループメッセージを利用する..... 109

け

携帯電話機の電波防護への適合性について..... 271

こ

公式アカウントとは.....131
公式アカウントを管理する..... 135
公式アカウントを検索する..... 132
公式アカウントを利用するには..... 135

し

システムの設定.....230
指紋認証ができない.....259
指紋認証機能を利用する.....177
写真／動画を管理する（フォト）.....156
写真／動画を撮る.....151
写真／動画を見る（フォト）.....155
写真を加工する（フォト）.....158
充電ができない／遅い.....256
充電する.....15
仕様.....270
使用材料.....271
使用上のご注意.....264
初期設定を行う.....19

す

スタンプを利用する.....113
ステータスバーについて.....48

せ

セキュリティの設定.....232

そ

その他の端末設定.....238
その他のトラブル.....262
ソフトウェアの更新について.....37

た

ダウンロードしたファイルを利用する.....196
タッチパネルの使いかた.....30
端末設定について.....216

ち

知的財産権について.....267

つ

通知パネルを利用する.....49
通話ができない.....261
通話の設定をする.....68

て

テザリングオプションを利用する.....212
データ使用量の設定.....217
データの保存について.....194
電源が切れる.....256
電源を入れる／切る.....17
電卓で計算をする.....180
電池の消費が早い.....257
電話帳／通話履歴／お気に入りから電話をかける.....60
電話帳データを保存する.....80
電話帳データを読み込む.....79
電話帳を利用する.....69
電話番号について.....67
電話をかける／受ける.....54

と

時計／アラームを利用する.....184
ドライブを利用する.....196
取扱説明書について.....4

は

パソコンとUSBで接続する.....197
バックアップと復元.....194
バックアップ／復元する.....122
バッテリーの設定.....229

ふ

＋メッセージについて.....84
＋メッセージの設定をする.....115
＋メッセージ利用の準備を行う.....85

ほ

防水／防塵性能について.....265
ほかの携帯電話からデータを取り込む.....195
保証とアフターサービス.....270
本機が温かい.....259

ま

マナーモードについて.....31
マナーを守りましょう.....264

め

メッセージを確認する.....102
メッセージを送信する.....95
メールの送信／受信ができない.....260

も

文字を入力する.....33

ら

ライトを点灯する.....181

れ

連絡先を利用する.....90

B

Bluetooth機能を利用する..... 206

C

Chromeを利用する.....144

E

eSIMについて.....7

F

FCC Statement for the USA.....275

G

Gmailを利用する.....137
Google アカウントを設定する.....23
Google 検索を利用する..... 180
Google マップを利用する.....175

M

My SoftBankを利用する..... 174

N

NFC／おサイフケータイ®を利用する..... 190

Q

QRコードを読み取る.....161

R

RF Exposure Information of This Product..... 273

S

SDカードが利用できない..... 260
SDカードについて.....11
SIMカードについて..... 9

V

VCCIについて.....275

W

Wi-Fiで接続する..... 200

Y

YouTubeを利用する.....189

Xperia 1 VIII　取扱説明書

2026年5月　第1版
ソフトバンク株式会社

※ご不明な点はお求めになった
　ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Xperia 1 VIII
製造元：ソニー株式会社